令和8年度
延友遊園地トイレ改築工事

図面リスト

図番	図面名	縮尺(A3)	図番	図面名	縮尺(A3)
【意匠】			【構造】		
A-00	表紙・図面リスト	-	S-01	伏図・詳細図	1/20,50
A-01	木造建築工事特記仕様書1	-	S-02	軸組図	1/50
A-02	木造建築工事特記仕様書2	-			
A-03	木造建築工事特記仕様書3	-			
A-04	木造建築工事特記仕様書4	-	【電気設備】		
A-05	木造建築工事特記仕様書5	-	E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	-
A-06	木造建築工事特記仕様書6	-	E-02	電気設備　配置図	1/200
A-07	木造建築工事特記仕様書7	-	E-03	電気設備　平面図	1/30
A-08	建築解体工事特記仕様書	-	E-04	電気設備　立面図	1/50
A-09	設計概要・仕上表・附近見取図	1/2,500			
A-10	配置図・求積図	1/200,300			
A-11	仮設計画図（参考）	1/300	【機械設備】		
A-12	平面図	1/30	M-01	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	-
A-13	立面図	1/50	M-02	機械設備　配置図	1/200
A-14	矩計図１	1/20	M-03	機械設備　平面図・断面図	1/30
A-15	矩計図２	1/20			
A-16	展開図　建具リスト	1/50			
A-17	撤去図	1/20,50			
		小計　18枚			小計　9枚
					計　27枚

工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ. A-00 / A-17		
図面名	表紙・図面リスト			縮尺 -			
岡山市	都市整備局　住宅･建築部　公共建築課			令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山市木造建築工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

工事名称	延友遊園地トイレ改築工事
工事場所	岡山市北区延友字前場252番6,252番8,252番9
敷地面積(㎡)	558.77㎡

床面積(㎡)		便所 棟 木造	棟 造	棟 造	棟 造	棟 造
	1 階	9.79m2				
	階					
	階					
	階					
	階					
	階					
	小 計	9.79m2				
	合 計	9.79m2				

建築面積(㎡)	9.79m2		
消防法施行令別表第一区分			
建蔽率（指定率）	%（ 60 %）	容積率（指定率）	%（ 200 %）
用途地域		防火地域	・防火地域 ・準防火地域 ⊙指定なし

工事範囲		別途工事	
	建築工事		
	電気設備工事		
	機械設備工事		
	躯体工事		

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様

（1） 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築木造工事標準仕様書（令和７年版）」（以下「木造標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和７年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。また、木造標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編（令和７年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

（2） 建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）が必要な工事の場合、発注者は完了検査（中間検査含む）時には、官公署（建築主事等）が求める検査に必要な書類（報告書）等を用意するものとする。

（3） 「岡山市内の建築物等における県産材等の利用促進に関する方針」に基づき、コスト等を勘案の上、県産材等の利用に努めること。

2．特記仕様

（1） 項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2） 特記事項は⊙印のついたものを適用する。
⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙印と◎印のついた場合は共に適用する。

（3） 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［ ］内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す。

（4） Ｇ印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達物品等を示す。

（5） 関係法令（条例を含む）の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。

（6） 材料及び製造所等の記載は順不同である。

（7） 「監督職員」は「監督員」と読み替える。

章		項目	特記事項
① 一般共通事項	①	適用基準等	※建築工事標準詳細図（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （以下「標準詳細図」という） ※営繕工事写真撮影要領（令和５年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次による。 ・ 建築物解体工事共通仕様書（令和４年度） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・
	②	工事実績情報の作成・登録について ［1．1．4］	登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。 なお、変更時と工事完成時の間が10日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録申登録するものとする。
	3	電気保安技術者 ［1．3．3］	配置する
	④	施工条件 ［1．3．5］	・施工時間帯 ※指定なし ・指定あり（ ） ・施工ができない日等 ※指定なし ・指定あり（ ） ・部位別の施工順序 ※指定なし ・指定あり（・図示 ・ ） ・工事車両の駐車場所 （※図示 ・ ） ・資機材置場 （※図示 ・ ） ・建設発生土仮置場 （※図示 ・ ） ※週休２日工事について ⊙本工事は、週休２日工事の対象である。週休２日工事特記仕様書を参照すること。 ・本工事は、週休２日工事の対象外である。
	⑤	工事安全計画書 ［1．3．7］	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑥	発生材の処理等 ［1．3．11］	・引き渡しを要するもの（ ） ・現場において再利用を図るもの（ ） ⊙再生資源化を図るもの ⊙コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材
	⑦	環境への配慮 ［1．4．1］	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１）から４）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ４）１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外に 該当する建築材料 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ホルムアルデヒド放散量 第三種に 該当する建築材料 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

8	材料の品質等 ［1．4．2］	1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）本工事に使用する材料のうち、3）に指定する材料の製造業者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されているもの （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの （3）安定的な供給が可能であるもの （4）法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得しているもの （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの （6）販売、保守等の営業体制が整えられているもの（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられているもの） 3）製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型枠用鋼製デッキプレート	クローザ類	煙突用成形ライニング材
鉄骨柱下無収縮モルタル	自動扉機構	天井点検口
無収縮グラウト材	自閉式上吊り引戸機構	床点検口
乾式保護材	重量シャッター	グレーチング
既調合モルタル	軽量シャッター	屋上緑化システム
ルーフドレン	オーバーヘッドドア	トップライト
吸水調整材	防水剤	ポリマーセメントモルタル
鋳鉄製ふた	現場発泡断熱材	既調合目地材
フリーアクセスフロア	可動間仕切	移動間仕切
トイレブース	錠前類	

9	特別な材料の工法	木造標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする
10	技能士 ［1．5．2］	

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	とび	・とび作業
ＣＢ・ＡＬＣパネル	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業
	ＡＬＣパネル施工	・ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法 防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
木工事	建築大工	・大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業
	かわらぶき	・かわらぶき作業
金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
左官工事	左官	・左官作業
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
塗装工事	塗装	・建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業
	表装	・壁装作業
排水工事	配管	・建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・造園工事作業

適用した技能士について地域性を考慮し確保が困難な場合は監督職員と協議する

11	化学物質の濃度測定 ［1．5．10］	図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ①３０分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する。 ②５時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のままで測定する。 ロ 測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。 ・厚生労働省の標準的方法による
12	完成写真	工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出するものとする。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 １箇所	・カラー印画紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	・電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）			
	・カラー木製パネル半切（324×400mm）			
上記と異なる 外部（ ）箇所 内部（ ）箇所	カラー印画紙 ・キャビネ判 ※Ｌ判			
	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）			
外部（ ）箇所 内部（ ）箇所	カラー印画紙 ・キャビネ判 ※Ｌ判	3	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー）	3		

撮影部位は監督職員の指示による
電子データは、ＣＤ－Ｒ等で提出する

⑬	完成時の提出図書 ［1．7．1～3］	完成図（ＣＡＤデータの提出（※ 要 ・ 不要 ）） 保全に関する資料（提出部数 ※ １部 ・ 部 ） 提出書類の詳細については、別途、完成図書作成要領による。	表1．7．1
⑭	施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	
⑮	設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けるものとする。	
⑯	設計ＧＬ	※図示 ・（ ）	
⑰	適用区分	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 Ｖ０＝ 32 ｍ／ｓ 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・(Ⅲ) ・Ⅳ 積雪量 建築基準法施行令第８６条第３項の規定に基づく岡山市建築基準法施行細則による数値	
18	工事区分	工事区分は、工事区分表による	

② 仮設工事	① 足場その他 ［2．2．4］	足場を設ける場合は、木造標準仕様書２．２．４（２）、（３）による。	
	② 監督職員事務所 ［2．3．1］	※設けない ・設ける 備品等は、監督職員の指示を受けて設置するものとする。	
	③ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ⊙利用できる（※ 有償 ・ 無償 ）	
	④ 工事用電力	構内既存の施設 ◎利用できない ・利用できる（※ 有償 ・ 無償 ）	
③ 土・地業・基礎工事	① 埋戻し及び盛土 ［3．2．3］	※種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土(G) Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。 ・材料 工法	表3．2．1
	② 建設発生土の処理 ［3．2．5］	※構外指示の場所に処分 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に堆積	
	3 杭の載荷試験 ［4．2．3］	載荷試験 ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ※図示 ・ 試験の方法 ※図示 ・ 報告書の記載事項 ※図示 ・	
	4 地盤の載荷試験 ［4．2．4］	試験位置及び載荷荷重 ※図示 ・ 試験の方法 ※図示 ・ 報告書の記載事項 ※図示 ・	
	5 既製コンクリート杭地業 ［4．2．2］ ［4．3．1～7］	材料 ※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭） ・プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭） ・	

	種類 種別	杭径 (mm)	杭長（m）及び種別	厚さ	継手数	セット数	コンクリート強度（Ｎ／mm²）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭						
本 杭			上杭 中杭 下杭						

ＳＣ杭の鋼管 ・ＳＫＫ４００ ・ＳＫＫ４９０ ・
ＳＣ杭の板厚 ※構造図による
ＰＨＣ杭の種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 ・Ⅳ種
なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする。

杭先端部の形状 ※開放形 ・半開放形 ・閉そく形
ネガティブフリクション対策
※不要 ・要（構造図による）
杭の継手の工法 ・アーク溶接継手
溶接材料
※標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・構造図による
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法 ※評定等を受けた工法
杭頭の処理 ※処理しない
・処理する（処理方法 ※構造図による）
杭頭の中詰材料 ※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様） ・
支持地盤 ※構造図による
施工方法
・セメントミルク工法
根固め液及び杭周固定液の管理試験
※標準仕様書４．３．４（６）（コ）による
・構造図による
※特定埋込杭工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝ 、β＝ 、γ＝
を採用できる工法
工法 ・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・
杭周固定液の使用 ・する ・しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の１／４かつ１００mm以下 ・構造図による
杭の鉛直度 ・１／１００以内 ・評定条件または認定条件による ・構造図による

6	鋼杭地業 ［4．4．1～6］	種類の記号 ・ＳＫＫ４００ ・ＳＫＫ４９０ 寸法、継手、性能等	

	符号	杭径 (mm)	杭長（m）及び種類の記号	板厚 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

施工方法
・特定埋込み杭工法
・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝ 、β＝ 、γ＝ を採用できる工法
工法 ・中掘り拡大根固め工法
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の１／４かつ１００mm以下 ・
杭の鉛直度 ・１／１００以内 ・評定条件または認定条件による ・
杭の継手の工法 ・アーク溶接継手
形状 ・JIS A 5525による ・構造図による
溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・構造図による
・機械式継手（継手部に溶接金具を用いた方式のもの）
工法 ※評定を受けた工法
杭頭の処理 ・切断しない ・切断する
処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・構造図による
杭頭の中詰材料 ※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）

⑦	砂利及び砂地業 ［4．6．2，3］	材料 砂利 ※再生クラッシャラン(G) ・切込砂利及び切込砕石 砂 ・シルト ・有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・川砂または砕砂 厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※６０	・図示による ・
・	・図示による ・

⑧	捨コンクリート地業 ［4．6．4］	材料 設計基準強度 ※１８Ｎ／mm² ・ Ｎ／mm² スランプ ※１５cm ・１８cm 厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※５０	・図示による ・
・	・図示による ・

⑨	床下防湿層 ［4．6．5］	施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） 防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ０．１５mm以上 ・ 防湿層の位置 ※図示による
10	地盤改良 ［4．7．1～4］ ［4．8．1～4］	工法 ・浅層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による） ・深層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による）
11	置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）	材料 コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※１８Ｎ／mm² ・ Ｎ／mm² スランプ ※１５cm ・１８cm 形状 ※構造図による 支持地盤の長期設計支持力 ・ ｋＮ／m² 支持地盤 ※構造図による 型枠使用の有無 ※有り ・無し
12	杭残土の重金属等溶出試験	カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ふっ素、ほう素の８種類の溶出試験を行うこと。 溶出量基準及び測定方法は、Ｈ３環境庁告示第４６号による。
⑬	直接基礎	支持地盤の設計支持力度 ・ ｋＮ／m²以上 支持地盤 ※構造図による
⑭	鉄筋等 ［5．2．1］ ［5．3．4，5，7］	種類

種類の記号	呼び径（mm）	備考
※ＳＤ２９５	⊙Ｄ１６以下	
※ＳＤ３４５	・Ｄ１９ ・Ｄ２２ ・	
・	・ ・ ・	

継手方法等

部位	継手の方法と適用径
⊙基礎梁主筋	⊙重ね継手（Ｄ１６以下）・ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（ ）
・耐力壁	・重ね継手（Ｄ１６以下）・
・その他	・重ね継手（Ｄ１６以下）・

鉄筋の継手位置、定着方法、位置、長さ及び余長

部位	鉄筋の定着方法、位置、長さ及び余長
⊙基礎梁主筋	・図示 ⊙各部配筋参考図1.3による
・土間コンクリートの補強	・図示 ・
・	・図示 ・

重ね継手の長さ

部位	重ね継手の長さ
⊙基礎梁主筋	・図示 ⊙40dと標準仕様書表5.3.2のうち大きい値 ・
・耐力壁	・図示 ・40dと標準仕様書表5.3.2のうち大きい値 ・
・	・図示 ・40dと標準仕様書表5.3.2のうち大きい値 ・

各部配筋

部位	配筋方法
⊙直接基礎	※図示 ・各部配筋参考図1.1による
・基礎接合部の補強配筋	※図示 ・各部配筋参考図1.2による
・基礎梁のあばら筋	※図示 ・各部配筋参考図1.4による
・基礎柱の帯筋組立の形	※図示 ・
⊙土間コンクリートと基礎梁との接合部	※図示 ・
・	・図示 ・

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
最小かぶり厚さ
・図示 ・

⑮	コンクリートの種類 ［6．2．1］	※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（Ⅰ類以外で JIS A 5308 に適合したコンクリート）

工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ．A-01 / A-17
図面名	木造建築工事特記仕様書１	縮尺			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和8年4月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認 / 検図 / 製図

⑯ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等
[6．2．1~4]

※普通コンクリート　表6．2．1

設計基準強度 Fc(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ(cm)	適用場所
・２１ ※２４	２．３程度	※１５ ・１８	・基礎　・基礎梁　・土間スラブ ・土間コンクリート
・１８	２．３程度	※１５ ・１８	

⑰ コンクリートの構造体強度補正等の適用期間

工事場所	打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲(普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種)		暑中コンクリートの適用期間	寒中コンクリートの適用期間
	8℃以上	0℃以上8℃未満	25℃超	
	構造体強度補正値(S)(N/mm2)		構造体強度補正値(S)(N/m2)	
	3	6	6	
岡山市(旧市域)	2月26日～11月22日	11月23日～2月25日	7月2日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 1月31日

18 セメント
[6．3．1]

表6．3．1

セメントの種類	使用部位
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種(G)、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(G)	
・高炉セメントB種(G)	・1FLより下部 ・1FLより立上がる設備基礎、工作物基礎
・フライアッシュセメントB種(G)	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

⑲ 骨材の種類
[6．3．1][6．5．4]

アルカリシリカ反応による区分
※Ａ　　・Ｂ　（※コンクリート中のアルカリ総量 Ｒｔ＝３．０ｋｇ／ｍ³ 以下）

20 混和材料
[6．3．1]

※混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はＩ種とする。また、防錆材を併用する場合はＪＩＳ　Ａ６２０５による防錆材とする。）
・混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのＩ種、Ⅱ種、若しくはⅣ種、ＪＩＳ　Ａ６２０６による高炉スラグ微粉末、ＪＩＳ　Ａ６２０７によるシリカフュームＳ又はＪＩＳ　Ａ６２０２による膨張材とする。）

㉑ コンクリート強度試験

※構造体コンクリートの材齢２８日圧縮強度試験及び構造体コンクリートの材齢２８日を超え９１日以内の圧縮強度試験は公的機関において行う。

④ 木造工事

① 一般事項
[4．2．1]

材料のホルムアルデヒド放散量
※木造標準仕様書4.2.1(2)による
・

2 製材
[4．2．2]

製材
・JAS 1083-3に基づく目視等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	構造材の種類	等級	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理
		・構造材Ⅰ　・構造材Ⅱ　・乙種	・１級　・２級　・３級		・15　・20	

・JAS 1083-4に基づく機械等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	等級（曲げ性能）	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理
				・15　・20	

・JAS 1083-6に基づく広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	等級	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理
		・特級　・１級　・２級		・10　・13	

・加工前にJAS 1052付属書B[縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材
（対象部材：　　）

・無等級材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理	材面の品質
					・JAS 1083-4 機械等級区分構造用製材による ・

・加工前にJAS 1052付属書B[縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材
（対象部材：　　）

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。
それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考)JAS 1083-4に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準(等級と曲げヤング係数)

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング係数(×10N/mm)	3.9以上 ～5.9未満	5.9以上 ～7.8未満	7.8以上 ～9.8未満	9.8以上 ～11.8未満	11.8以上 ～13.7未満	13.7以上

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材(G)

施工箇所	樹種	区分	寸法(mm)	等級（材面の品質）	含水率(%)

枠組壁工法構造用製材
・JAS 0600に基づく甲種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	長さ(mm)	未乾燥材又は乾燥材	保存処理	材面の品質
				・未乾燥材 ・乾燥材		・特級　・１級 ・２級　・３級

・JAS 0600に基づく乙種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	長さ(mm)	未乾燥材又は乾燥材	保存処理	材面の品質
				・未乾燥材 ・乾燥材		・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ

・JAS 0600に基づくMSR枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	MSR等級（曲げ強度性能）	寸法型式(mm)	長さ(mm)	未乾燥材又は乾燥材
					・未乾燥材 ・乾燥材

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	区分	等級	寸法型式(mm)	含水率（%）

枠組壁工法構造用たて継ぎ材
・JIS 0600に基づくたて枠用たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	長さ(mm)

・JIS 0600に基づく甲種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	長さ(mm)

・JIS 0600に基づく乙種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	長さ(mm)

・JIS 0600に基づくMSRたて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	MSR等級（曲げ強度性能）	寸法型式(mm)	長さ(mm)

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	区分	等級	寸法型式(mm)	含水率（%）

下地用製材
・JAS 1083-5に基づく下地用製材(G)

施工箇所	樹種	等級（材面の品質）	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理
		・１等　・２等		・15　・20	

集成材
・JAS 1152に基づく構造用集成材(G)

施工箇所	樹種	強度等級（曲げ性能）	材面の品質	接着性能（使用環境）	寸法(mm)	保存処理
			・１種　・２種 ・３種	・A　・B　・C		

・JAS 1152に基づく構造用集成柱(G)

施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面(面数)	見付け材面の品質	寸法（mm）
	化粧薄板： 芯材：			・１等 ・２等	

構造用単板積層材
・JAS 0701に基づく構造用単板複層材(G)

施工箇所	品名	樹種	接着性能（使用環境）	曲げ性能（曲げﾔﾝｸﾞ係数区分）	水平せん断区分	寸法(mm)	保存処理
	・Ａ種構造用単板積層材		・Ａ　・Ｂ　・Ｃ	係数区分（　　） 等級 ・特級　・１級　・２級			
	・Ｂ種構造用単板積層材		・Ａ　・Ｂ　・Ｃ	係数区分（　　）			

直交集成板
・JAS 3079に基づく直交集成板(G)

施工箇所	品名	樹種	強度等級（曲げ性能）	種別	接着性能（使用環境）	寸法(mm)
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板			・Ａ種構成 ・Ｂ種構成	・A ・B ・C	

・丸太材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	含水率（%）	末口径(mm)

・加工前にJAS 1052付属書B[縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材
（対象部材：　　）

・木質接着成形軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法（mm）	含水率（%）

・木質複合軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法（mm）	含水率（%）

構造用面材
・JIS A 5905に基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF)(G)

施工箇所	普通、構造用による区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
	※構造用 ・普通					※９ ・

・JAS 0223に基づく構造用合板(G)

施工箇所	寸法(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能（強度等級）	防虫処理	保存処理	単板の樹種
		・特類 ・１類	・１級 ・２級					

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板(G)

施工箇所	寸法（mm）	接着の程度	単板の樹種
		・特類　・１類	

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0360に基づく構造用パネル(G)

施工箇所	寸法（mm）	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験　・湿潤曲げ試験）
		・１級　・２級　・３級　・４級

・JIS A 5908に基づくパーティクルボード(G)

施工箇所	種類の区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ（mm）

・JIS A 5905に基づくハードファイバーボード(G)

施工箇所	油、油脂等の特殊処理による区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	厚さ（mm）

・JIS A 5404に基づく硬質木片セメント板(G)

施工箇所	断面形状	重ねしろの有無	厚さ（mm）
	・平板　・凹凸板	・有　・無	

・JIS A 6901に基づくせっこうボード(G)

施工箇所	種別	厚さ（mm）	備考
	・構造用せっこうボード（GB-St-A）		
	・構造用せっこうボード（GB-St-B）		
	・構造用せっこうボード（GB-R）		
	・構造用せっこうボード（GB-F）		
	・構造用せっこうボード（GB-L）		

・JIS A 5905に基づくシージングボード(G)

施工箇所	厚さ(mm)	備考

・JIS A 5524に基づくラスシート(G)

施工箇所	ラス目による区分	山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分	備考
		・LS1　・LS2　・LS3　・LS4	

・JIS A 5430に基づくフレキシブル板

施工箇所	密度による区分	厚さ(mm)	備考
	・0.6以上0.8未満　・0.8以上		

・JIS A 5440に基づく火山性ガラス質複層板（VSボード）

施工箇所	厚さ(mm)	含水率

・木質断熱複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率

・木質接着複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	備考

3 鋼材
[4．2．5]

種類等

施工箇所	種類の記号	形状・寸法(mm)	規格等
			・ＪＩＳによる　・

4 鋼材の表面処理
[4．2．6]

・鉄鋼の亜鉛めっき

施工箇所	種別	
	溶融亜鉛めっき	電気亜鉛めっき
	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種

・鉄鋼面の錆止め塗料塗り

施工箇所	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの種別
	・Ａs種　・Ｂs種　・Ｃs種　・Ｄs種	・Ａ種　・Ｂ種

・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗り

施工箇所	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの種別
	・Ａz種　・Ｂz種　・Ｃz種	・Ａ種　・Ｂ種

⑤ 接合金物
[4．2．7]

・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物

種類	規格	短期許容耐力(kN)	その他
・火打金物			使用環境２
・筋かいプレート	Z.D.Sマーク同等以上		使用環境２
・引き寄せ金物	Z.D.Sマーク同等以上		使用環境２
・柱受け金物	Z.D.Sマーク同等以上		使用環境２
・			
・			

注）Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。

・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物

材料の種類	形状・寸法（mm）	備考
・		
・		
・		

⑥ 接合具等
[4．2．7]

・釘（JIS A 5508）

種類	材質	その他
・丸くぎ	表面処理された鉄製	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄製	
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製	

・木ねじ（JIS B 1112、JIS B 1125、JIS B 1135）、その他の木ねじ

種類	材質	その他
・十字穴付き木ねじ	表面処理された鉄製又はステンレス製	JIS B 1112
・ドリリングタッピンねじ	表面処理された鉄製又はステンレス製	JIS B 1125
・すりわり付き木ねじ	表面処理された鉄製又はステンレス製	JIS B 1135

・木質構造用ねじ（JIS A 5559）

種類	性能	表面処理	その他
※鉄製　・ステンレス製	・	・	・

ボルト及びナット
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物
（・Zマーク　・D.S　　）
性能　・図示による
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物以外
材料等　※木造標準仕様書　表4.2.2による
寸法　・図示による　・

アンカーボルト
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物
（・Zマーク　・D.S　　）
性能　・図示による
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物以外
材質　・
寸法　・図示による　・

座金
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物
（・Zマーク　・D.S　　）
性能　・図示による
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物以外
種別　・引張り応力を受けるボルトの座金　木造標準仕様書表4.2.3（　　）
種別　・せん断応力を受けるボルトの座金　木造標準仕様書表4.2.4（　　）

ラグスクリュー
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物
（・Zマーク　・　　）
性能　・図示による
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物以外
材質　・木造標準仕様書表4.2.2による　・
寸法・形状等　・図示による　・

ドリフトピン
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物
（・Zマーク　・　　）
性能　・図示による
・Z、C、M、χ、D、Sマーク表示金物以外
材質　※SS400（JIS G 3101）　・
形状等　※丸鋼（JIS G 3191）　・
径・寸法等　・図示による　・

木栓及び木だぼ
・樹種（　　）
・形状・長さ等
・図示による　・

接着剤
・床鳴り防止用接着剤（JIS A 5550）による
・接着剤の種類（　　）
・接着剤による接合又は接着剤を併用した接合
・接着剤の種類（　　）

ジベル接合
・軸型ジベル
材質（　　）
形状・寸法等
・図示による　・
・圧入型ジベル
材質（　　）
形状・寸法等
・図示による　・

工事名	延友遊園地トイレ改築工事					No. A-02 / A-17		
図面名	木造建築工事特記仕様書２				縮尺			
岡山市	都市整備局	住宅･建築部	公共建築課		令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員		担当者	承認	検図	製図

⑦ 防腐・防蟻処理 [4. 3. 1]

・工場における薬剤の加圧注入等
・木造標準仕様書4.3.1(1)(ｱ)(b)に基づく加圧注入

適用部材（部位）	薬材の加圧注入等
・	・K2　・K3　・K4　・AQ1　・AQ2　・AQ3

・木造標準仕様書4.3.1(1)(ｱ)(b)に基づく加圧式保存処理
保存処理の性能　（　　　）
インサイジング　・適用する　・適用しない

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
※木造標準仕様書4.3.1(ｲ)(a)
・附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による
・
適用部材（部位）
・図示による　・
処理の方法
※木造標準仕様書4.3.1(ｲ)(b)による
・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部材（部位）
・図示による　・

・合板、集成材、単板積層材の加圧注入等による防腐・防蟻処理
保存処理の性能区分
※K３又はAQ２　・
適用部材（部位）
・図示による　・

・防蟻性能のある断熱材
使用（　　　）
適用部材（部位）
・図示による　・

・地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理
木造標準仕様書4.3.2(ｱ)による
配筋　・図示による　・
木造標準仕様書4.3.2(ｱ)による
配筋　・図示による　・

・土壌の防蟻処理
使用する薬剤（　　　）
処理方法及び使用量
帯状散布（帯状の幅：約　　cm）
液剤：処理長さ　　L/m
粒剤：（　　　）
面状散布
液剤：処理長さ　　L/㎡
粒剤：（　　　）

⑧ 防腐措置 [4. 3. 4]

床下換気
基礎外周部の換気孔
・木造標準仕様書4.3.4(2)(a)①による　ねこ土台
※防鼠スクリーン又は防虫網付き
・木造標準仕様書4.3.4(2)(1)②による　換気孔
※防鼠スクリーン又は防虫網付き
小屋裏換気
・木造標準仕様書 4.3.4(3)による
・(a)　・(b)　・(C)　・(d)　・(e)
換気孔の大きさ　・図示による　・

9 防耐火処理等 [4. 4. 1~4]

・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法
・

防火被覆の材料及び工法
・防火被覆の材料
・図示による　・
・防火被覆の厚さ
・図示による　・
・防火被覆の留付け材の種類
・図示による　・
・防火被覆の留付け間隔
・図示による　・
・防火被覆の下地材への留付け長さ
・図示による　・
・防火被覆の下地材への端あき距離
・図示による　・
・防火被覆の下地材への接着剤の使用
・使用する　・使用しない
・防火被覆の目地等の処理方法
・図示による　・
・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理
・図示による　・

防火被覆処理部への二次部材の取付け
防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理
・図示による　・
防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
・図示による　・

燃えしろ層の工法
・燃えしろ層の厚さ
・図示による　・
・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理
・図示による　・
・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理
・図示による　・
・燃えしろ層への二次部材の取付け
・設備配管等が燃えしろ層を貫通する場合の処理
・図示による　・
・燃えしろ層に取り付ける建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
・図示による　・

不燃処理木材等
・図示による　・

10 鋼材等の接合 [4. 5. 1]

木材と鋼材の接合部分
・図示による　・

5 軸組構法（壁構造系）工事 ／ ⑥ 軸組構法（軸組構造系）工事

1 現寸図 [5. 4. 2] [6. 4. 2]
・床書き現寸図を作成する

② 仕口及び継手の工法 [5. 4. 5] [6. 4. 5]
・仕口及び継手の工法　※図示

③ 孔あけ加工 [5. 4. 6] [6. 4. 6]
ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ　※木造標準仕様書表5.4.2による　・図示
ドリフトピンの孔径　※ピン径と同径　・図示

④ 表面仕上げ [5. 4. 7] [18. 12. 2] [6. 4. 7]
見え掛り面の表面仕上げの程度
※プレーナー加工仕上げ
適用部位（部位）　（　　　）
・超自動機械かんな掛け仕上げ（○印）
適用部位（部位）　（　　　）
・サンダー掛け仕上げ
適用部位（部位）　（　　　）
手加工
・

見え掛り面の表面保護
・標準仕様書　表18.12.1による木材保護塗料塗り
適用部位（部位）　（　　　）
種別　・A種　※B種

⑤ アンカーボルトの設置等 [5. 5. 3] [6. 5. 3]
埋め込み深さ　※図示　・
保持、埋込み工法　・A種　・B種
埋込み位置の許容誤差　※±5mm　・図示

⑥ 基礎天端及び柱均しモルタル仕上げ [5. 5. 4] [6. 5. 4]
材料　・木造標準仕様書５．５．４（イ）による　・無収縮モルタル
・モルタルの厚さ　※20mm程度　・図示
・柱底均しモルタルの工法　種別　・A種　※B種

⑦ 建方精度 [5. 5. 7] [6. 5. 7]
建入れ直し後の建方精度の許容値　※1/1000以下　・図示
（水平、垂直の誤差の範囲）

⑧ 接合金物の工法 [5. 5. 9] [6. 5. 9]
接合金物が面材の取付けに必要な場合の木材への彫り込み
※行わない　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法
・図示による　・

⑨ 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [5. 5. 8、5. 5. 10] [6. 5. 8、6. 5. 10]
釘、木ねじ及び木質構造用ねじ
種類
・図示による　・
間隔
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
・隠し釘打ち　・釘頭埋め木（○印）　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

10 各種ボルトの工法 [5. 5. 11] [6. 5. 11]
ボルトの種類
・図示による　・
ボルトの径
・図示による　・
ボルトの本数
・図示による　・
ボルトの間隔
・図示による　・
ボルトに応じた座金の大きさ
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法
・図示による　・

11 ラグスクリューの工法 [5. 5. 12] [6. 5. 12]
形状及び寸法
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付方法
・図示による　・

12 ドリフトピンの工法 [5. 5. 13] [6. 5. 13]
形状及び寸法
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付方法
・図示による　・

13 火打土台 [5. 6. 2] [6. 6. 2]
・木製の火打土台
見付け平使いとした場合
土台との仕口の形状　・図示による　・
留付け釘の種類　・図示による　・
留付け方法　・図示による　・
・鋼製の火打土台
・図示による　・

⑭ 火打梁 [5. 7. 8、5. 8. 6] [6. 7. 8、6. 8. 6]
小屋組
・木製の火打梁　・鋼製の火打梁
床組
・木製の火打梁　・鋼製の火打梁

15 床束 [5. 8. 2] [6. 8. 2]

	床荷重条件	性能	仕様	設置方法
・鋼製床束				
・樹脂製床束				

7 枠組壁工法工事

1 アンカーボルトの設置等 [7. 5. 3]
埋込み深さ　・　・図示
保持、埋込み工法　・A種　・B種
埋込み位置の許容誤差　※±5mm　・図示

2 基礎天端均しモルタルの仕上げ [7. 5. 4]
材料　・木造標準仕様書７．５．４（イ）による　・無収縮モルタル
・モルタルの厚さ　※20mm

3 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [7. 5. 6]
枠組材相互を緊結する釘の打ち方と種類
※木造標準仕様書7.5.7(1)(ｱ)～(ｳ)による
・
構造用面材と枠組材を緊結する釘の種類、釘打ちの間隔及び釘の打ち方
※木造標準仕様書7.5.7(2)(ｱ)～(ｶ)による
・

4 各種ボルトの工法 [7. 5. 9]
ボルトの種類
・図示による　・
ボルトの径
・図示による　・
ボルトの本数
・図示による　・
ボルトの間隔
・図示による　・
ボルトに応じた座金の大きさ
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付方法
・図示による　・

5 ラグスクリューの工法 [7. 5. 10]
形状及び寸法
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付方法
・図示による　・

6 ドリフトピンの工法 [7. 5. 12]
径
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付方法
・図示による　・

7 床束 [7. 7. 2]

	床荷重条件	性能	仕様	設置方法
・鋼製床束				
・樹脂製床束				

8 丸太組構法工事

1 接合具等 [8. 2. 4]
ジャッキボルト
材質
※SS400（　JIS G 3101　）
・
ボルト径
・
座金の大きさ及び厚さ
・

垂木用スライド金物
材質
※SS400（　JIS G 3101　）
・
垂木と桁との釘接合の接合方法
・ 図示による

通しボルト
呼び径
・

2 丸太組壁用木材の断面加工 [8. 2. 4]
・機械加工
断面形状　木造標準仕様書図8.4.1による　・(イ)　・(ロ)　・(ハ)　・(ニ)
実形状　※製造所の仕様　・図示
見付高さ、重なり幅、部材幅　※図示

3 丸太組壁用木材の交差部形状加工 [8. 6. 3]
交差部の位置　・図示
交差部の形状　※製造所の仕様
交差部が壁面から200mm未満の場合の補強方法　※図示

4 木材の表面仕上げ [8. 4. 5]
見え掛り面の表面仕上げの程度
※プレーナー加工仕上げ
適用部位（部位）　（　　　）
・超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部位（部位）　（　　　）
・サンダー掛け仕上げ
適用部位（部位）　（　　　）
手加工
・

見え掛り面の表面保護
・標準仕様書　表18.12.1による木材保護塗料塗り
適用部位（部位）　（　　　）
種別　・A種　※B種

5 丸太組壁以外に用いる木材の孔あけ加工 [8. 4. 6]
ボルト孔の径　※木造標準仕様書表8.4.4　・図示
ドリフトピンの孔径　※ピン径と同径　・図示

6 継手の補強方法 [8. 4. 7]
・丸太組壁用木材に設ける継手の方法
・目違い継ぎ、ひら金物釘打ち
・腰掛あり継ぎ、ボルト締め
・突付け継ぎ、雇いざね及びだぼ（又はボルト）の挿入

7 仮組立 [8. 4. 9]
・行う
・行わない

8 アンカーボルトの設置等 [8. 5. 3]
埋込み深さ
・図示による
保持及び埋込み工法
種別　・A種　・B種
埋込み位置の許容誤差
※±５mm以下　（JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場]（3）による）

9 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ [8. 5. 4]
材料
・木造標準仕様書8.5.4(ｲ)によるモルタル
・無収縮モルタル
モルタルの厚さ
・図示による　・

10 通しボルトの工法 [8. 5. 7]
通しボルトを耐力壁の上端部及び中間部で締付け及び増締めする場合の工法
・図示による
通しボルトを木造標準仕様書8.5.7(8)(ｳ)の(a)から(c)以外で増締めを行う場合の時期
・

11 ｼﾞｬｯｷﾎﾞﾙﾄの工法 [8. 5. 8]
・ジャッキボルトを木造標準仕様書8.5.8(2)の(ｱ)から(ｳ)以外に増締めを行う場合の時期
・

12 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [8. 5. 11]
釘、木ねじ及び木質構造用ねじ
種類
・図示による　・
間隔
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
・隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し

13 各種ボルトの工法 [8. 5. 12]
ボルトの種類
・図示による　・
ボルトの径
・図示による　・
ボルトの本数
・図示による　・
ボルトの間隔
・図示による　・
ボルトに応じた座金の大きさ
・図示による　・

14 火打土台 [8. 6. 2]
・木製の火打土台
見付け平使いとした場合
土台との仕口の形状　・図示による　・
留付け釘の種類　・図示による　・
留付け方法　・図示による　・
・鋼製の火打土台
・図示による　・

15 火打梁 [8. 7. 9] [8. 8. 6]
小屋組
・木製の火打梁　・鋼製の火打梁
床組
・木製の火打梁　・鋼製の火打梁

16 床束 [8. 8. 2]

	床荷重条件	性能	仕様	設置方法
・鋼製床束				
・樹脂製床束				

9 CLTパネル工法工事

1 孔あけ加工 [9. 4. 4]
ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ
※木造標準仕様書表9.4.1による
・図示による　・
ドリフトピンの孔径
※軸径と同径
・図示による　・
引きボルトの孔径
※軸径+5～10mm
・図示による　・

2 表面仕上げ [9. 4. 5] [18. 12. 2]
見え掛り面の表面仕上げの程度
※プレーナー加工仕上げ
適用部材（部位）　（　　　）
・サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）　（　　　）
見え掛り面の表面仕上げの程度
・標準仕様書　表18.12.1による木材保護塗料塗り
適用部材（部位）　（　　　）
種別　・A種　※B種

3 アンカーボルトの設置 [9. 5. 3]
埋込み深さ　・図示による　・
保持及び埋込み工法　種別　・A種　・B種（土台用　・A種　・B種）
埋込み位置の許容誤差　・

4 基礎天端均しモルタルの仕上げ [9. 5. 4] [15. 3. 2]
材料
・木造標準仕様書9.5.4(ｲ)による
・無収縮モルタル
モルタルの厚さ
・図示による　・

5 建方精度 [9. 5. 7]
建入れ直し後の建方精度の許容値（水平、垂直の誤差の範囲）
※1/1,000以下、かつ床の天端及び壁の天端の平坦さ±３mm以下
・

6 接合金物の工法 [9. 5. 9]
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法
・図示による　・

7 釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 [9. 5. 10]
釘、木ねじ及び木質構造用ねじ
種類
・図示による　・
間隔
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
・隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

8 各種ボルトの工法 [9. 5. 11]
ボルトの種類
・図示による　・
ボルトの径
・図示による　・
ボルトの本数
・図示による　・
ボルトの間隔
・図示による　・
ボルトに応じた座金の大きさ
・図示による　・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法
・図示による　・

9 ラグスクリューの工法 [9. 5. 12]
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付方法
・図示による　・

10 ドリフトピンの工法 [9. 5. 13]
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付方法
・図示による　・

工事名	延友遊園地トイレ改築工事		No. A-03 / A-17
図面名	木造建築工事特記仕様書３	縮尺	
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課		令和8年4月	

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

10 木工事

① 表面仕上げ
(10. 1. 4)

見え掛り面の表面仕上げの程度
※ブレーナー加工仕上げ
適用部材（部位）　（施工箇所：　　）
・ 超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部材（部位）　（施工箇所：　　）
・ サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）　（施工箇所：　　）

② 一般事項
(10. 2. 1)

木材のホルムアルデヒド放射量　※木造標準仕様書10.2.1(1)(ｳ)による

③ 材料
(10. 2. 1)

製材

・ JAS 1083-5 に基づく下地用製材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	等級（材面の品質）	形状	含水率	保存処理
			※２級 ・		※Ａ種 ・Ｂ種 ・	
			※２級 ・		※Ａ種 ・Ｂ種 ・	

・ JAS 1083-2 に基づく造作用製材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	等級（材面の品質）	形状	含水率	保存処理
見え掛り面			※上小節 ・		※Ａ種 ・Ｂ種 ・	
見え掛り面以外			※小節以上 ・		※Ａ種 ・Ｂ種 ・	

・ JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	等級（材面の品質）	形状	含水率	保存処理
			※１等 ・		※10%以下 ・Ａ種 ・Ｂ種	
			※１等 ・		※10%以下 ・Ａ種 ・Ｂ種	

・ JAS 1083（製材）以外の下地用針葉樹製材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理の適用	含水率
			（　　）造作材の場合（※Ａ種 ・Ｂ種）	・適用する ・適用しない	※Ａ種 ・Ｂ種 ・

・ JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理の適用	含水率
			（　　）造作材の場合（※Ａ種 ・Ｂ種）	・適用する ・適用しない	※Ａ種 ・Ｂ種 ・

・ JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理の適用	含水率
			（　　）造作材の場合（※Ａ種 ・Ｂ種）	・適用する ・適用しない	※Ａ種 ・Ｂ種 ・

・ JAS 1152に基づく造作用集成材(G)

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面（面数）	見付け材面の品質
					※ １等 ・ ２等

・ JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材(G)

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面（面数）	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※１等 ・２等
		化粧薄板： 芯材：				

・ JAS 1152以外の造作用集成材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下
				※15%以下

・ JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材(G)

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・

JAS 0701に基づく造作用単板積層材(G)

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の化粧加工	防虫処理の適用
			・有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：　　）	・適用する（　　） ・適用しない

JAS 0701以外の造作用単板積層材(G)

施工箇所	寸法（mm）	表面の化粧加工	防虫処理の適用	含水率
		・有り （加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（　　）	・適用する（　　） ・適用しない	※14%以下 ・

・JAS 3079に基づく直交集成板(G)

施工箇所	品名	強度等級（曲げ性能）	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板		・ A種構成 ・ B種構成	・ A ・ B ・ C		

・ JAS 0233に基づく普通合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する（　　） ・適用しない

・ JAS 0233に基づく構造用合板(G)

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理の適用	曲げ強度（強度等級）	保存処理
	※2級以上 ・1級		・１類 ・特類	※C-D 以上 ・	※12 ・	・適用する（　　） ・適用しない		

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・ JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用
			・１類 ・特類	・適用する ・適用しない（　　）

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・ JAS 0233に基づく天然木化粧合板(G)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理の適用
			・１類 ・２類	・適用する ・適用しない（　　）

・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		・１類 ・２類	・F ・FW ・Ⅱ ・SW	・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・	・適用する（　　） ・適用しない

・ JIS A 5908に基づくパーティクルボード(G)

施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ（mm）
			※13タイプ ・	※Ｐ又はM ・	※15 ・

・ JAS 0360に基づく構造用パネル(G)

施工箇所	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）	寸法（mm）
	・ １級 ・ ２級 ・ ３級 ・ ４級	

・ JIS A 5905に基づくＭＤＦ(G)

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

④ 接合具等
(10. 2. 2)

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木
・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し
雑金物の形状、寸法及び材質
かすがい
※木造標準仕様書 表10.2.3に示す程度の市販品 ・ 図示
座金
※木造標準仕様書 表10.2.4に示す程度の市販品 ・ 図示
箱金物及び短冊金物
※木造標準仕様書 表10.3.5に示す程度の市販品 ・ 図示
接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⑤ 防腐・防蟻・防虫処理
(10. 3. 1)

・工場における薬剤の加圧注入等
・木造標準仕様書10.3.1(1)(ｱ)(b)に基づく加圧注入

適用部材（部位）	薬材の加圧注入等
・GL+1.0m以内	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４ ・ＡＱ１ ・ＡＱ２ ・ＡＱ３

・木造標準仕様書10.3.1(1)(ｱ)(b)に基づく加圧式保存処理
保存処理の性能 （　　）
インサイジング ・適用する ・適用しない
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
※木造標準仕様書10.3.1(ｲ)(a)
・附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による
・
適用部材（部位）
・図示による ・
処理の方法
※木造標準仕様書10.3.1(ｲ)(b)による
・
・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部材（部位）
・図示による ・
・合板、集成材、単板積層材の加圧注入等による防腐・防蟻処理
保存処理の性能区分
※Ｋ３又はＡＱ２ ・
適用部材（部位）
・図示による ・

⑥ 不燃処理木材等
(10. 3. 3)

不燃材料	適用部材（部位）	・図示による ・
準不燃材料	適用部材（部位）	・図示による ・
難燃材料	適用部材（部位）	・図示による ・

⑦ 外壁通気構法下地
(10. 8. 2)

積雪地域の場合の下地補強

工法種別	補強方法	補強高さ(mm)
※縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ｳ)(h)による ・	
・横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ｳ)(i)による ・	

11 防水工事

1 ＦＲＰ系塗膜防水
(11. 2. 2、4)

材料
・ルーフドレン
・ＦＲＰ系塗膜防水用ルーフドレン ・鋳鉄製
・オーバーフロー管
※つば付き 製造所の指定する製品
施工
下地合板の上の防火板
・設置する ・設置しない
種類 （※ケイ酸カルシウム板 ・ ）
厚さ （※10mm ・ ）

防水層平場の勾配 ※1/100以上 ・

水張り試験 ・行う ・行わない

② シーリング
(11. 3. 2)

下表以外は、木造標準仕様書表 11.3.1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示	NS-2

シーリング材の目地寸法 ※木造標準仕様書11.3.3(1)(ｱ)～(ｳ)による ・
外部に面するシーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

3 防水テープ
(11. 4. 2)

材料
両面粘着防水テープの幅 ※50mm以上 ・

4 バルコニー手すり
(11. 4. 3)

工法
※木造標準仕様書11.4.3(ｳ)(a)～(e)による
手すりに設ける笠木
※アルミニウム製
・
固定方法、形状及び仕上げ
・図示による
・図示による
壁及び天井部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書 表6.2.4 打放し仕上げの種別Ｂ種

5 ケイ酸質系塗布防水
[9. 6. 1~4]

12 石工事

1 石 材
[10. 2. 1]

種類 ※天然石 ・テラゾ
品質 ※１等品（床以外） ※２等品（床）
形状、寸法、厚さ及び割付 ※図示
石材の種類及び表面仕上げ　表10. 2. 1~2

施工箇所	種類（産地、名称）	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

2 取付け金物
[10. 2. 2]

乾式工法用金物の種類 ・スライド方式 ・ロッキング方式　表10. 2. 4

3 その他の材料
[10. 2. 3]

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する
充填材料、浸透性給水防水材 ※専門工事業者の指定する製品 ・

13 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
[11. 1. 3]

位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示

2 見本焼、試験施工
[11. 1. 4]

見本焼き ・行う ※行わない
試験張り ・行う ※行わない

③ セメントモルタルによるタイル張り
[11. 2. 2~6]

タイルの形状、寸法等　(11.2.2、3、7)

施工箇所	種類	形状/寸法（mm）	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
床		100	・	○	・	・	・	○	・	・	・	・	・	・	・	
壁		50	・	○	・	・	○	・	・	・	・	・	・	・	・	

耐滑り性：JIS A 1509-12（セラミックタイル試験方法-第12部：耐滑り性試験方法）で規定するC.S.R値は0.4～1.0とする。
標準的な曲がりの役物は一体成形とする

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理の方法 ・MCR工法 ・目荒し工法（高圧洗浄）
壁タイル張りの工法
内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

・既調合モルタル ※既調合モルタルの製造所の仕様による

④ 有機系接着剤によるタイル張り
[11. 3. 2~5]

タイルの形状、寸法等　(11.3.2、3、7)

施工箇所	種類	形状/寸法（mm）	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
壁		50	・	○	・	・	○	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

有機系接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・
目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材
その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・ＭＣＲ工法 ・目荒し工法（高圧洗浄）・
外装タイルの目地詰め ・行う ・行わない

14 屋根及びとい工事

① 共通材料
(14. 2. 2)

下葺材料
※改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ）
・改質アスファルトルーフィング下葺材（複層基材タイプ）
・改質アスファルトルーフィング下葺材（粘着層付タイプ）
・アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・行う

② 金属板葺
(14. 3. 2)

板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ（mm）	屋根葺形式	固定釘等の材質
※ JIS G 3322の屋根用コイル ・			・平葺（一文字葺） ・心木あり瓦棒葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ・立平葺	

心木の防腐・防蟻処理方法（　　）

・平葺（一文字葺）の工法
はぜの作り方 ※ 図示
・心木あり瓦棒葺の工法
銅板以外の板による屋根一般部分の工法
溝板及びキャップの留付け方法 ※ 木造標準仕様書14.3.5(3)(ｱ)(c)による

瓦棒の間隔 ※ 図示
銅板による屋根一般部分の工法
瓦棒の間隔 ※ 図示
・心木なし瓦棒葺の工法
屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部
・雨押えを付ける場合
※木造標準仕様書14.3.6(4)(ｵ)(a)による
・雨押えを用いない場合
※木造標準仕様書14.3.6(4)(ｵ)(b)による
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め ・設置する（施工箇所 ※図示 ・ ） ・設置しない

3 折板葺
(14. 4. 2)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形			（ ）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料 板及びコイルの種類（　　）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
断熱材張り ・行う（断熱材の種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間）
・行わない
タイトフレームを留め付ける下地材

材質	形状	寸法

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
・適用する ・適用しない

4 粘土瓦葺
(14. 5. 2)

種類 形状による区分	製法による区分	寸法による区分	役物 軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止瓦	大きさ	産地等
・Ｊ形瓦			・	・	・	・	・	・	※図示	
・Ｓ形瓦			・	・	・	・	・	・		
・Ｆ形瓦			・	・	・	・	・	・		

瓦桟木
材質 ※杉 ・
寸法 ※木造標準仕様書14.5.2(2)(ｱ)による ・図示による
防腐・防蟻処理の種類 ・
棟補強用心材
材質 ※杉 ・
寸法 ※木造標準仕様書14.5.2(3)による ・図示による
防腐・防蟻処理の種類 ・

瓦緊結用釘又はねじ

種類	材質等	径及び長さ
・瓦緊結用釘	ステンレス製	
・瓦緊結用ねじ	ステンレス製	

棟補強用金物等

種類	材質等	形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物	ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製	

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
瓦の緊結方法等工法 ※図示による
瓦桟木の留付け工法 ※図示 ・
雪止め ・設置する（施工箇所 ※図示 ・ ）
棟の工法 冠瓦伏せ棟(・丁寸丸冠瓦 ・F形用冠瓦) ・のし積み棟
面戸、雀口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

5 スレート瓦
(14. 6. 2)

種類	寸法(mm)	役物 棟	けらば	着色（色調）	備考
・平形		・	・	・無 ・有（ ）	
・波形		・	・	・無 ・有（ ）	

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め ・設置する（施工箇所 ※図示 ・ ）

工事名	延友遊園地トイレ改築工事					No. A-04 / A-17
図面名	木造建築工事特記仕様書４			縮尺		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和8年4月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

6 アスファルトシングル葺
（14．7．2）

品質	形状	色調	寸法(mm)	備考

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　　　）

⑦ とい
（14．8．2）

といの材料
・金属板（銅板を除く。）
種類　※木造標準仕様書表14.8.1（　　　　）
板厚
・谷どい
種類　※木造標準仕様書表14.8.1（　　　　）
板厚
・銅板
板厚　※一般部0.35mm、谷どい部0.4mm

・硬質塩化ビニル樹脂製
種類　（　　　　）　厚さ　（　　　　）
外径　（　　　　）　長さ　（　　　　）

とい受金物
材種　・溶融亜鉛めっきを行った鋼板製　・銅板製
形状　・市販品（とい径100以下）　・25×4.5以上
足金物
材種　・溶融亜鉛めっきを行った鋼板製　・銅板製

多雪地域　・適用する　・適用しない
硬質塩化ビニル製集水器の形状　・図示
硬質塩化ビニル製あんこうの形状　・図示

⑧ たてどいの床及び天井面との取合い部
［13．5．2~3］

防露を行う場合，バンド（ステンレス鋼帯ＳＵＳ304　厚さ0.2mm）で被覆する
高さ（mm）　床　※150　天井　※30
防露を行わない場合，シーリングプレート（ステンレス製）を取付ける（床・天井）

⑮ 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※ ＨＬ程度	
・ 鏡面仕上げ	
・ №2B 程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
［14．2．1］

種別	色合等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
	・標準色（　）・特注色（　）	
	・標準色（　）・特注色（　）	

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

3 鉄鋼の亜鉛めっき
［14．2．2］

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

亜鉛めっき面の試験　※行う（付着量試験）　・行わない

⑯ 左官工事

① 共通材料
［15．2．4、5］

・ラス
素材による区分　・
種類　・
単位面積当たりの質量　・
・木質系セメント板
・木毛セメント板　・ＨＷ　・ＭＷ　・ＮＷ　厚さ（　　）mm

2 ラス下地
［15．2．4］

ラス系下地の種類及び材料
・直張りラスモルタル下地（材料　・　　　）
・直張りラスシートモルタル下地（材料　・　　　）
・二層下地通気構法（材料　・波形ラス(W700)　・こぶラス(K800)　・力骨付きラス(BP700)）
換気口部の措置　※木造標準仕様書11.4.3(2)(ク)による　・
・単層下地通気構法（材料　・リブラスＣ（RC800）
・下張りシートのある裏打ち材などの下張材と一体化したもの　）

3 モルタル塗り
［15．3．2、5］

モルタル　※現場調合材料　・既調合材料（材料：　　　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　　）　形状（※図示　・　　　）
・設けない
床の目地　・設ける　目地割り　※２㎡程度、最大目地間隔３m程度　・
種類　※押し目地　・
・設けない

④ 床コンクリートの直均し仕上げ
［6．2．5］［15．4．2］

仕上げの平たんさは、図示及び標準仕様書15.4.2(ｱ)(ｲ)以外は、下表による

平たんさ(mm)	施工箇所
・a種	
・b種	
・c種	

5 セルフレベリング材塗り
［15．5．2］

標準塗厚(mm)　※10mm程度　・

⑥ 仕上塗材仕上げ
［15．6．2］

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材　表15．6．1~2

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け

・厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材
・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・行う ・行わない

⊙複層仕上げ塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性　・　　）		
・複層塗材ＣＥ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材Ｓｉ ⊙複層塗材Ｅ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ	・凸部処理 ・凹凸状 ⊙ゆず肌状	・吹付け ⊙ローラー	・溶媒系 ・弱溶媒系 ※水系	※アクリル系（耐候性３種） ⊙ポリウレタン系（耐候性２種） ・アクリルシリコン系(耐候性１種) ・ふっ素系（耐候性１種）	※つやあり ・つやなし

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
・吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする　・図示による

7 しっくい塗り
［15．10．2、3］

材料
・既調合しっくい（種類等　　　　）
色しっくい　・適用する　・適用しない
・現場調合しっくい
下地
木ずり下地（調合及び各層の塗厚　※標準仕様書表15.10.3による　・　　　）
こまい壁下地（調合及び各層の塗厚　※標準仕様書表15.10.4による　・　　　）
せっこうラスボード（調合及び各層の塗厚　・　　　）
せっこうボード（調合及び各層の塗厚　・　　　）

8 こまい壁塗り
［15．11．2、5、7、8］

のりの種類
・土壁用ののり　・ふのり　※つのまた　・ぎんなんそう　・粉末海藻
・砂壁用ののり　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり
・にかわ　・合成樹脂系混和剤
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類　・
・大津仕上げに用いる色土の種類　・
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色、製造したもの
下塗りの調合　※標準仕様書表15.11.2による　・
塗厚　※標準仕様書表15.11.8による　・
こまい壁塗りの工程種別　※Ａ種　・Ｂ種
土物仕上げの工法
種類　・土物仕上げ工法
・水ごね土物１工法　・水ごね土物２工法
・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
大津仕上げの工法
種類　・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法

⑰ 建具工事

1 防火戸
［16．1．3］

・適用する　指定箇所（・建具表　・平面図　・　　　）
煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

2 見本の製作等
［16．1．4］

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　※行わない

3 防犯建物部品
［16．1．6］

・適用する　適用箇所（・建具表　・平面図　　　）

4 アルミニウム製建具
［16．2．2~5］

外部に面する建具の性能等級等　表16．2．1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	・Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	・Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	・Ａ－３		・Ａ－４	・Ａ－３	
水密性	・Ｗ－４		・Ｗ－５	・Ｗ－３	
枠見込み(mm)	・７０　・１００		・100　・	・	・
表面処理	種別（　　）種 色合等　※標準色（　　）・特注色（　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット(G)・断熱サッシ(G)の断熱性の等級・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

⑤ 樹脂製建具
［16．3．2~5］

外部に面する建具の性能等級等　表16．3．1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	・Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	・Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	・Ａ－４				
水密性	・Ｗ－４	・Ｗ－５		・Ｗ－３	
枠見込み	※建具表による　・				
表面色	※標準色（　　）・特注色（　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２
断熱ドアセット(G)・断熱サッシ(G)の断熱性の等級・Ｈ－４　・Ｈ－５　・Ｈ－６　・Ｈ－７　・Ｈ－８

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５mm以上	１６～１８メッシュ
・防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５mm	網目寸法　ピッチ１５mm

水切り板、ぜん板　※図示　・

6 鋼製建具
［16．4．2~4、6］

簡易気密型ドアセット　気密性の等級　・Ａ－３
水密性の等級　・Ｗ－１
外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット(G)・断熱サッシ(G)の断熱性の等級・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
鋼板類の厚さ　※標準仕様書表16.4.2による　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

7 鋼製軽量建具
［16．5．2~4、6］

簡易気密型ドアセット　・適用する
外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
防音充填材　・グラスウール　・ロックウール
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット(G)・断熱サッシ(G)の断熱性の等級・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板　(mm)
表16．5．1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※鋼板　・ステンレス　・アルミニウム
扉の表面材、押縁	※鋼板　・ビニル被覆鋼板
枠類	※鋼板（くつずりはステンレス）　・製作所仕様

8 ステンレス製建具
［16．6．2~4］

簡易気密型ドアセット　・適用する
外部に面する建具の耐風圧性　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６　・
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット(G)・断熱サッシ(G)の断熱性の等級・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
ステンレス鋼板（屋外）　※ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
ステンレス鋼板（屋内）　・ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（・ａ角　・ｂ角　・ｃ角）

9 木製建具
［16．7．2~4］

建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・フラッシュ戸
表面材の品質等

合板の種類	規格等	備考
・普通合板(G)	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ﾗﾜﾝ合板程度　・　　） 不透明塗料塗り （※しな合板程度　・　　） 板面の品質（※広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・天然木 化粧合板	樹種名（　　　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装） 表面性能（　　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類）	
・ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）(G)	表裏面の状態による区分（　　） 曲げ強さによる区分（　　） 接着剤による区分（　　） 難燃性による区分（　　）	

表面板の厚さ　※標準仕様書表16.7.6による　・

・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度　押入等の裏側は雲花紙程度
縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
枠、くつずりの材料　・建具表による　・

⑩ 建具用金物
［16．8．2~3］

金物の種類・見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※標準仕様書表16.8.2による　・
樹脂製建具に使用する丁番　※標準仕様書表16.8.3による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※標準仕様書表16.8.4による　・
木製建具に使用する戸車及びレール丁番　※標準仕様書表16.8.5による　・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置　・建具表による　・

⑪ 鍵
［16．8．4］

マスターキー　・製作する（　　組）　⊙製作しない　・既存に組込む
鍵箱　・設ける（　　個用　　組）⊙設けない

12 自動ドア開閉装置
［16．9．2~3］

自動ドア	性能	防錆	引き戸用検出装置の種類	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標準仕様書表16.9.1による ・	・適用する ・適用しない	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ(・無線式　・光線式) ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便房用操作ｽｲｯﾁ ・大形(開・閉)押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・非接触ｽｲｯﾁ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない
・SWD-1 ・SWD-2	※標準仕様書表16.9.2による ・			
・図示	・			

13 自閉式上吊り引戸装置
【16．10．3】

性能等　※標準仕様書 表16.10.1による

14 重量シャッター
［16．11．2~5］

種類　・管理用　・外壁用防火　・屋内用防火　・防煙
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度　（　　　）Pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
管理用 シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない
安全装置
電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
設置箇所　・建具表による　・
電動シャッターの障害物感知装置
設置箇所　・建具表による　・
屋内用防火シャッター又は防煙シャッターの危害防止装置
設置箇所　・建具表による　・
・
スラット及びシャッターケース鋼板の種類
・JIS G 3302（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（ ※Ｚ12又はＦ12を満足するもの　）

15 軽量シャッター
【16．12．2~5】

開閉方式の種類　※手動式　・電動式（手動併用）
耐風圧強度（　　）Ｎ／㎡
安全装置（電動シャッター）
・急降下停止装置
設置箇所　・建具表による　・
※障害物感知装置
設置箇所　・建具表による　・
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（ ※Ｚ06又はＦ06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（ ※ＡＺ90　・　　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

16 オーバーヘッドドア
【16．13．2、3】

セクション材料による区分　※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　・ファイバーグラスタイプ
風圧力による強さの区分　・１２５　・１００　・７５　・５０
開閉形式による区分　※バランス式　・チェーン式　・電動式
収納形式による区分　・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形　・バーチカル形
ガイドレールの材質　※溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ２．０mm
障害物感知装置　※設ける　・設けない

17 ガラス
［16．14．2~4］

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類　※建具表による　・
・合わせガラス

材料板ガラスの種類	組合せ	特性による種類
※フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類　・Ⅲ類
・網入合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類

・強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラスの種類による名称	特性による種類
※フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	
・熱線反射ガラス	・熱線反射強化ガラス	

・複層ガラス

断熱性による区分	乾燥気体の種類	日射取得性、日射遮へい性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6	・空気　・ｱﾙｺﾞﾝ	・G　・S

・熱線反射板ガラス

材料板ガラスによる種類	色　調
※熱線反射ガラス	・ブルー　・グレー
・高性能反射板ガラス	・ブロンズ　・シルバー

種　類	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス	・１種	Ａ種	
・高性能反射板ガラス	・２種	・Ａ種　・Ｂ種	
	・３種	Ｂ種	

反射皮膜面　※内面　・外面
映像調整　※行わない　・行う
・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスの種類による名称	性能による種類	色　調
※熱線吸収フロート板ガラス	・１種	・グリーン
・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・２種	・

18 ガラス留め材
［16．14．2］
ガラス溝の寸法、形状等
［16．14．3］

建具の種類	材　種	ガラス溝の大きさ(mm)
鋼製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
アルミニウム製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
ステンレス製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
木製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
樹脂製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・

防火戸のガラスとめ材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

19 ガラスブロック積み
［16．14．5］

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125 x 125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	※標準仕様書16.14.5(2)(ｳ)(a) ・	※6m以下毎に10～25 ・図示による ・	※なし ・あり
	・160 x 160	・95　・125	・	・				
	・200 x 200	・95　・125	・	・				
	・320 x 320	95	・	・				
・長方形	・250 x 125	80	・	・				
	・320 x 160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の１０倍以上とする
壁用金属枠及び補強材　・設ける　（形状　※図示による　・　　　）
力骨　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）　径５．５mm　はしご形状複筋及び単筋　・
目地部の力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による　・
化粧目地モルタルの色　（　　　）
シーリング材　※表９．７．１による　・
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　・図示による　・
形状　・図示による　・
1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

20 ガラス用フィルム

種　類	張り面	性能値
	・内張り　・外張り	

品質　ＪＩＳ　Ａ５７５９による

21 付属電気設備

自動扉、電動シャッター、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機０．４ＫＷ以上の場合は、
機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。

工事名	延友遊園地トイレ改築工事		No. A-05 / A-17
図面名	木造建築工事特記仕様書５	縮尺	
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課		令和8年4月	

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

⑱ 塗装工事

① 材料 [18. 1. 3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　　　　・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　　　　）

② 素地ごしらえ [18. 2. 2~7]

・木部　・不透明塗料塗り	（※Ａ種　・Ｂ種）	表18. 2. 1~7
・透明塗料塗り	（・Ａ種　※Ｂ種）	
・鉄鋼面・DP以外の場合	（・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種）	
・DPの場合	（・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）	
・亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等以外）	（・Ａ種　・Ｂ種）	
・亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	（・Ａ種　・Ｂ種）	
・ﾓﾙﾀﾙ面及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	（・Ａ種　※Ｂ種）	
・ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP以外)及びALCﾊﾟﾈﾙ面	（・Ａ種　※Ｂ種）	
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	（・Ａ種　・Ｂ種）	
・コンクリート面（DP）	（・Ａ種　・Ｂ種）	
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面	（・Ａ種　※Ｂ種）	

3 錆止め塗料塗り [18. 3. 2、3]

（表18. 3. 1、2）（表18. 3. 3、4）

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	Ａs種	見え掛り：Ａ種 見え隠れ：Ｂ種
	DP	Ｃs種及びＤs種	表18.3.4
	EP-G	・Ａs種　※Ｂs種	見え掛り：Ａ種 見え隠れ：Ｂ種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※Ａz種　・Ｂz種	鋼製建具等：Ａ種 上記以外：Ｂ種
	DP	Ｂz種	表18.3.6
	EP-G	Ｃz種	鋼製建具等：Ａ種 上記以外：Ｂ種

④ 仕上げ塗料塗り [18. 4. 1~18. 12. 2]

塗装の種類	塗料の種類		種別
・合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）	・木部（外部）	※1種　・	※Ａ種　・Ｂ種
	・木部（内部）	※1種　・	・Ａ種　※Ｂ種
	・鉄鋼面	※1種　・	・Ａ種　※Ｂ種
	・亜鉛めっき鋼面	※1種　・	表18. 4. 3
・クリアラッカー塗り（ＣＬ）	木部		・Ａ種　※Ｂ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）	・屋内のコンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内のモルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
・耐候性塗料塗り（ＤＰ）	・屋外の鉄鋼面　上塗り等級（　）級		表18. 7. 1
	・屋外の亜鉛めっき鋼面　上塗り等級（　）級		表18. 7. 2
	・屋外のコンクリート面　上塗り等級（　）級		・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	・コンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・押出成形セメント板面		・Ａ種　※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうボード面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内の木部		表18. 8. 2
	・屋内の鉄鋼面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内の亜鉛めっき鋼面		表18. 8. 4
・合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）	・コンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうボード面		・Ａ種　※Ｂ種
	・		・Ａ種　※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）	木部		・Ａ種　※Ｂ種
・ピグメントステイン塗り			・ﾋﾟｸﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り ・ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り（ＯＳ）
・木材保護塗料塗り（ＷＰ）	木部		・Ａ種　※Ｂ種
・マスチック塗材塗り	・コンクリート面		・Ａ種　・Ｂ種
	・押出成型ｾﾒﾝﾄ板面		・Ａ種　・Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種　・Ｂ種
	・ＡＬＣパネル面		・Ａ種　・Ｂ種

⑲ 内装工事

1 接着剤 [19. 2. 2]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　　・
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。

2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル [19. 2. 2、3]

ビニル樹脂系材料の原材料
　再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で１５%以上使用されているもの

・ビニル床シート(G)

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	工法
※発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	・無地 ・マーブル ・特殊柄	※２．０ ・２．５	・突付け ※熱溶接
・発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・無地 ・マーブル ・柄物	・	・突付け ・熱溶接

・ビニル床タイル(G)

種類	種類の記号	色柄	寸法	厚さ（mm）
※接着形	・ＦＴ	・無地	・300×300	※２．０　・
	・ＴＴ	・マーブル	・450×450	・
	※ＫＴ	・特殊柄	・500×500	※２．０　・
※置敷形	・ＦＯＡ			・
	・ＦＯＢ			・

・特殊機能床材（帯電防止）

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
・帯電防止床シート	・ＦＳ ・	・	・２．０ ・	帯電防止性能評価値（ＪＩＳ　Ａ１４５５） １．２以上～３．２未満
・帯電防止床タイル	・ＦＯＡ ・ＦＯＢ	・	・	又は体積電気抵抗値（ＪＩＳ　Ａ１４５４） $1 \times 10^{7} \sim 10^{10}$Ω程度

・特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ（mm）	寸法（mm）	材料	色柄
・誘導用床材、注意喚起用床（表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１）	・	・３００ｘ３００	※塩ビ　・合成ゴム	・黄色
		・４００ｘ４００	合成ゴム	・
・				

ビニル幅木の高さ（mm）　※６０　・７５
　　　　厚さ（mm）　※２．０　・
　　　　材質　　　※軟質　・硬質

3 カーペット敷き [19. 3. 2、3]

・織じゅうたん(G)

ﾊﾟｲﾙ糸の種類等	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・ｳｨﾙﾄﾝ ｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰ ｶｰﾍﾟｯﾄ	※模様のない無地 ・柄物 （標準品）	・適用する ・適用しない	

・ タフテッドカーペット(G)

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・5～7　・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法	・適用する （性能：※人体帯電圧 3kv以下　・　） ・適用しない	
・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・4～6　・			
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・			

・タイルカーペット(G)

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ（mm）	備　考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L3204）の第2種1号　呼び厚さ8mm　・
見切り、押え金物の材質、種類及び形状　※図示　・

4 合成樹脂塗床 [19. 4. 2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ 工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

5 防じん用塗床 [19. 4. 2、3]

材質　　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５Ｋｇ／㎡以上とする
仕上げの種類　　・防滑仕上げ　・平滑仕上げ
塗料のホルムルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

6 フローリング張り [19. 5. 2~6]

単層フローリング(G)

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・釘留め工法（根太張り）	・なら ・	15	板幅75以上 板長さ400以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法（直張り）	・なら ・	・12以上 ・	板幅75以上 板長さ400以上		・
	・接着工法	・なら ・	・8以上 ・	板幅75以上 板長さ400以上		
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	・接着工法	・なら ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
	・モルタル埋込工法	・なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・塗装品 ・無塗装品	・

フローリングボードの大きさ　※標準仕様書表19.5.1、3、5による　・

複合フローリング(G)

種類	工法	樹種	厚さ（mm）	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
・天然木化粧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り）	・なら ・	・15　・ ・12　・ ・12　・	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	・接着工法	・なら ・	・12　・ ・12　・ ・12　・	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・

フローリングの大きさ　※標準仕様書表19.5.2、4、6による　・
　フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　　※ 規制対象外
　接着工法の場合の緩衝材　※合成樹脂発泡シート

7 畳敷き [19. 6. 2~3]

・種別　　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　※Ｄ種
　　　Ｄ種の場合の畳床記号　　・ＫＴ－Ⅰ　・ＫＴ－Ⅱ　・ＫＴ－Ⅲ
　　　　　　　　　　　　　　・ＫＴ－Ｋ　・ＫＴ－Ｎ
・衝撃緩和型畳　　畳表　・Ｃ１　・Ｃ２

⑧ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り [19. 7. 2~3]

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

種　類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板(G)	HW	・ 15　・ 20　・ 25　・
・中質木毛セメント板(G)	MW	・ 15　・ 20　・ 25　・
・普通木毛セメント板(G)	NW	・ 15　・ 20　・ 25　・
・硬質木片セメント板(G)	HF	・ 12　・ 15　・ 18　・ 21　・
・普通木片セメント板(G)	NF	・ 30　・
⦿けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2（無石綿）　・ 6　・ 8
・化粧けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2（無石綿）　・ 6　・ 8 表面への化粧張り等の加工　・ ｱｸﾘﾙ樹脂系焼付け ・
・ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ（・ 9（不燃）・ 12（不燃）　・　） ・ 凹凸タイプ（・ 12(不燃)　・ 15（不燃）　・　）
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW-B	・ 25　・
・グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ号32K	GW-B	・ 25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包)　・
・せっこうボード	GB-R	※ 12.5（不燃）　・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（※不燃　・準不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	GB-D	9.5（準不燃）
・普通合板(G)		表面の材種 生地、透明塗料塗り（※ﾗﾜﾝ程度　・　　） 不透明塗料塗り（※しな程度　・　　） 板面の品質（　）、　厚さ(mm)（　） 接着の程度（・１種　・２種） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・天然木化粧合板(G)		樹種名（　　　） 接着の程度（・1類　・2類） 厚さ(mm)（　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・特殊加工化粧合板(G)		化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装） 表面性能（　　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類） 厚さ(mm)（　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による（※ 1.2　・　）
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティファイバーボード(G)	MDF	・ 3　・ 7　・ 9　・ 12　・
・単板張りパーティクルボード(G)		・ 無研磨板 ＶＮ　・ 研磨板 ＶＳ ・ 10　・ 12　・ 15　・ 18　・
・化粧パーティクルボード(G)		・ 単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ＤＶ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ ＤＯ ・ 塗装 ＤＣ ・ 10（難燃）・ 12（難燃）・
・ハードボード（素地）(G)	HB	・無研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＮ ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＳ
・ハードボード（化粧）(G)		・内装用 ＤＩ　・外装用 ＤＥ ・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7　・
・インシュレーションボード(G)	IB	A級（・ 天井仕上　・ 内装仕上　・　） ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18　・

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
　※図示による
合板の張付け　　・A種　　・B種
せっこうボードの目地工法　・仕上げ表による　・

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
　※図示による
合板の張付け　　・A種　　・B種
せっこうボードの目地工法　・仕上げ表による　・

9 壁紙張り [19. 8. 2、3]

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類：紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火種別	備考
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃	

モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらえ　※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえの種別　・A種　※B種

10 断熱材 [19. 9. 2、3]

フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

・断熱材(G)打込み工法

種類		厚さ(mm)	施工箇所
・ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材		・	・
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材(ｽｷﾝ層なし)	・2種bA	・25　・	・
	・3種bA	・25　・	・
	・	・	・
・ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材	・	・	・
・ ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材	・	・	・

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による
・断熱材現場発泡工法
　断熱材の種類　※A種1　　・A種1H
　吹付け厚さ（mm）　　・25　・30　・
　施工箇所　・図示　・

11 メラミン樹脂化粧板

JIS K 6903規格品　　厚さ（　　　mm）

⑳ 断熱・防露、ユニット及びその他工事

1 断熱材等材料 (20. 1. 2)

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

・断熱材(G)
　施工箇所　※図示

断熱材の種類：分類	材料名	規格番号	厚さ、密度
・フェルト状断熱材	・グラスウール		
	・ロックウール		
・ボード状断熱材	・グラスウール		
	・ロックウール		
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・JIS A 9521	
	・押出法ポリスチレンフォーム		
	・硬質ウレタンフォーム		
	・ポリエチレンフォーム		
	・フェノールフォーム		
	・インシュレーションファイバー		
・ばら状断熱材	・グラスウール	・JIS A 9523	
	・ロックウール		
	・セルローズファイバー		
・現場発泡断熱材	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種１又はA種1H(難燃性を有するもの)	・JIS A 9526	

・防湿材
　種類　・木造標準仕様書20.2.2(2)（・(ｱ)　・(ｲ)　・(ｳ)）
　厚さ　・図示
　施工箇所　・図示　・
・気密材
　種類　・木造標準仕様書20.2.2(3)（・(ｱ)　・(ｲ)　・(ｳ)　・(ｴ)　・(ｵ)　・(ｶ)　・(ｷ)）
　厚さ　・図示
　施工箇所　・図示　・
・防風材
　種類　※JIS A 6111 に基づく透湿防水シートB
　　　・木造標準仕様書20.2.2(4)（・(ｱ)　・(ｲ)　・(ｳ)　・(ｴ)　・(ｵ)）
　厚さ　・図示
　施工箇所　・図示　・
断熱材の施工　・充填断熱工法
　　　　・外張断熱工法　防蟻処理　・行う（適用箇所：　　　／処理の種類：　　　）

2 フリーアクセスフロア [20. 2. 2]

施工箇所	・	・
工法	・置敷式	・支柱調整式
耐震性能	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ
所定荷重	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ
パネル寸法（mm）	・	・
高さ（mm）	・　　・	・　　・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット(G) ・帯電防止床タイル	※タイルカーペット(G) ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様　・図示による	※メーカー仕様　・図示による

寸法精度　※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)による　・

配線用取り出しパネル
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※２０～３０％　・製造所の仕様による
　配線取り出し開口　※パネル１枚につき40mmｘ80mm程度の開口１ヶ所以上　・製造所の仕様による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
　※なし
　・有り　（※固定式　・可変式）：　施工箇所（※図示による　・　　　）
耐荷重性能　※変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下　・
耐衝撃性能　※残留変形3.0mm以下及び損傷がない　・
ローリングロード性能　※残留変形3.0mm以下　・

耐燃焼性能
・建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・JIS A 1450に基づく燃焼試験において、燃焼終了後の残炎時間が０秒であること

3 可動間仕切 [20. 2. 3]

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類　※スタッド式（・スタッド露出・スタッド内蔵）・スタッドパネル式
構成基材の種類　※図示による
表面材質及び厚さ（mm）　※鋼板０．６　・鋼板０．８
パネル表面仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　・指定色）
パネル総厚さ（mm）　・　　　程度
遮音性の区分　・０　・１２　・２０　・２８　・３６
防火性能　・不燃
パネル内に取付ける家具　・あり（※図示　・　）　・なし

4 移動間仕切 [20. 2. 4]

パネルの操作方法による種類　・手動式　・電動式　・部分電動式
表面材質及び厚さ（mm）　※鋼板０．６　・
仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　・指定色）
パネル総厚さ（mm）　・　　　程度
パネル圧接装置の操作方法　・製造所の仕様による　・図示による
遮音性の区分　・３６未満　・３６以上　（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

⑤ トイレブース [20. 2. 5]

表面材　※メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質形状　※アルミＲエッジ
幅木材質　※ステンレス幅木

6 階段滑止め [20. 2. 7]

材種　・SUS304（表面処理　※ＨＬ程度　・　）
　　　・鋼　製（表面処理　溶融亜鉛めっき）
　　　・アルミニウム
端部フラットエンド　※有（※タイヤと同材　・ステンレス鋼）　・無
型式　※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り
幅（mm）　※約３５
取付方法　※接着工法　・埋込み工法

7 黒板及びホワイトボード [20. 2. 9]

・ホワイトボード(G)　ほうろう　形状及び寸法は図示による
・黒板(G)　種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板
　　　色彩　※緑　・黒　・白
　　　形状及び寸法は図示による

8 鏡 [20. 2. 10]

取付箇所　・図示による　・（　　　　）
寸法（mm）　・図示による　・
厚さ（mm）　※５　・

⑨ 表示 [20. 2. 11]

・案内板　・施設案内板（※標準詳細図による　・図示による）
　　　　・各階案内板（※標準詳細図による　・図示による）
　　　　・視覚障害者用案内板（※共通詳細図による　・図示による）
・室名札　※標準詳細図による　・市販品
⦿ピクトグラフ　標準案内図用記号　※ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　・図示による
　　　　形状・その他　※図示による
・施設文字　※標準詳細図による　・
　　　　字数（　　）　文字の大きさ（　ｘ　）
・対人衝突防止表示　・図示による
・非常用進入口　・図示による
　案内図用記号はＪＩＳ　Ｚ　８２１０による

10 煙突ライニング [20. 2. 13]

・煙突用成形ライニング材
　適用安全使用温度　※４００℃　・６５０℃
・キャスタブル耐火材
　※煙突用成形ライニング材の指定する製品とする

11 ブラインド [20. 2. 14]

形　式	・横型ブラインド(G)	・縦型ブラインド(G)(防炎性能を有するもの)
スラットの材種	アルミニウム合金製	・アルミスラット・クロススラット
スラットの種類	※ギア式　・コード式	※１本操作コード式
スラットの幅（mm）	※２５　・３５	・８０以上　・１００

12 ロールスクリーン(G) [20. 2. 15]

材種　・図示による　・
遮光性能　・図示による　・
寸法　・図示による　・
操作方法　・電動式　・スプリング式　・コード式（チェーン式）

13 カーテン及びカーテンレール [20. 2. 16]

カーテン(G)

施工箇所	形式	開閉形式	カーテン操作方式	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類
	・シングル ・ダブル	・片引き　・引分	※手動　・電動		
	・シングル ・ダブル	・片引き　・引分	※手動　・電動		

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物
	・10-60 ※10-90	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	
	・10-60 ※10-90	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	

暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

14 点検口

・天井　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　※４５０ｘ４５０　・６００ｘ６００
　　形式　一般型　外枠　・額縁タイプ　・目地タイプ
　　　　　　　内枠　・額縁タイプ　・目地タイプ
・床　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　・４５０ｘ４５０　※６００ｘ６００
　　形式　※屋内用一般型　・密閉形

工事名	延友遊園地トイレ改築工事		No. A-06／A-17
図面名	木造建築工事特記仕様書６	縮尺	
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課		令和8年4月	

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

15 旗竿受金物

材　種　・ステンレス製（SUS 304）　・

16 車止め支柱

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

17 フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・鋼管フェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス　・アルミフェンス
高さ　・図示　・

18 屋内掲示板(G)

枠の材質　※ アルミニウム製
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り

19 収納家具(G)

材質、形状、寸法　※ 図示
合板類、MDF 及び パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

20 屋外掲示板(G)

本体材質　※ステンレス製　・　掲示板面材質　・
照明器具　・有り　・無し
施錠装置　※有り　・無し
形状寸法　※図示による　・

21 くつふきマット

・塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）ワンライン型
・硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）
・ステンレス製(ＳＵＳ３０４)（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）

22 階段手すり笠木

材質	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
・集成材	・ＣＬ　・	・６０　・４５　・４０　・	
・ステンレスパイプ	・ＨＬ　・	・６０　・４５　・４０　・	
・鋼製パイプ	・ＳＯＰ　・ＥＰ－Ｇ	・６０　・４５　・４０　・	
・ビニル製			

23 天井見切り縁

材種　・アルミニウム既製品　・ビニル既製品

24 ピクチャーレール

・見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　ヶ／ｍ　安全荷重　※１５kg以上　・

25 誘導用床材、注意喚起用床材

材種　・レジンコンクリート製（厚さ６０mm）　・磁器質タイル製
表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１による
寸法　※３００x３００　・　色　・黄色　・

㉖ サイディング
(20. 3. 2)

窯業系サイディング工事
サイディング材　(20.3.2)

種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火・ 耐火性能
・	・	・	・	・	・	・

張り方　・縦張り工法　・横張り工法
換気口部の防水措置　※　木造標準仕様書20.3.2(3)(ウ)(c)①～④までによる
・　図示
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ　・
通気胴縁　樹種　※　杉　・　寸法　※図示
通気胴縁の防腐処理方法(　　)
シーリング　寸法　※木造標準仕様書20.3.2(3)(ｂ)による

複合金属サイディング工事
サイディング材　(20.3.3)

種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火・ 耐火性能
・	・	・	・	・	・	・

張り方　・縦張り工法　・横張り工法
換気口部の防水措置　※　木造標準仕様書20.3.2(3)(ウ)(c)①～④までによる
・　図示
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ　・
通気胴縁　樹種　※　杉　・　寸法　※図示
通気胴縁の防腐処理方法(　　)

24 排水工事

① 排水管
[21. 2. 1]

排水管用材料

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（１種）	・Ｂ形管 ・	※図示 ・	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・ VP	・	※図示　・	
	・ VU	・	※図示　・	
	・ RS-VP	・	※図示　・	
	・ RS-VU	・	※図示　・	

② 側塊、排水桝等
[21. 2. 1]

・側塊
形状及び寸法　・図示　・
・鋳鉄製ふた

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－２０用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は空気調和衛生工学会SHASE-S209による
塩ビ製	・RS-VU			

・グレーチング

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛 めっき (付着量)	上面形状
・鋼製 ホールふた ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた （横断用） ・溝ふた （側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・ ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・ ・普通目 ・細目	・（　　） ・（　　）	・凹凸形 ・ ・平形 ・

③ 街きょ、縁石、側溝
[21. 3. 2]

種類	形状、寸法
・縁石	・ 図示　・
・Ｕ形側溝	・ 図示　・
・Ｕ形側溝ふた	・ 図示　・

22 舗装工事

1 路床
[22. 2. 2~5]

路床の材料　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土(G)	・図示 ・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75¥U+03BCmふるい通過量10%以下） ・	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン(G)　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（75¥U+03BCmふるい通過量10%以下）	・図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75¥U+03BCmふるい通過量６%以下） ・	・図示 ・

路床安定処理
・添加材料による安定処理　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（・特号　・１号）　・消石灰（・特号　・１号）
添加量　kg（目標CBR　・5以上　・　）
試験　路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※行わない　・行う
路床締固め度の試験　※行わない　・行う
現場ＣＢＲ試験　※行わない　・行う

2 路盤
[22. 3. 2~5]

路盤の厚さ　・図示　・
路盤材料　・砕石　・再生クラッシャラン(G)　・クラッシャラン鉄鋼スラグ　・図示
試験　路盤締固め度の試験　※行わない　・行う

3 アスファルト舗装
[22. 4. 2~6]

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料
アスファルト　・ 再生アスファルト(G)　・ ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材(G)
加熱アスファルト混合物等の種類

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13Ｆ)
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)

シールコートの施工　※行わない　・行う
試験　アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う

4 コンクリート舗装
[22. 5. 2~6]

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車道部 歩道部	・図示　・150　・ ・図示　・70　・

縁部立下り寸法等　・図示
材料
コンクリート　・標準仕様書表22.5.2による　・
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
種類、間隔、構造　※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による　・図示
試験　コンクリート版厚さの試験　・行う　・行わない

5 カラー舗装
[22. 6. 2~4]

・加熱系カラー舗装
構成・厚さ　※図示　・
加熱系混合物の結合材　・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　　%）
着色骨材（　　）、自然石（　　）
・常温系カラー舗装
工法　・ニート工法　・塗布工法
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装

6 透水性アスファルト舗装
[22. 7. 2~6]

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
アスファルト　※再生アスファルト(G)　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材(G)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

7 ブロック系舗装
[22. 8. 2~3]

・コンクリート平板舗装

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板（M）	※300角 ・	・ 60	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し

・インターロッキングブロック舗装

種類	部位	形状・寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	備考
※普通ブロック（N）	車道部	※図示　・	※80	※ 5. 0	色彩、表面加工
・透水性ブロック（P）	歩道部	※図示　・	※60	※ 3. 0	・ 標準品

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)
※花こう岩 ・	・図示 ・	・ 80 ・	・ うろこ張り ・	・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装	※70　・ ※50　・

8 砂利敷き
[22. 9. 2]

種別
・ Ａ種（施工範囲：・図示　・通路　・　　）
・ Ｂ種（施工範囲：・図示　・建築物の周囲その他　・　　）

9 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・ １種	常温	液状	・ 白 ・	・ 150 ・ 100	・ 1.0 ・
・ ２種	加熱				
・ ３種１号	溶融	粉体状			

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料(G)

23 植栽工事

1 植栽地の確認
[23. 1. 3]

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　※行わない　・行う
電気伝導度（EC）の試験　※行わない　・行う

2 植栽基盤の整備
[23. 2. 2~4]

植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種	樹高12m以上　（※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満　（※80　・100） 樹高3m以上～7m未満　（※60　・80） 樹高3m未満　（※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※Ｂ種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　　）　・設けない

植込み用土
※ 現場発生土の良質土　・ 客土
土壌改良材
・ バーク堆肥(G)
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり　（　・50L　・　　）
・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）(G)
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり　（　・10L　・　　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、検査試験の調査の結果、害が認められないものとする

3 樹木
[23. 3. 2~3]

樹種、寸法、株立数等　※図示
支柱材　※ 丸太（間伐材）(G)　・ 真竹

4 新植、移植樹木、芝等の枯保証
[23. 3. 4, 6]
[23. 4. 7]

・新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　※引渡しの日から１年　・無し
・移植樹木の枯損処置を行う期間　※引渡しの日から１年　・無し

工事名	延友遊園地トイレ改築工事
図面名	木造建築工事特記仕様書７
縮尺	
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課	令和8年4月
No.	A-07 / A-17

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山市建築解体工事特記仕様書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工事場所　　岡山市北区延友字前場252番6,252番8,252番9
2．敷地面積　　558.77㎡
3．工事種目　　建築解体工事

棟　名　等	構造・規模等	適　　要
① 公衆便所棟	鉄筋コンクリート造　平屋建て　　1.50㎡	取りこわし一式
② 屋外設備	・屋外給水・排水桝・管	取りこわし一式
③ その他	・発生残土 ・樹木撤去	取りこわし一式 取りこわし一式

4．工事内容
　1．上記3．工事種目の建築物等の取りこわしを行う
　2．給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様
（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2．特記仕様
（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。
（2）特記事項は ⊙ 印のついたものを適用する。
　⊙ 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
　⊙ 印と ※ 印のついた場合は共に適用する。
（3）G印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達物品等を示す。
（4）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。
（5）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。
（6）特記事項に記載の〈　　〉内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。
（7）「監督職員」は「監督員」と読み替える。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
① 一般共通事項	※適用基準等	・ 営繕工事写真撮影要領(令和５年版)　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・ 建築工事標準詳細図　(令和４年版)　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
	① 工事実績情報の作成・登録について［1．1．4］	登録対象は、工事請負代金５００万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。なお、変更時と工事完成時の間が１０日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
	② 関係法令等の遵守［1．1．13］	「鉛等有害物を含する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について（基安労発0530第1号、基安化発0530第1号　平成２６年５月３０日）により、鉛等有害物を含有する建築物の塗料の剥離やかき落とし作業を行う場合には、塗料における鉛等有害物の使用状況を適切に把握した上で、鉛中毒予防規則等関係法令を遵守する。
	3　電気保安技術者［1．3．3］	・ 適用する
	④ 施工条件［1．3．5］	施工時間帯　　※指定なし　・指定あり（　　） 施工ができない日等　※指定なし　・指定あり（別添「学校行事に伴う施工ができない日等（予定）」に基づき監督職員と協議するものとする） 部位別の施工順序　※指定なし　・指定あり（　　） 工事車両の駐車場所　（※図示・　　） 資機材置場　（※図示・　　） 建設発生土仮置場　（※図示・　　） ※週休２日工事について ・本工事は、週休２日工事の対象である。週休２日工事特記仕様書を参照すること。 ・本工事は、週休２日工事の対象外である。
	5　安全計画書［1．3．6～8］	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）を参考に、工事安全計画書を作成し、監督職員に提出する。
	⑥ 石綿含有建材の事前調査［1．4．1］	※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、解体の作業に係る全ての材料について、設計図書等の文書を確認する方法及び目視により確認する方法により使用の有無について事前調査し、調査結果を監督職員に提出する。 事前調査で石綿の使用の有無が明らかにならなかった場合は、分析による調査が必要になるため、監督職員と協議するものとする。 調査範囲（※工事範囲　・図示　） 貸与資料（　　）
	⑦ 環境への配慮［1．3．9］	国等による環境物品等の調達の推等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和３年２月１９日変更閣議決定）における公共工事の配慮事項(資材の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。)に留意すること。
	⑧ 発生材の処理［1．3．10］	・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 　処理方法　（　　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ・再生資源化を図るもの 　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材
	9　施工数量調査［1．5．2］	調査範囲及び調査方法　※ 図示 調査報告書　提出２部
	10　技能士［1．6．2］	・とび作業（ ※一級　・二級 ）
	⑪ 完成時の提出図書	完成図（作図範囲　配置図）（CADデータの提出　※要　・不要） 保全に関する資料　不要
② 仮設工事	① 騒音・粉塵等の対策［2．2．1］	騒音・粉塵等の対策　・ 防音パネル　・ 防音シート　・ 養生シート 設置範囲及び高さ　・ 図示
	2　足場その他［2．2．2］	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成２１年４月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
	③ 監督職員事務所［2．3．1］	※ 設けない ・ 既存建物内の一部を使用する（場所　　） ・ 構内に新設する 　備品等は監督職員の指示を受けて設置するものとする。
	④ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できる（※ 有償　・ 無償）　・ 利用できない
	⑤ 工事用電力	※別途引き込みとする ・ 構内既存の施設を利用できる（※ 有償　・ 無償）
③ 解体施工	① 事前措置［3．2．1］	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による　・本工事による
	② 基礎等［3．9．1］	捨てコンクリートまで撤去を行う
	3　杭の解体［3．9．2］	杭の処理 　杭の解体方法　・ 引抜き工法　・ 破砕工法 　引抜いた杭の処理方法　・図示
	④ さく、照明設備等［3．10．1］	さく、照明設備等の撤去　※ 図示　・
	⑤ 構内舗装、樹木等［3．11．1］	舗装の路盤の撤去　・ 行う　・ 行わない 樹木の伐採抜根及び移植　・ 行う　・ 行わない
	⑥ 地下埋設物・埋設配管［3．12．1］	地下埋設物・埋設配管の撤去　・ 行う　・ 行わない
	⑦ 整地・埋戻し及び盛土［3．13．1］	解体後の埋戻し及び盛土 ⊙ 行う 　整地高さ　・ 現状ＧＬ　・ 図示 　埋戻し及び盛土の材料 　・ 山砂の類　・ 他現場の建設発生土の中の良質土・再生コンクリート砂 　・ 現場発生の良質土
④ 建設廃棄物の処理	1　処理に注意を要する建設廃棄物［4．5．1］	・せっこうボードの処理 　・石綿含有せっこうボード　６章による 　・ひ素・カドミウム含有せっこうボード 　　・製造業者に回収委託 　　・埋立処分（管理型最終処分場） 　　処分施設の名称　（　　） 　　所在地　（　　） 　・石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせっこうボード 　　・再生資源化（再資源化施設）　・最終処分（管理型最終処分場） 　　処分施設の名称　（　　） 　　所在地　（　　）
⑤ 特別管理産業廃棄物等の処理等	1　分析調査［5．1．2］	現場にてサンプルを採取し、分析調査を行う。 分析調査対象材料 　・ 廃油　（採取場所　　） 　・ 廃酸、廃アルカリ　（採取場所　　） 　・ 微量ＰＣＢ　（採取場所　　） 　・ ダイオキシン類　（採取場所　　） 採取箇所数　部材が異なる毎に１箇所
	2　特別管理産業廃棄物［5．4．1］	特別管理産業廃棄物の種類、処分等　・
	3　ＰＣＢ含有機器類［5．4．1］	事前調査対象機器 　・　（試料数　　個） 　・　（試料数　　個） 微量ＰＣＢの分析調査　・
	4　ＰＣＢ含有シーリング材［5．4．1］	ＰＣＢ含有シーリング材の分析調査及び撤去 　・第一次判定 　　現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する 　　採取箇所数　計　　箇所 　　採取箇所　※図示 　・第二次判定 　　専門分析機関にてＰＣＢ含有量の分析を行う 　　分析個数　計　　箇所 　・除去処理工事 　　除去範囲　※図示
	5　廃油［5．4．1］	廃油の処理　・行う 　・ オイルタンク、オイルサービスタンク、機器類等（配管内含む） 　　タンク内部の清掃　※行う　・行わない
	6　廃酸・廃アルカリ［5．4．1］	廃酸・廃アルカリの処理　・ 　・ 臭化リチウム（直炊吸収冷温水機） 　・ 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液
	7　ダイオキシン類［5．4．1］	サンプリング調査　・ 解体方法及び処分方法　・
⑥ 石綿含有建材の除去等	1　適用範囲［6．1．1］	建築設備に使用されている石綿含有材の処理 ・
	② 調査［6．1．3］	調査 　※石綿含有建材の事前調査 　　１章 ４ による 　・分析による石綿含有建材の調査 　　分析対象 　　アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 　　分析方法

材料名	分析方法（定性）JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	分析方法（定量）JIS A 1481-3、JIS A 1481-4又はJIS A 1481-5
	・　箇所	・　箇所
	・　箇所	・　箇所
	・　箇所	・　箇所

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと
サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・

	3　石綿粉じん濃度測定［6．1．3］	測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測 定 点（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺　・敷地境界	・計　点
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計　点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4　・測定5 ・測定（　）	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称	・測定4 ・測定5 ・測定（　）	・測定（　）	・測定（　）	・測定（　）
メンブレンフィルタ直径（mm）	25	47	47	
試料の吸引流量（ｌ/ｍｉｎ）	5	10	10	
試料の吸引時間（ｍｉｎ）	30	120	240	

	4　石綿含有吹付け材の除去［6．3．2］	除去範囲　※ 図示　・ 除去工法 ※ 解体共通仕様書6.3.2による 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置　※ 湿潤化　・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設）
	5　石綿含有保温材等の除去［6．4．1～4］	除去範囲　※ 図示　・ 除去工法　※原形のまま手ばらし　・ 破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
	6　石綿含有成形板の除去［6．5．1～4］	・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去 　除去範囲　※ 図示　・ 　除去工法　※切断・破砕等以外(ボルトや釘等を撤去し、手作業で取り外す等) 　除去した石綿含有成形板の処分 　・石綿含有せっこうボード 　　※埋立処分（管理型最終処分場） ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 　・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去 　除去範囲　※ 図示　・ 　除去工法　※手作業で取外し　・切断・破砕等 　　切断・破砕等する場合は、作業場所を隔離し、湿潤な状態を保ちながら作業する。（作業場所の隔離は、負圧に保つ必要はない。 　除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 　・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
	⑦ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去	下記以外は、解体共通仕様書6.1、6.2.1～6.2.4及び6.2.6による 　除去工法 　・ 　※石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省第二十一号）第６条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 　　・集じん装置併用手工具ケレン工法 　　・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） 　　・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） 　　・超音波ケレン工法（ＨＥＰＡフィルター付き掃除機併用） 　　・剥離剤併用手工具ケレン工法 　　・剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度） 　　・剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上） 　　・剥離剤併用超音波ケレン工法 　　・集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法 　　・ 　除去対象範囲　※図示 　作業場所の隔離　※行わない　・行う 　試験施工　※行わない　・行う 　除去した石綿含有仕上塗材の処分 　　・埋立処分（安定型最終処分場）　・埋立処分（管理型最終処分場） 　　・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 　除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 　　※解体共通仕様書6.3.3による　・ 　確認及び後片付け　※解体共通仕様書6.3.4による
⑦ 特殊な建設副産物の処理	1　フロン［7．3．1］	フロン類を使用している設備機器 　・パッケージ形空気調和機の冷媒 　・ルームエアコンディショナーの冷媒 　・冷凍機の冷媒 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象になっているものは、同法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、監督職員に次の書類を提出する。 　・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し
	2　特定化学物質等［7．3．1］	回収及び処分方法　・
⑧ その他	1　砂利地業 ＜4．6．2＞ ＜4．6．3＞	材　料 　・再生クラッシャラン(G)　・切込砂利及び切込砕石 砂利厚さ 　・60mm　・ 適用箇所 　・図示による（　　）
	2　捨コンクリート地業 ＜4．6．4＞ ＜6．14．1＞	捨コンクリートの厚さ 　・50mm　・ 適用箇所 　・基礎梁下、土に接するスラブ下 　・図示による（　　） 設計基準強度 　・18N/mm2 スランプ 　・15ｃｍ　・18ｃｍ
	3　路　床 ＜22．2．2＞ ＜22．2．3＞ ＜22．2．5＞	路床の材料　・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　厚さは図示による 　・凍上抑制層　※再生クラッシャラン(G)・クラッシャラン 　・切込み砂利・砂厚さは図示による 　・フィルター層　※砂　厚さは図示による 路床安定処理　・行う 　※添加材料による安定処理 　種類・普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントＢ種(G) 　・生石灰（・特号　・１号）　・消石灰（・特号　・１号） 　添加量　ｋｇ/m2　目標ＣＢＲ　※５以上　・　） 　・ジオテキスタイル 　　単位面積質量　60ｇ/m2 以上 　　厚さ（mm）　0.5～1.0 　　引張強さ　98N/5ｃｍ（10ｋｇｆ/5ｃｍ）以上 　　透水係数　1.5×10⁻⁵ｃｍ/ｓｅｃ 以上 盛土に用いる材料 　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 試験　路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※行う　・行わない 　　路床の締固め度の試験　※行う　・行わない 　　現場ＣＢＲ試験　※行う　・行わない
	4　路　盤 ＜22．3．2～3＞ ＜22．3．5＞	

舗装の種類	路盤の厚さ（mm）車道部	路盤の厚さ（mm）歩道部	路盤材料
・アスファルト舗装	※図示	※図示	※再生材のクラッシャラン ・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・カラー舗装	※図示	※図示	
・コンクリート舗装	※図示	※図示	
・透水性アスファルト舗装	※図示	※図示	
・透水性コンクリート舗装	－	※図示	
・インターロッキングブロック舗装	※図示	※図示	
・転圧コンクリート舗装	※図示	－	
・コンクリート平板舗装	－	※図示	
・舗石舗装	－	※図示	

試験　路盤の締固め度試験　※行う　・行わない

	5　アスファルト舗装 ＜22．4．2～6＞	舗装の種類	車道部の基層	備　　考
		・アスファルト舗装	・無し　・有り	

アスファルト　・再生アスファルト(G)　・ストレートアスファルト
骨　材　※砕石
　・再生材(G)　・

加熱アスファルト混合物等の種類

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)
基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)	

シールコートの施工　・行う
試験　アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ．A-08 A-17
図面名	建築解体工事特記仕様書			縮尺	
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課				令和8年4月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認 / 検図 / 製図

設　計　概　要

１．工事名	延友遊園地トイレ改築工事
２．工事場所	岡山市北区延友字前場252番6,252番8,252番9
３．主要用途	公衆便所
４．構造・規模	構造：木造　平屋建、基礎：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造
５．用途地域	市街化調整区域
６．防火地域	―

外　部　仕　上　表

屋　根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ塗装鋼板t0.4　縦はぜ葺き、野地板(構造用合板t12+杉板材t12、W150)、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940下地
軒　天	野地板(杉板材t12、W150)裏面表し、WP塗(2回)
樋	軒樋：塩ﾋﾞ角樋120×120、竪樋：ｶﾗｰVP65φ　SUS控金物
外　壁	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt16(金具止め工法)ｺｰﾅｰ役物共、透湿防水ｼｰﾄ、木部：WP塗(2回)
土台水切り	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ塗装鋼板t0.35　曲げ加工
基礎立上り	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B種)、打継化粧目地
スロープ	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き　t 30

内　部　仕　上　表

場　所	床	壁	腰壁	天井
簡易型 多機能便所	100角磁器質ﾀｲﾙ	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌　ﾛｰﾗｰ塗) ﾌﾞｰｽ　ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ芯ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 t=30	50角磁器質ﾀｲﾙ	野地板　杉板 t=12 表し 垂木：杉　45 × 90 (木部：WP塗2回)
小便器便所	100角磁器質ﾀｲﾙ	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌　ﾛｰﾗｰ塗) ﾌﾞｰｽ　ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ芯ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 t=30	50角磁器質ﾀｲﾙ	野地板　杉板 t=12 表し 垂木：杉　45 × 90 (木部：WP塗2回)
手洗い	100角磁器質ﾀｲﾙ	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌　ﾛｰﾗｰ塗) ﾌﾞｰｽ　ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ芯ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 t=30	50角磁器質ﾀｲﾙ	野地板　杉板 t=12 表し 垂木：杉　45 × 90 (木部：WP塗2回)
掃除道具入	100角磁器質ﾀｲﾙ	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板t=10の上、複層塗材E(ゆず肌　ﾛｰﾗｰ塗) ﾌﾞｰｽ　ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ芯ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 t=30	50角磁器質ﾀｲﾙ	野地板　杉板 t=12 表し 垂木：杉　45 × 90 (木部：WP塗2回)

同　等　品　リ　ス　ト

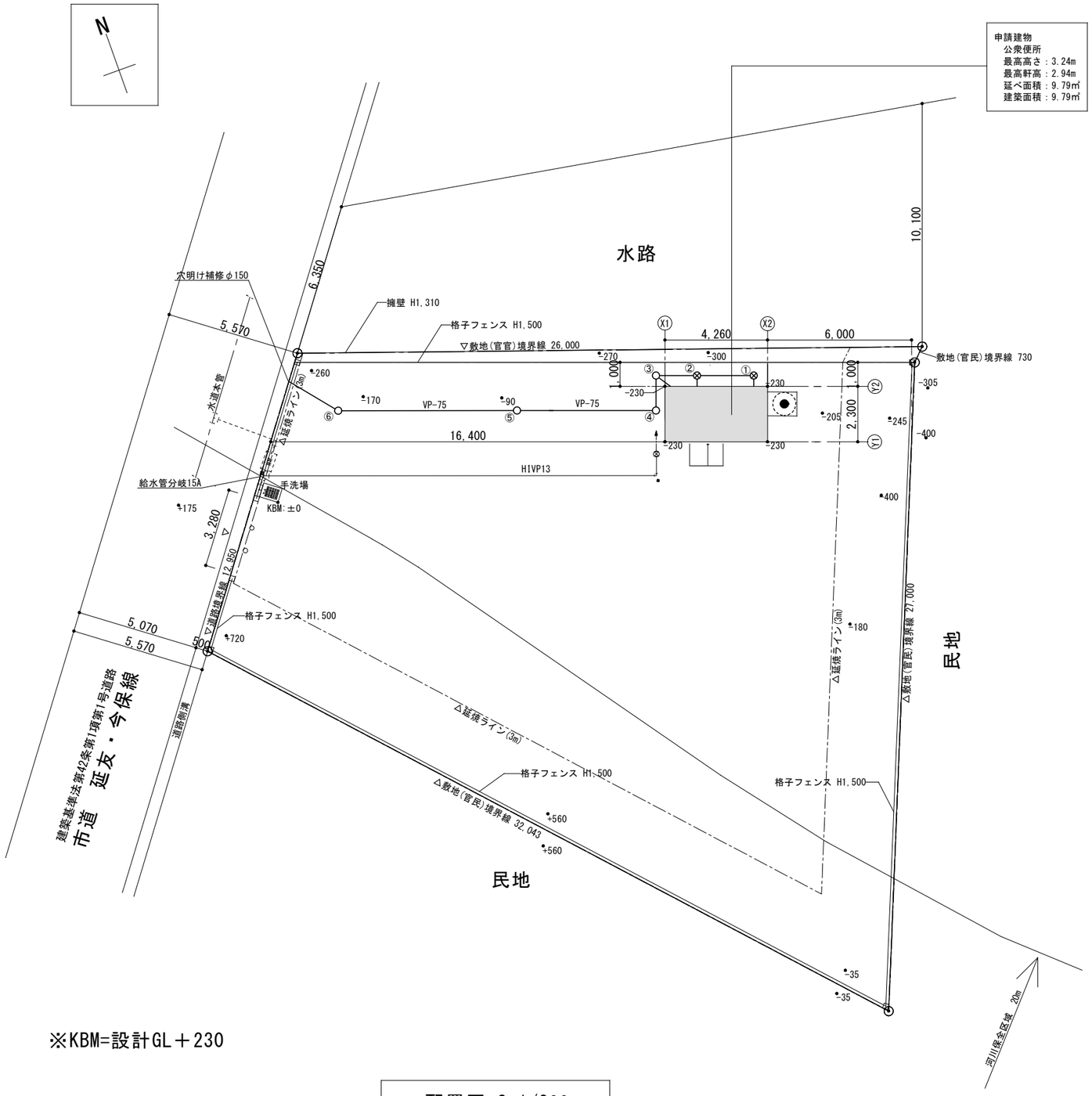
床100角ﾀｲﾙ・・	INAX＜ｱｺﾙﾃﾞｨG＞同等品以上
ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ・・・	INAX＜ｶﾗｺﾝﾓｻﾞｲｸSｶﾗｰ＞同等品以上
外壁ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ・・・	ﾆﾁﾊﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16<ﾌﾟﾗﾁﾅｺｰﾄ>同等品以上
屋根・・・・	JFE鋼板ﾚｷﾞﾉﾗｲﾝ立平333, 元旦ﾋﾞｭｰﾃｨ工業TRX4型同等品以上　(不燃認定番号NM-8697)
WP塗・・・・・	＜ｷｼﾗﾃﾞｺｰﾙ＞同等品以上

※いずれの材料も石綿の使用はないものとする。

工事場所：岡山市北区延友字前場252番6,252番8,252番9（延友遊園地）

附近見取図S=1/2,500

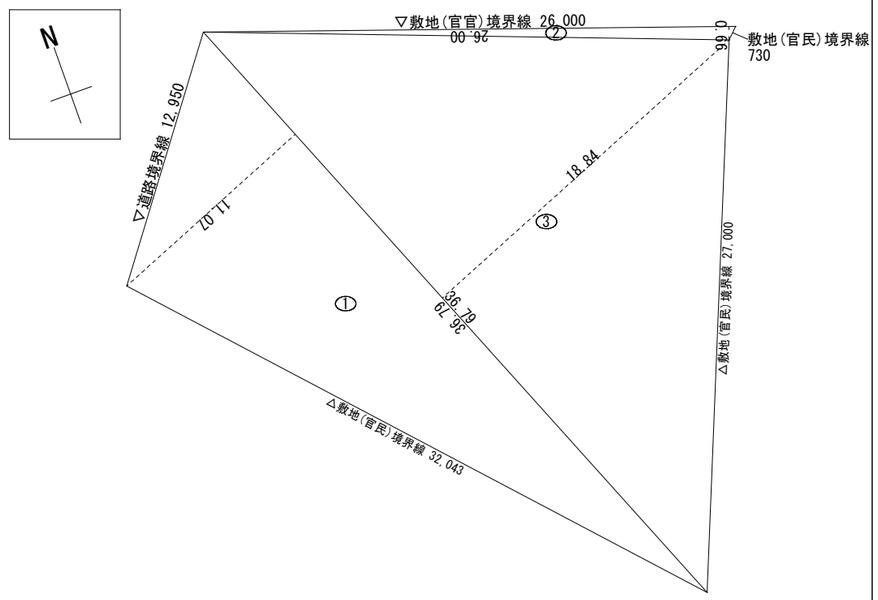
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					No. A-09 / A-17	
図面名	設計概要・仕上表・附近見取図			縮尺	A3 1/2500		
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



※KBM=設計GL＋230

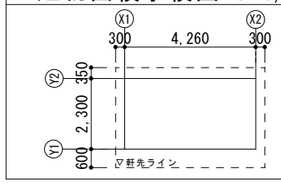
配置図 S=1/200

敷地面積求積図 S=1/300



番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	36.79	11.07	407.2653	203.63265
2	26.00	0.66	17.1600	8.58000
3	36.79	18.84	693.1236	346.56180
合　計				558.77445
敷地面積				558.77 m²

建物面積求積図 S=1/200

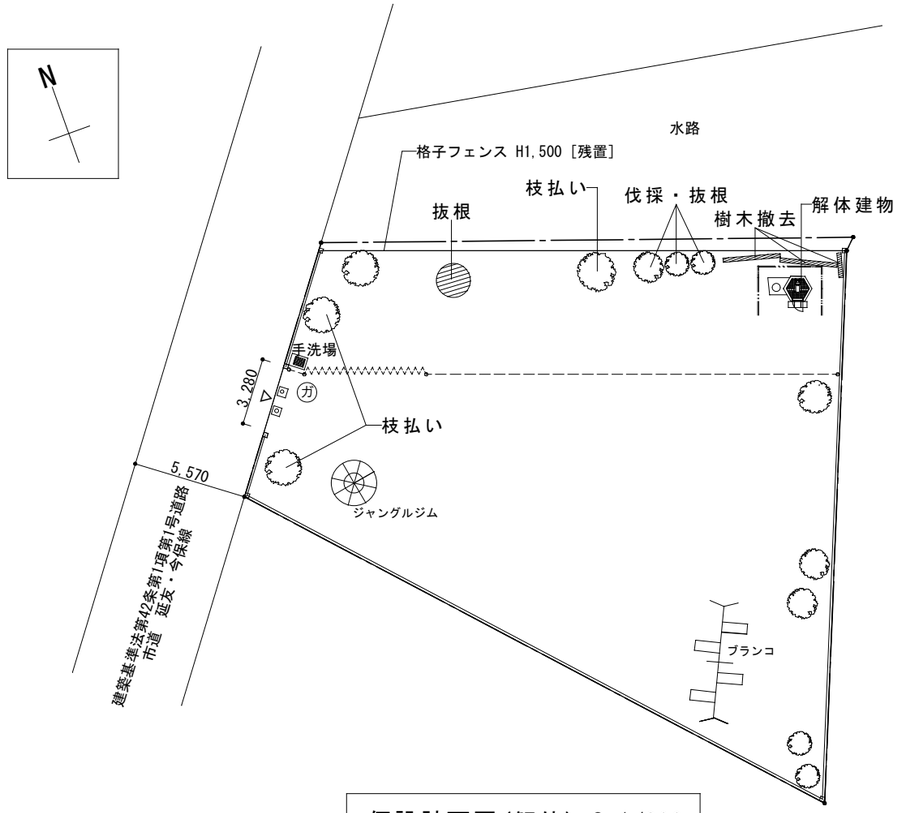


算定式
建築面積：4.26×2.30＝9.798㎡
延床面積：4.26×2.30＝9.798㎡

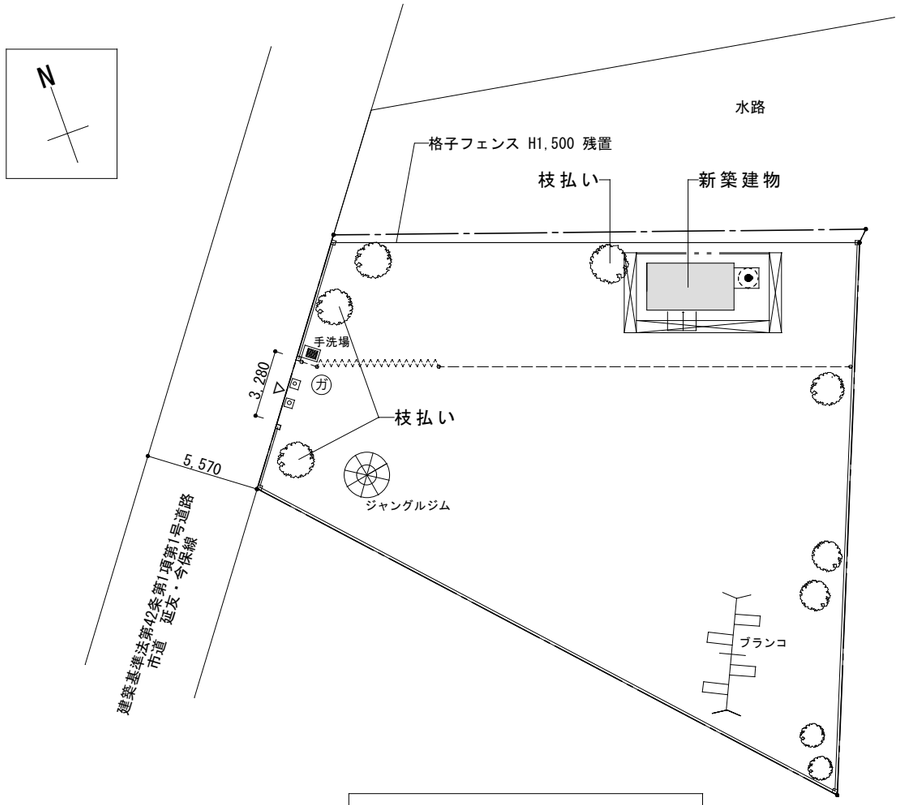
桝リスト

	種　類	寸　法	参考管底高	備　考	
①	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ﾄﾗｯﾌﾟ桝	φ300	GL-150	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
②	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ﾄﾗｯﾌﾟ桝	φ300	GL-173	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
③	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-190	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
④	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-206	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
⑤	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-264	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
⑥	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-399	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設

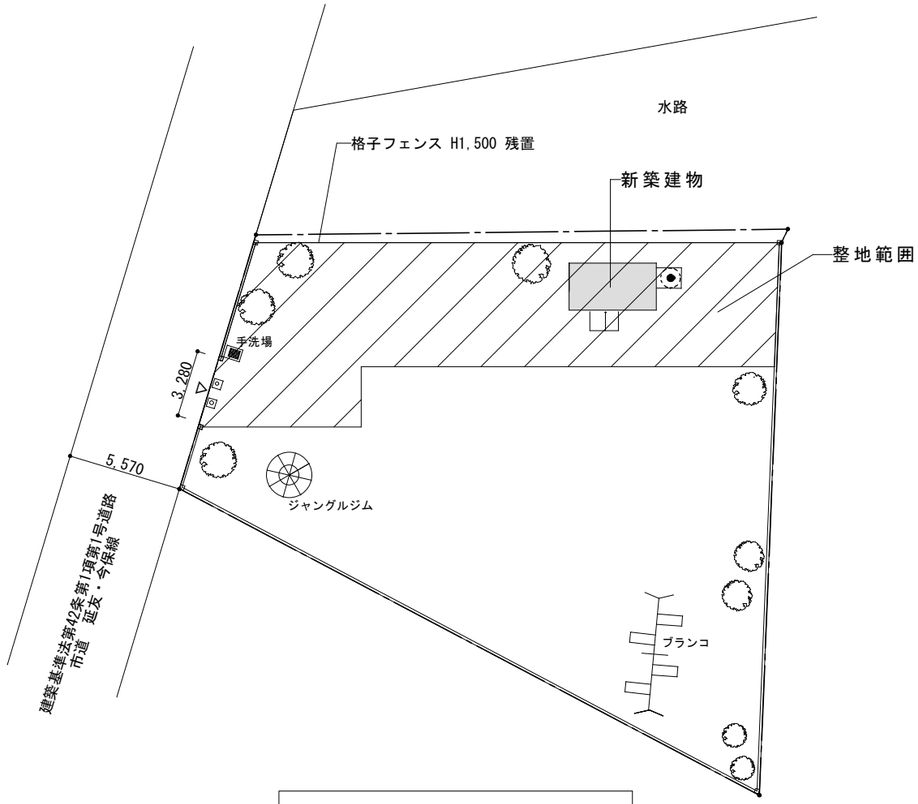
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					Ｎｏ. A-10 / A-17	
図面名	配置図・求積図			縮尺	A3 1/200 1/300		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



仮設計画図(解体) S=1/300



仮設計画図(新築)1 S=1/300

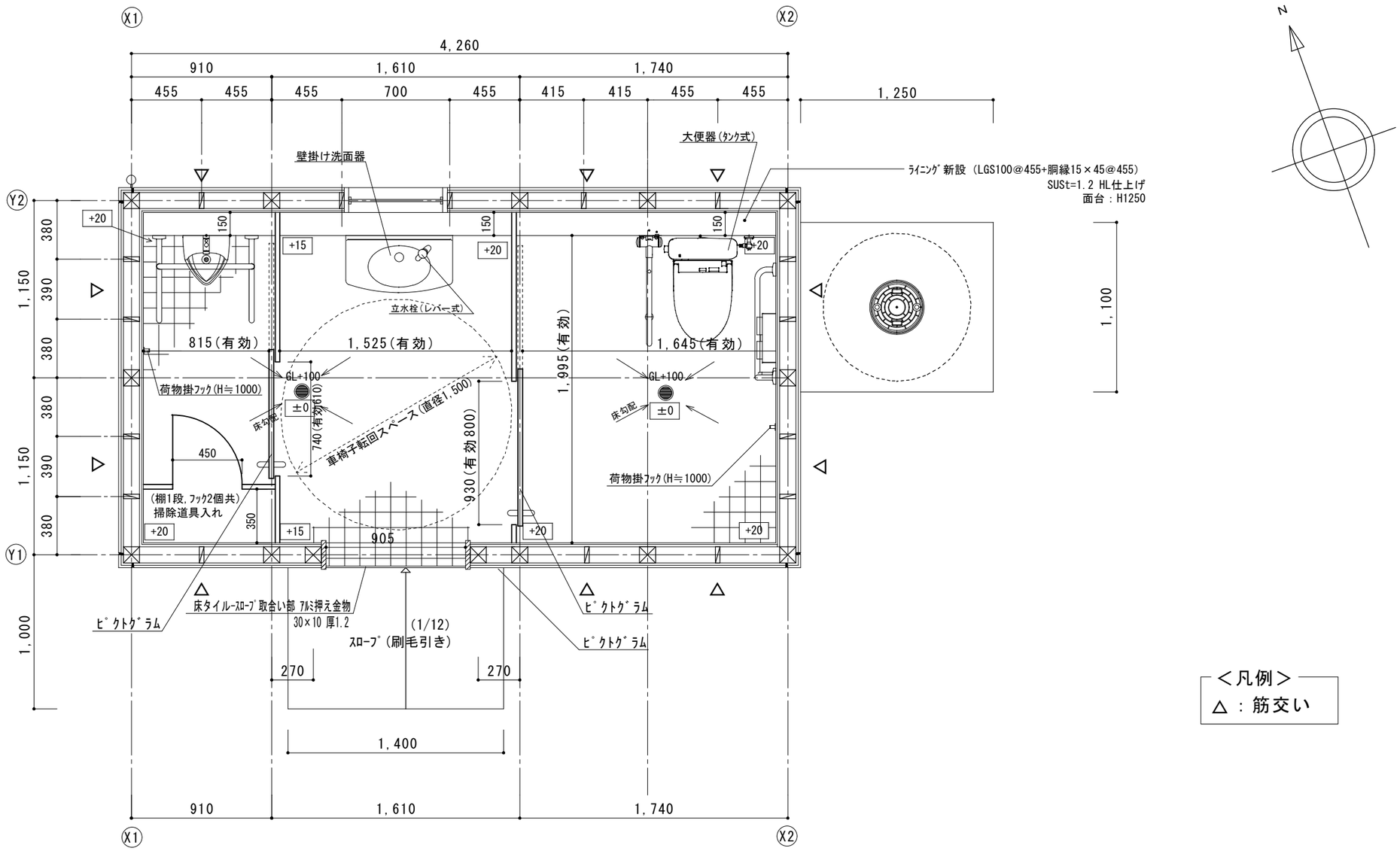


仮設計画図(新築)2 S=1/300

【凡例】	
⊶——⊶	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ H=1,800 ﾁｭｰﾌﾞﾗｲﾄ共
∧∧∧∧ / ∨∨∨∨	ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ (W=6.0,H=1.8)
㊀	交通誘導員B(スポット)
⊠	くさび緊結足場W600＋養生シート
—··—	単管一本足場＋防音シート
▨	整地範囲

【特記事項】
・当該仮設計画図はあくまで参考図であるため、
受注者で現地調査の上、仮設計画を行うこと。
・公園の一般利用者等の安全のため、施錠をしっかりと行い、
工事ヤードを明確に分けること。
・ガードフェンス等の仮設材の倒壊防止を充分に行い、
工事資材についても責任をもって管理すること。
・工事完了後は工事ヤード部分の整地を行うこと。
・車止めポールは工事中、責任をもって保管すること。

工事名	延友遊園地トイレ改築工事					No. A-11 / A-17		
図面名	仮設計画図（参考）				縮尺 A3 1/300			
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課					令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員		担当者	承認	検図	製図



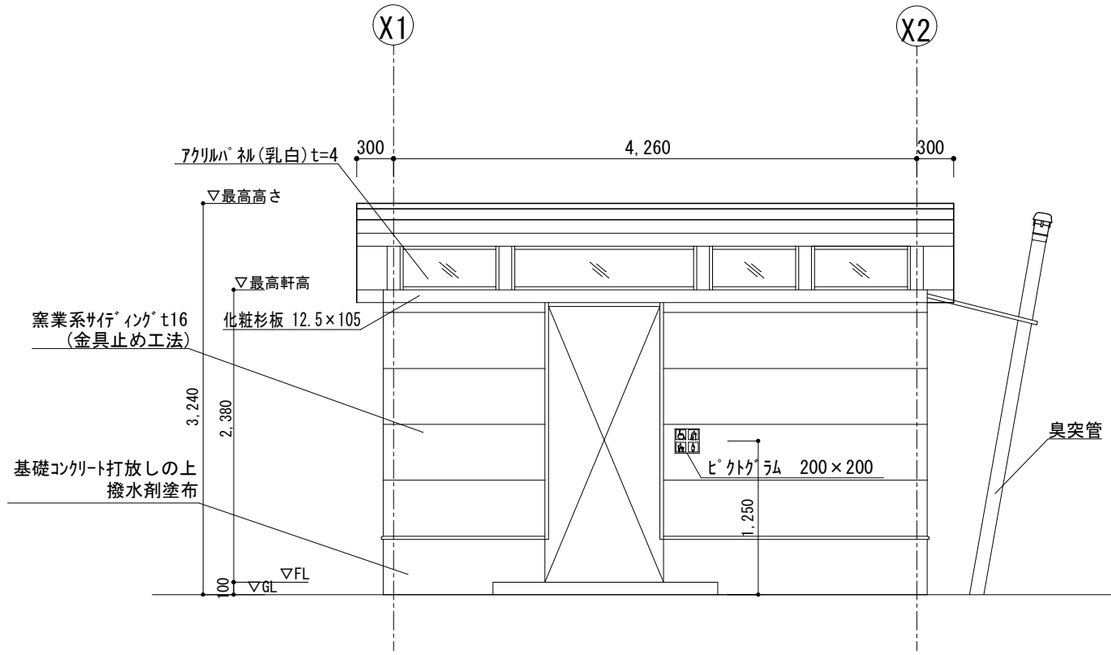
平 面 図　S=1/30

＜凡例＞
△：筋交い

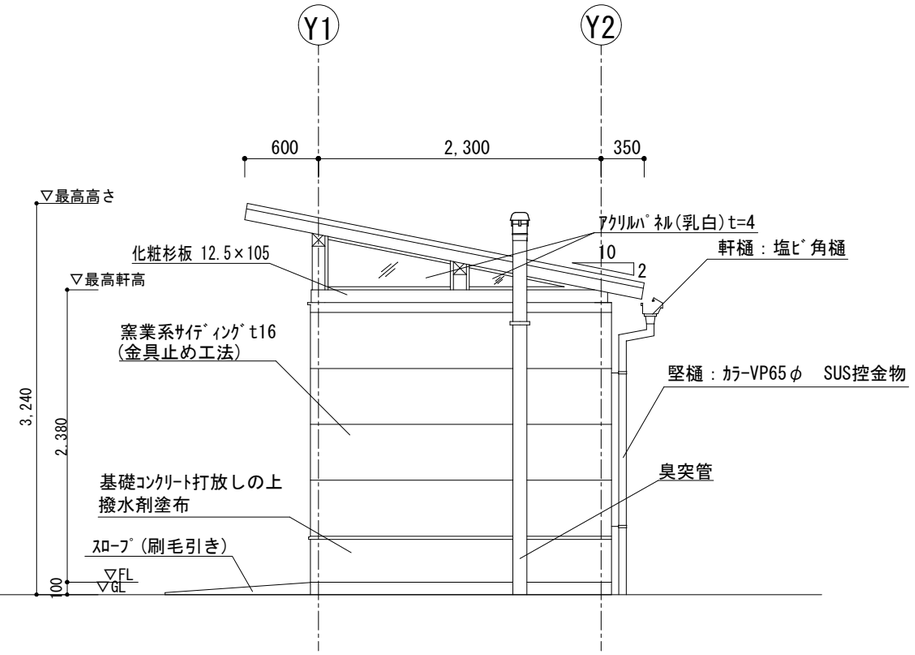
建築面積：４．２６×２．３０＝９．７９８㎡
延床面積：４．２６×２．３０＝９．７９８㎡

＜仕様＞
※水栓のハンドルは全てレバー式とする。
※便房内の内装と設備の配色はコントラストを明確にする。
※床水勾配は1/100とする。

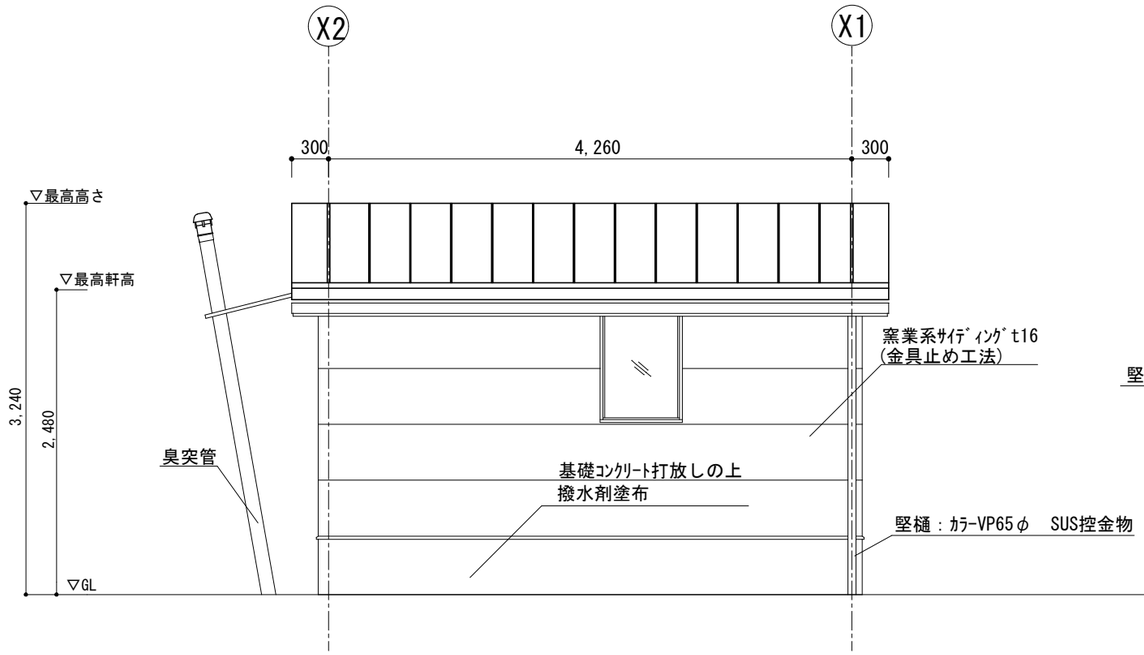
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					Ｎｏ. A-12 / A-17	
図面名	平面図			縮尺	A3 1/30		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



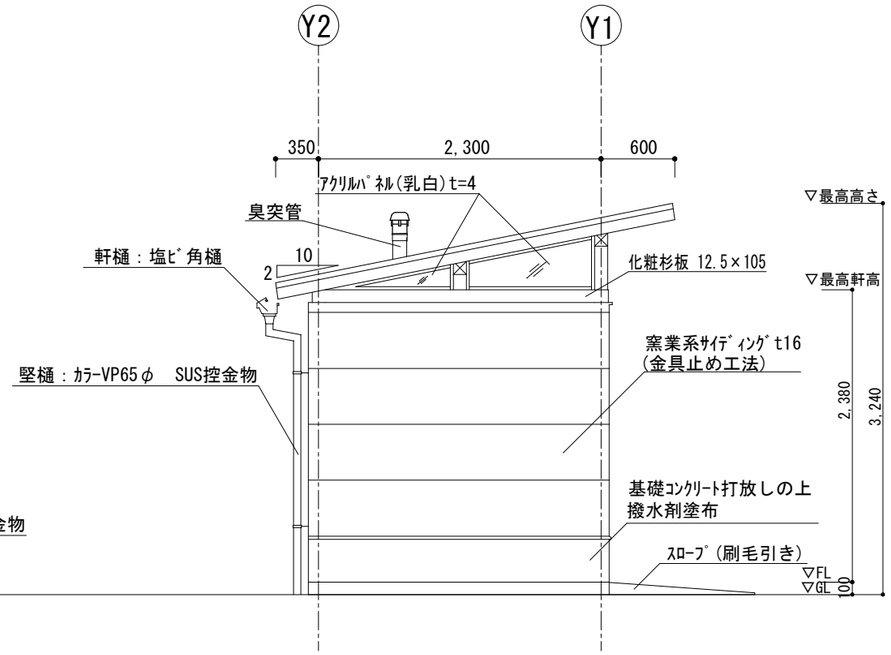
南立面図　S＝1/50



東立面図　S＝1/50



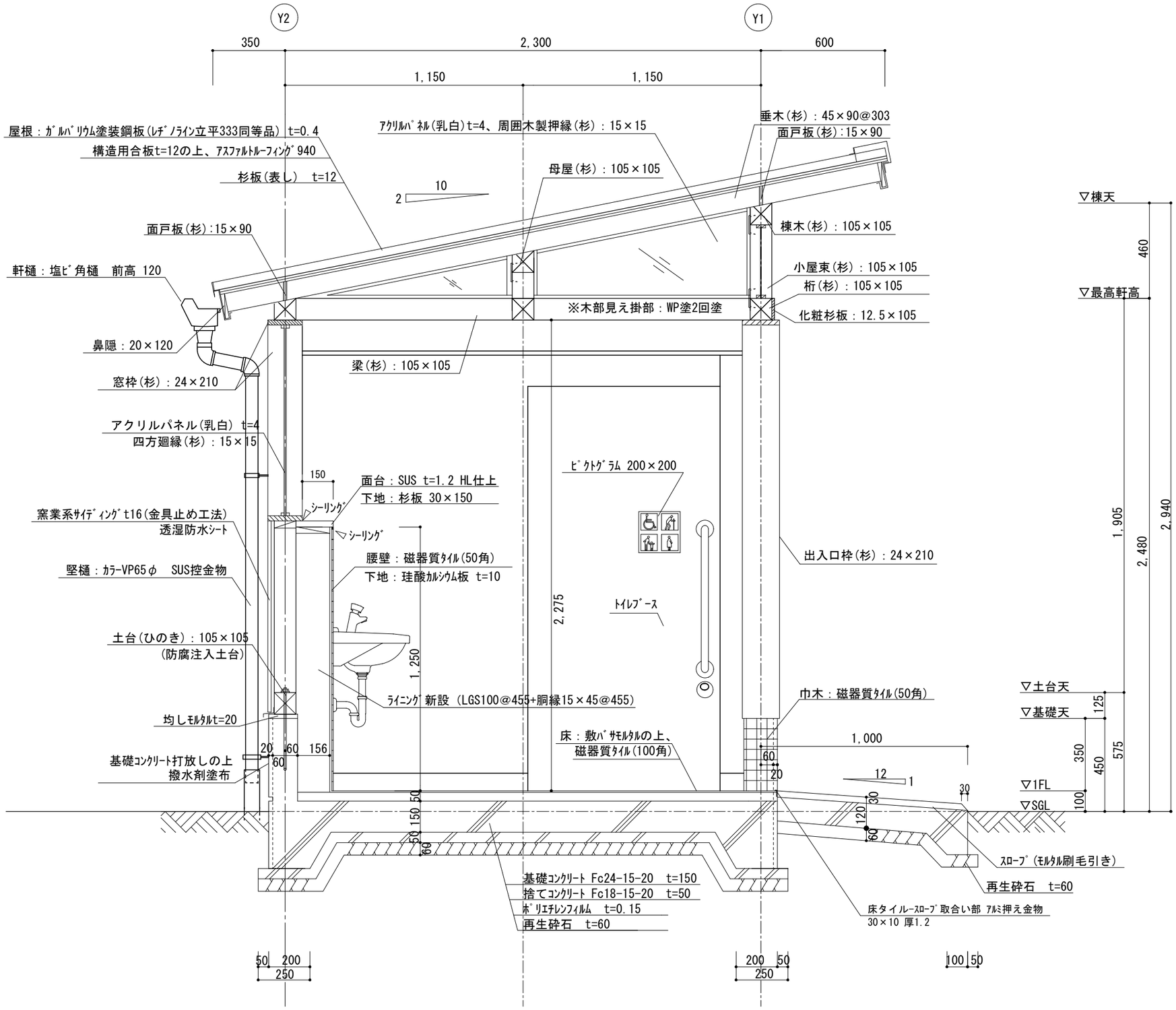
北立面図　S＝1/50

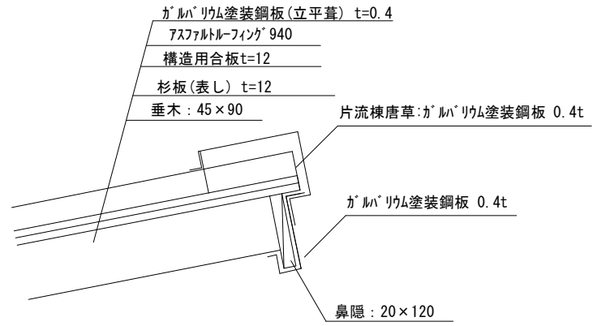


西立面図　S＝1/50

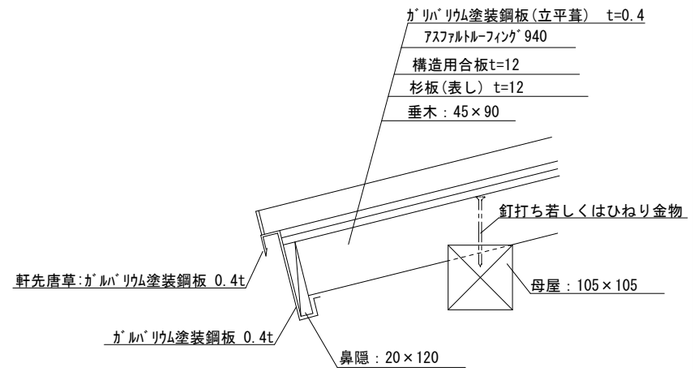
※ピクトグラムの表示面の中心高さはGLから1250(1350)程度とする。

工事名	延友遊園地トイレ改築工事					Ｎｏ. A-13 / A-17	
図面名	立面図			縮尺	A3 1/50		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図





水上詳細図

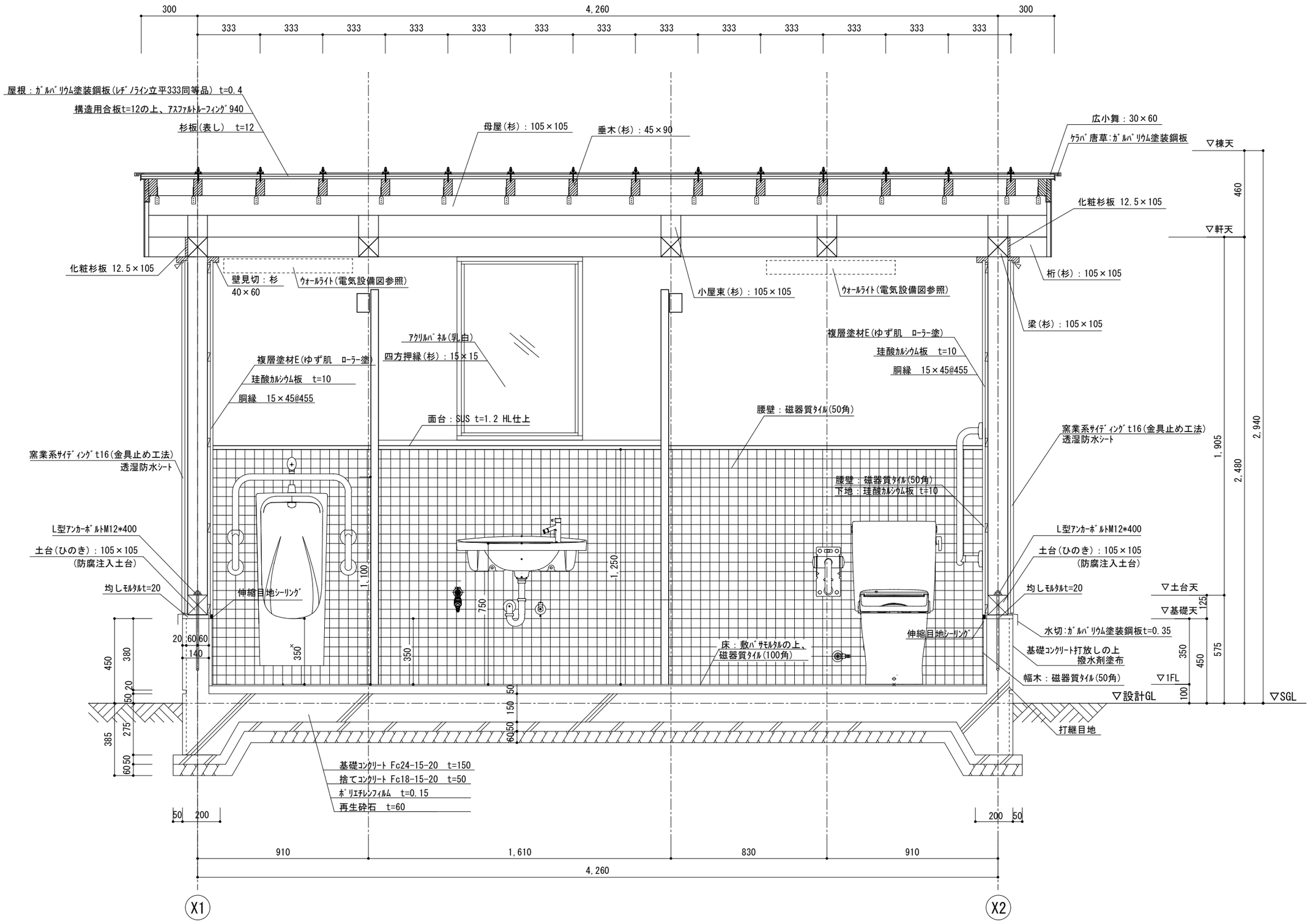


軒先詳細図

※床ﾀｲﾙ部とｽﾛｰﾌﾟ部の取り合いはﾓﾙﾀﾙにて段差を埋めること。
※衛生器具の壁取付部は必要な下地補強すること
※屋根、土台水切等板金切断部は錆止め処理とする。
※土台・柱・間柱・筋交等のＧＬから１ｍ以内の木部には防腐・防蟻処理を施す
※木見え掛かり部全面WP塗装(窓枠・出入口枠共)
※ピクトグラムの表示面の中心高さはFLから1250(1350)程度とする。

矩計図 S=20

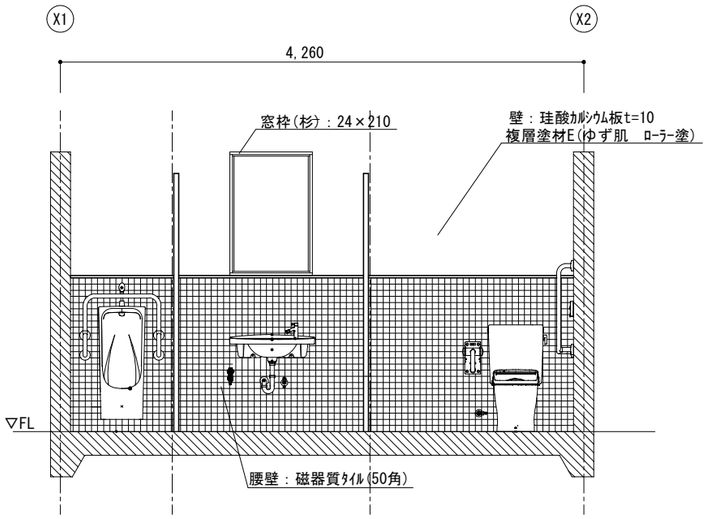
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					No. A-14 / A-17	
図面名	矩計図 1			縮尺	A3 1/20		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



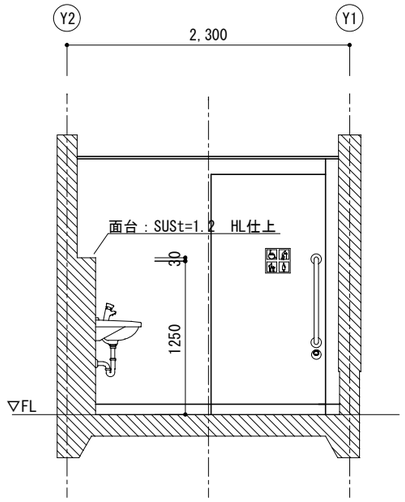
※衛生器具の壁取付部は必要な下地補強すること
※屋根、土台水切等板金切断部は錆止め処理とする。
※土台・柱・間柱・筋交等のＧＬから１ｍ以内の木部には防腐・防蟻処理を施す
※木見え掛かり部全面WP塗装(窓枠共)

矩計図２　S=20

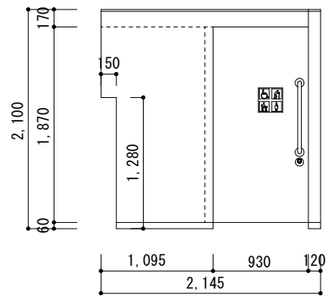
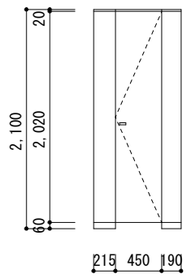
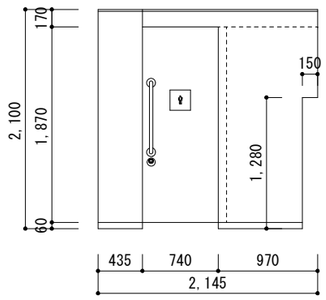
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					Ｎｏ. A-15 / A-17	
図面名	矩計図２			縮尺	A3 1/20		
岡山市	都市整備局	住宅･建築部	公共建築課		令和8年4月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図

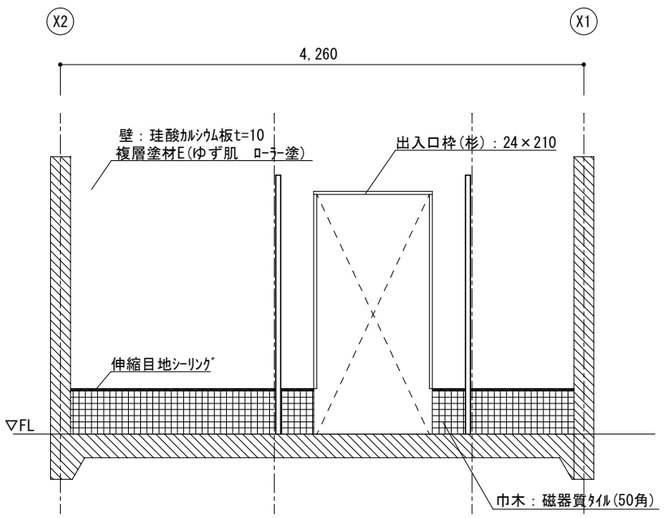


A面展開図　S＝1/50

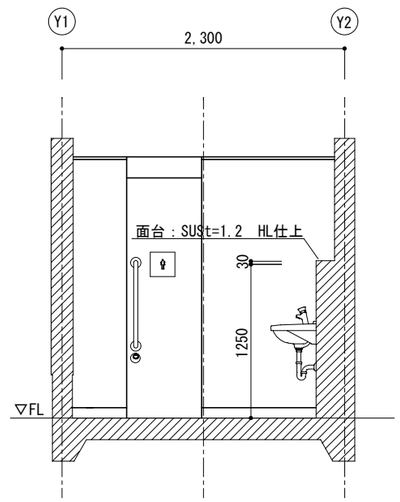


B面展開図　S＝1/50

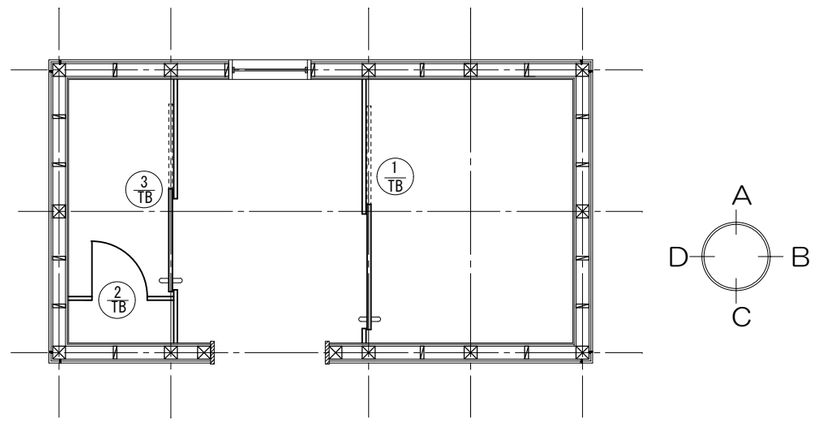
記号	TB 1　トイレブース	TB 2　トイレブース	TB 3　トイレブース
形状・寸法			
材種・仕上	〈扉〉ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板貼t40　裏打ち材付き　ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ 〈固定ﾊﾟﾈﾙ〉ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板貼t30 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ又はMDF下地	ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板貼t30 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ又はMDF下地	〈扉〉ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板貼t40　裏打ち材付き　ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ 〈固定ﾊﾟﾈﾙ〉ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板貼t30 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ又はMDF下地
付属金物	SUS巾木　ｱﾙﾐ笠木　ﾄﾞｱ四方ｱﾙﾐｴｯｼﾞ 引戸ﾊﾝﾄﾞﾙSUS　表示錠(非常時解錠付き) 建具金物一式	SUS巾木　ｱﾙﾐ笠木　ﾄﾞｱ四方ｱﾙﾐｴｯｼﾞ 引戸SUS　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(共通ｷｰ) 建具金物一式	SUS巾木　ｱﾙﾐ笠木　ﾄﾞｱ四方ｱﾙﾐｴｯｼﾞ 引戸ﾊﾝﾄﾞﾙSUS　表示錠(非常時解錠付き) 建具金物一式
その他	ピクトグラム(ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ 200×200) 「壁取合部シーリング打ち」 (表示面の中心は床面から1250(1350)程度)		ピクトグラム(ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ 200×200) 「壁取合部シーリング打ち」 (表示面の中心は床面から1250(1350)程度)



C面展開図　S＝1/50

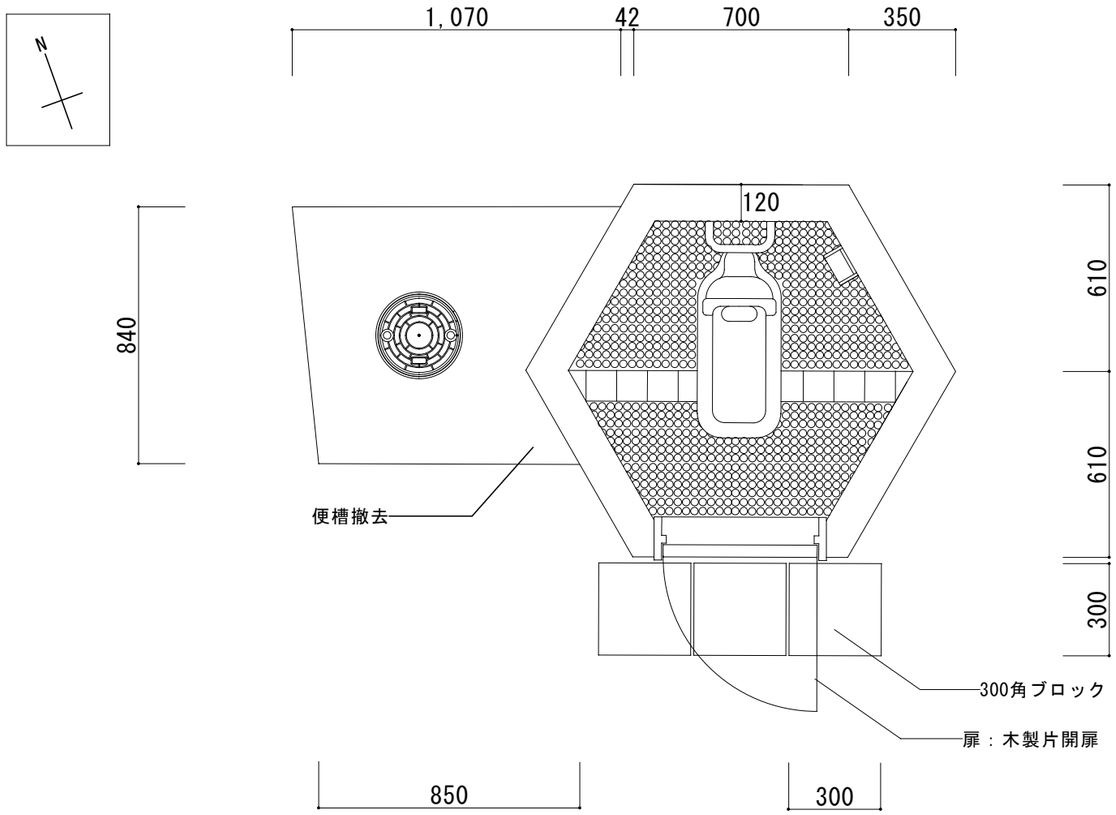


D面展開図　S＝1/50

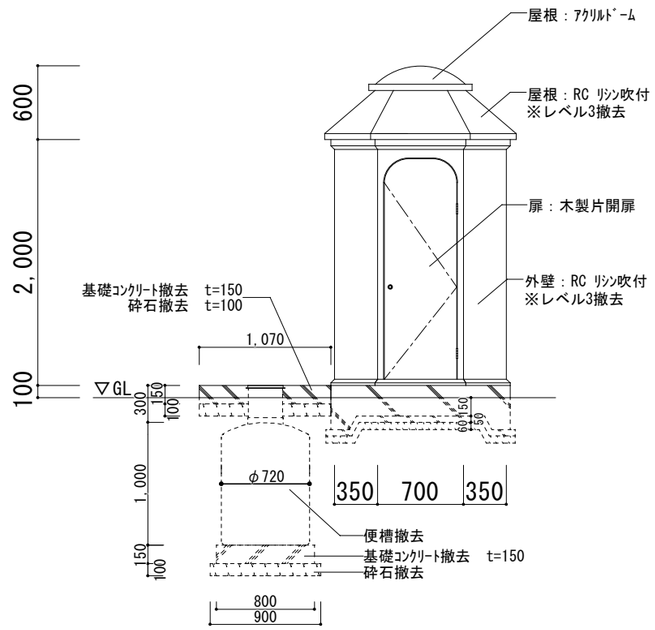


建具キープラン　S=1/50

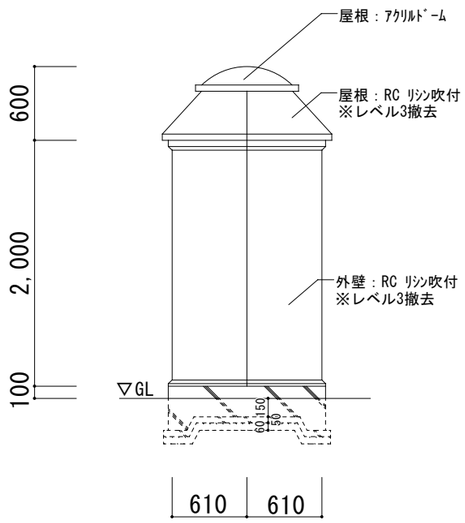
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					Ｎｏ. A-16 / A-17	
図面名	展開図　建具リスト			縮尺	A3 1/50		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



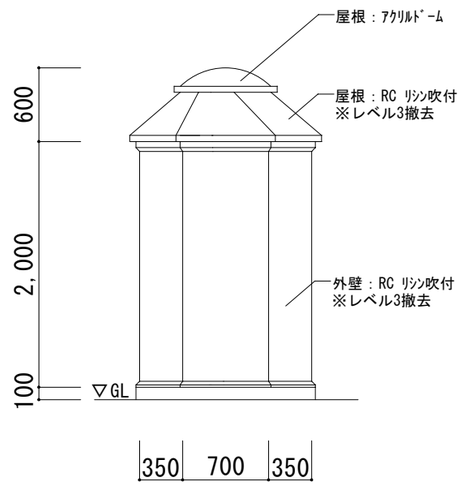
平面図　S=1/20



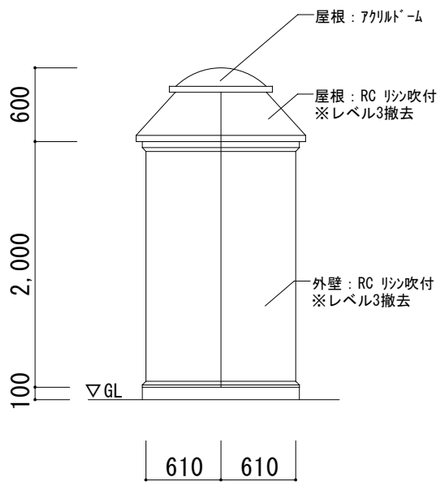
南立面図　S=1/50



西立面図　S=1/50



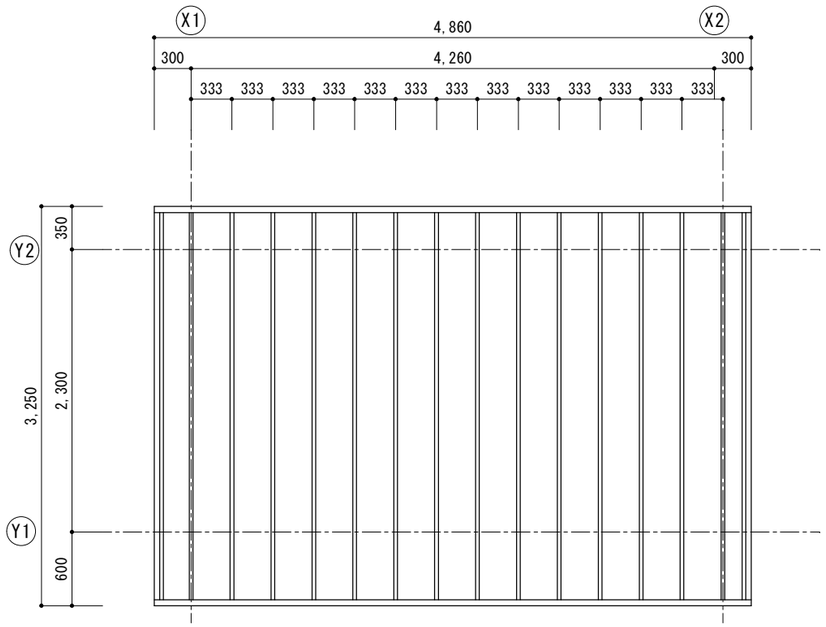
北立面図　S=1/50



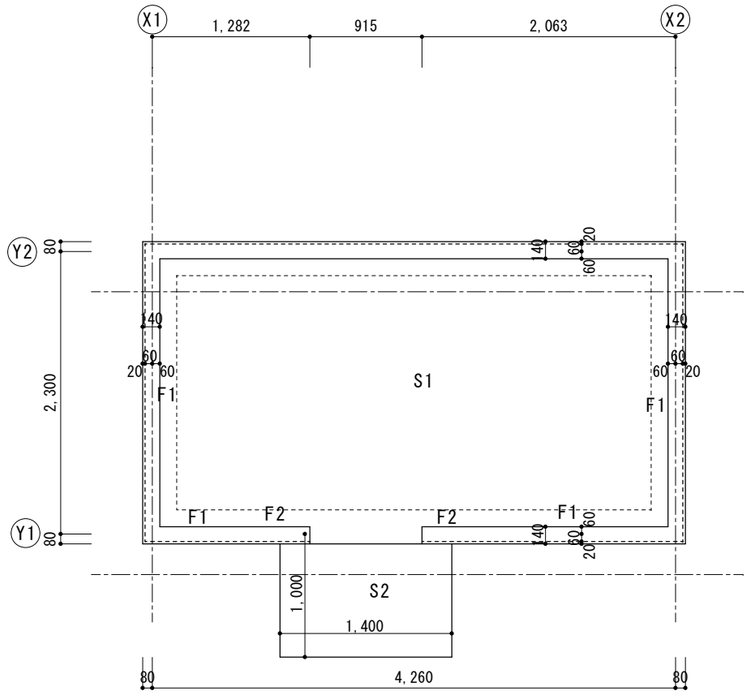
東立面図　S=1/50

既存トイレ仕上表
【外装】
外壁：RC、ﾘｼﾝ吹付　※ﾚﾍﾞﾙ3
屋根：RC、ﾘｼﾝ吹付　※ﾚﾍﾞﾙ3
アクリルドーム
外壁・屋根のｱｽﾍﾞｽﾄ除去：
集じん装置付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ工法
【内装】
内壁：RC、EP塗装
床：陶磁器ﾀｲﾙ張り、ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り
天井：屋根表し
扉：木製片開き

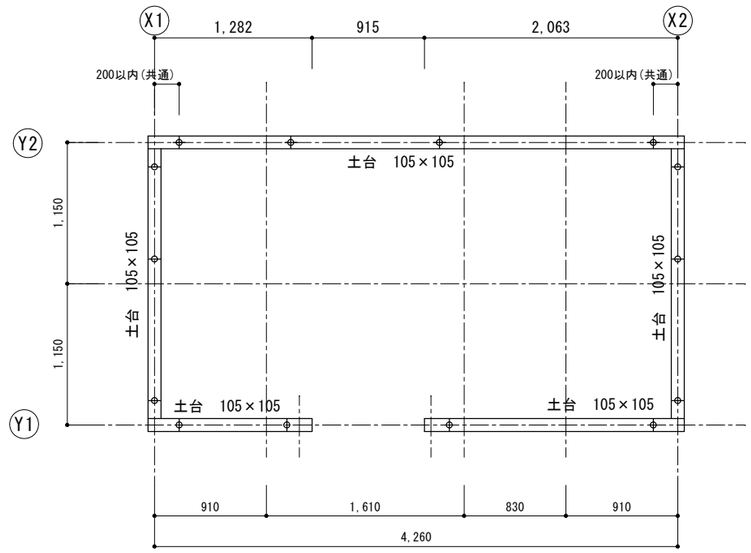
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					Ｎｏ. A-17 / A-17	
図面名	撤去図			縮尺	A3 1/20 1/50		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



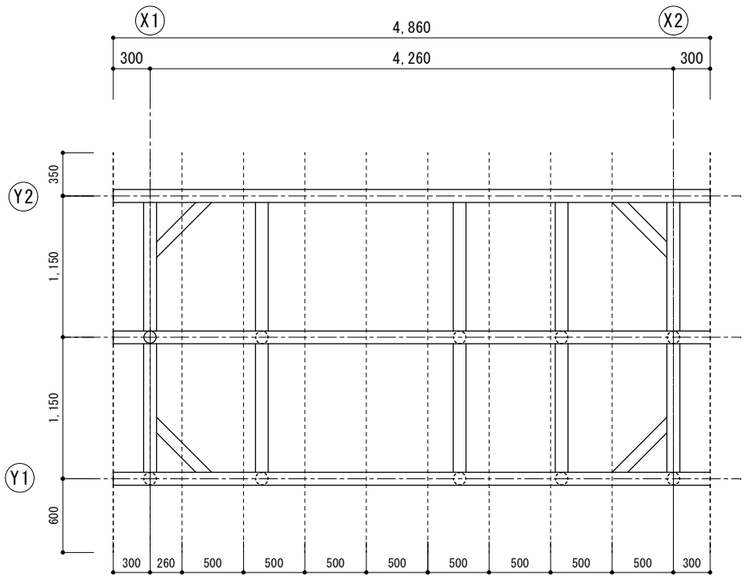
屋根伏図　S=1/50



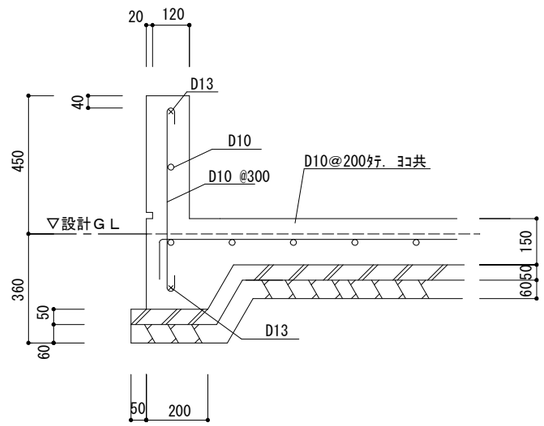
基礎伏図　S=1/50



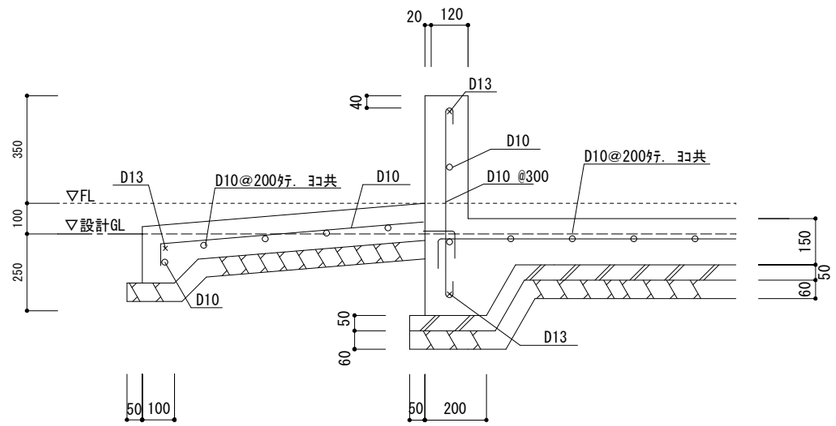
土台伏図　S=1/50



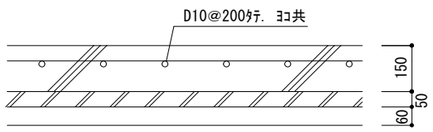
小屋伏図　S=1/50



F1 詳細図 S=1/20



F2・S2 詳細図 S=1/20

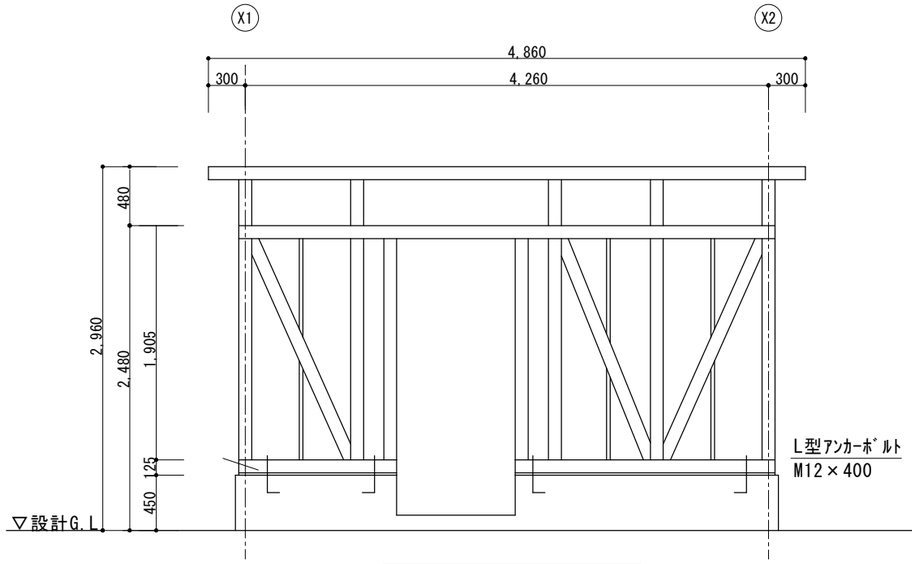


S1 詳細図 S=1/20

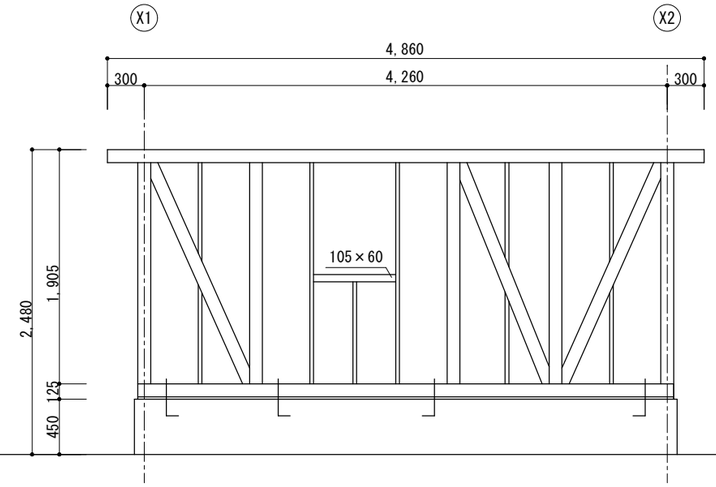
凡例 垂　木：杉　45× 90
小屋束：杉　105× 105
火打梁：杉　90× 90

※部材は一等材とし、寸法は挽き立て寸法とする。

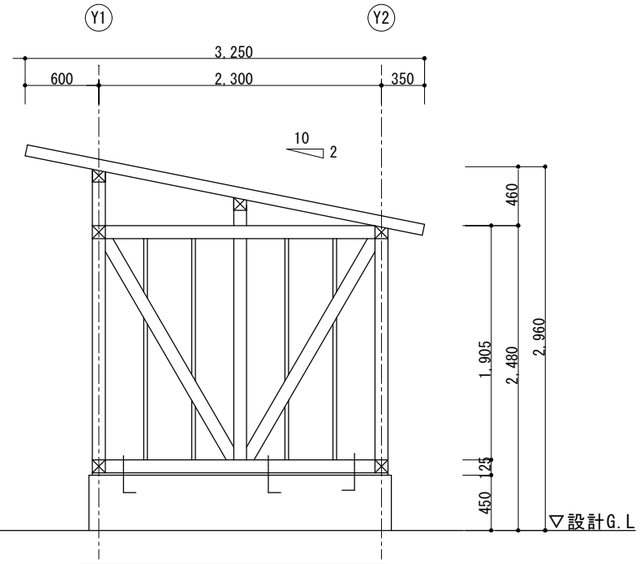
工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ．		
図面名	伏図・詳細図			縮尺 A3 1/20 1/50	S-01		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



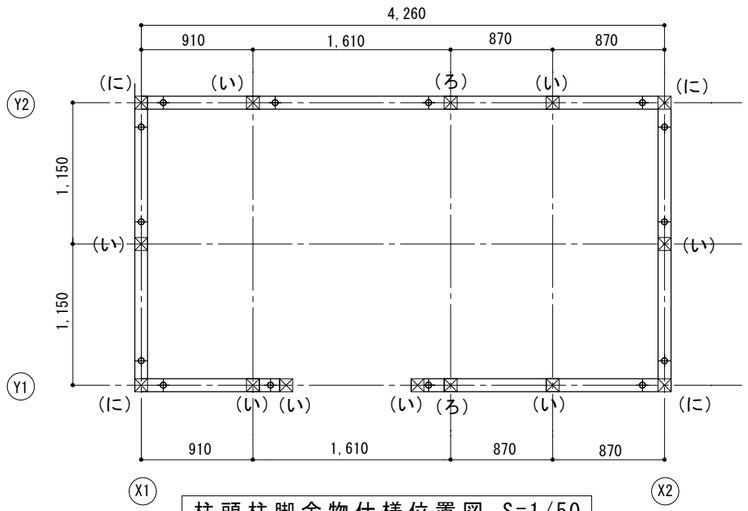
Y1 通 軸組図 S=1/50



Y2 通 軸組図 S=1/50



X1 X2 通 軸組図 S=1/50



柱頭柱脚金物仕様位置図 S=1/50

柱頭柱脚接合補強金物（建築基準法平12建告1460号）

符号	仕　様	必要耐力(kN)
(い)	短ほぞ差し 又は かすがい	0.0
(ろ)	かど金物	3.4
(は)	山形プレート	5.1
(に)	羽子板ボルト 又は 短冊金物	7.5
(ほ)～(ぬ)：(略)		
上記仕様について、耐力上同等品(ただし認定品)に替えることは可とする		

【部材リスト(構造材)】

土台(ひのき)：105×105（防腐注入土台）
柱(杉)　　：105×105
間柱(杉)　　：30×105
筋交(杉)　　：35×105
梁(杉)　　：105×105
桁(杉)　　：105×105
母屋(杉)　　：105×105
棟木(杉)　　：105×105
束(杉)　　：105×105
垂木(杉)　　：45× 90
火打梁(杉)　：90× 90

【特記事項】

※木材は県産材（地域材）の使用を原則とする。
※構造材は一等級とし、寸法は挽き立て寸法とする。
※造作材はかんな掛け仕上げとし、寸法は仕上がり寸法とする。
※土台・柱・間柱・筋交等のＧＬから１ｍ以内の木部には防腐・防蟻処理を施すこと。
※構造材はＫＤ材とし、含水率は２０％以下とする。
※接合金物は認定金物(Z, S, C, Dﾏｰｸ表示金物)を使用すること。
(使用する金物については、材料・取付ヵ所を明確にした使用承諾願いを事前に提出し、市監督員の承諾を得ること。)

工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ.		
図面名	軸組図			縮尺 A3 1/50	S-02		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山市建築設備工事（電気）仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事場所　岡山市北区延友字前場252番6,252番8,252番9

2 建物概要

建物名称	構造	階数	無人・有人	延べ面積（㎡）	消防法令別表1	備考
便所棟	木造	1	無人	9.79		
合計						

3 工事種目（⊙印のついたものを適用する）

建物別及び屋外 / 工事種目	工事種別：便所棟				屋外
⊙電灯設備	新設一式				
・動力設備					
・電気自動車用充電設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・太陽光発電設備					
・雷保護設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・映像音響設備					
・拡声設備					
・情報表示設備					
・テレビ共同受信設備					
・インターホン設備					
・火災報知設備					
・警備配管設備					
⊙構内配電線路	新設一式				
・構内通信線路					
・誘導支援設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					

Ⅱ 工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)最新版及び、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)最新版、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)最新版による。

2 特記仕様

1）項目は、番号に ◯ 印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は ⊙ 印のついたものを適用する。

一般共通事項

項目	特記事項
① 機材	岡山市公共建築課機器材料等指定名簿、設備機材等評価名簿(一社)公共建築協会発行　最新版による。 図示する品番・寸法・姿図及び形状は参考であり、製品名及び製造所を指定するものではない。
1)環境への配慮	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に定める所により、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。
2) 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部使用する建築材料等は、設計図書に選定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の条件を満たすものとする。 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
② 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、工事期間中の電気工作物の保安業務を行うものとする。
③ 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は受注者の負担とする。 官公署への諸手続などの費用は受注者の負担とする。
④ 工事用仮設物	構内につくることが　・できる　⊙できない
⑤ 発生材の処理	引渡しを要するもの。 ⊙なし　・あり（・機器類　・配管材料　・PCB使用機器類　・蛍光管） PCB使用機器、水銀使用の管球は関係法令により適正に処理か、建物管理者に引き渡すこと。
6. 石綿含有建材の事前調査	※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、調査結果を監督職員に提出する。
⑦ 残土処理	・構内指示の場所に敷きならし　⊙構外搬出適切処理
⑧ 他工事との取合い	・はり貫通部の補強及びスリーブ 補強　・別途工事　・本工事　　スリーブ　・別途工事　・本工事 ⊙照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート ・別途工事　⊙本工事 ・軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ・別途工事　・本工事 ・埋込形分電盤、端子盤、プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強 仮枠　・別途工事　・本工事 補強　・別途工事　・本工事 ・天井埋込形器具の取付箇所の天井ボード類、下地の切込み、下地の補強 ・別途工事　・本工事 ・自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ ・別途工事　・本工事 ・電気室、自家発電機室などの基礎及びピット（ふたを含む） ・別途工事　・本工事 ・アンテナ基礎 ・別途工事　・本工事
⑨ 合成樹脂可とう管	⊙PF管を隠ぺいする場合は（タイプ－２５）一層管とする。 屋外で露出する場合は二層管とし耐候性に優れたものを使用する。
10. 呼び線	・長さ１m以上の入線しない管路には１．２mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
⑪ フラッシプレートの材質	⊙金属製（ＳＵＳ　新金属も含む）　・樹脂製
12. フロアボックス	・コンクリートボックス又はアウトレットボックス
13. フロアプレート	・水平高低調節付プレート（空転防止、リング付）とする。
⑭ カバープレートの用途別表示	⊙電灯(灯)、動力(動)、電話(T)、電気時計(時)、拡声(拡)、インターホン(イ)、表示(表)、テレビ共同受信(TV)、火災報知(火)、警備(警)　の表示をする。
⑮ 電線類	⊙ＥＭ電線で規格等の定めの無いものは､ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
⑯ 電線本数、管路等	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線で、配線経路、電線サイズ、電線本数、配管サイズなどは監督員との協議により図面表示と多少相違、増加させてもよい。
⑰ 接地極	下記による。

	接地の種類	記号	接地抵抗値		接地の種類	記号	接地抵抗値
・	共同接地	E_{AD}	10Ω以下	・	雷保護用	E_{LA}	10Ω以下
・	共同接地	E_{AD}・E_{ELB}	2Ω以下	・	交換機用	E_{t}	10Ω以下
・	第Ａ種	E_{A}	10Ω以下	・	通信用	E_{At}	10Ω以下
・	第Ｂ種	E_{B}	Ω以下	・	通信用(拡声用増幅器)	E_{Dt}	100Ω以下
⊙	第Ｄ種	E_{D}	100Ω以下	・	測定用	E_{0}	―――
・	第Ｃ種	E_{C}	10Ω以下	⊙	ＥＬＣＢ回路用	E_{DELB}	100Ω以下

項目	特記事項
⑱ 埋設表示	・黄銅板製（避雷設備用及び接地極埋設表示）　・ＳＵＳ製 ⊙埋設シート（ダブル） ⊙地中配線の埋設表示は８０×８０×３００のコンクリート杭とする。
19. 再使用機器	取外し再利用機器は清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付のこと。
20. 絶縁抵抗の測定	工事着手前に改修場所の既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。
㉑ 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修をする。
㉒ 露出配管の塗装仕様	・変性エポキシ樹脂プライマー＋合成樹脂調合ペイント２回塗り　⊙塗装なし 塗装する部分　・屋上　・屋側　・屋外　・廊下　・機械室　・居室（　　）
㉓ 屋外露出配管の仕上げ	溶融亜鉛めっき仕上げ［めっき付着量３００ｇ/㎡以上］とする。
24. 耐震措置	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風道などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 ・機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量［kN］に地域係数0.9とし、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設置場所	機器種別	・特定の施設 重要機器	・特定の施設 一般機器	・一般の施設 重要機器	・一般の施設 一般機器
上層階 注1) 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10階～12階建の場合は上層3階13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
・重要機器は次のものを示す。（水槽類には燃料小出し槽を含む。）
・配電盤　・発電装置（防災用）　・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・交換機　・火災報知受信機　・中央監視装置　・通信総合盤
・設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

項目	特記事項
25. あと施工アンカー	施工後確認試験　※行う　・行わない 試験方法　引張試験機による引張試験 確認強度　対象機器ごとのアンカーボルト1本当たりの短期引抜強度の２/３以上 試験箇所数　１施工単位に対し1本以上 対象機器（・配電盤　・非常用発電機　・直流電源装置　・　　）
㉖ 盤表示	**受注者名で一括発注工事の場合は下請負電気工事業者名も記入する。**
㉗ 盤仕上等	屋外用盤（キュービクルを除く）は ⊙ＳＵＳ　・ＺＳＰ処理　・樹脂
㉘ 分電盤	**・中扉は丁番式ワンタッチ開閉とする。　⊙接地端子は承認図により指示**

電灯設備

項目	特記事項
① 工事範囲	⊙配管　⊙配線　⊙機器等取付　・撤去
② 配線器具	・タンブラスイッチは連用大角形ネーム付とする。 ⊙壁付コンセントは原則として連用大角形とする。ただし2口の場合は複式は使用してよい。 ⊙防水形コンセント（・防滴プレート形　⊙ツイストロック形　・露出形　・プラグ付）
③ 照明器具	⊙ＬＥＤの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 ＬＥＤの光源色（・昼光色　⊙昼白色　・温白色　・電球色） ・ブローイング工法に対応するＬＥＤ照明とする。
4. 非常用照明の照度測定	・設置した各部屋２箇所以上とし、測定箇所は監督員の指示による。
5. 照明制御の照度測定	・明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督員に提出する。 なお測定箇所は監督員の指示による。 照度測定時期　１００%点灯時（・夜間　・　　） 調光制御点灯時（・夜間　・昼間）
⑥ EEFｹｰﾌﾞﾙのｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	⊙アウトレットボックス　・プルボックス　・ＥＥＦ用ジョイントボックス
⑦ 照明器具の接地	⊙コード吊以外の照明器具（屋外灯及び３２W相当以上）はすべて接地する。 ⊙接地線は原則としてＩＥ１．６mm以上とする。ただし、ケーブルの心線数を追加して（配線と同一サイズ、接地線緑色）使用してもよい。
8. 照度センサ設定器	・納入数　個
9. 多重伝送ﾘﾓｺﾝｱﾄﾞﾚｽ送信機	・納入数　個
10. 非常照明・誘導灯 自己点検送信器	・納入数　個
11. 分電盤の予備配管	・予備の配線用遮断器４個以下の場合（２５）相当を１本、５個以上の場合（２５）相当を２本を下記のように施工する。 天井スラブの場合・天井又は梁下２０cmまで立上げ、中深アウトレットボックスにカバープレート取付。 二重天井の場合・天井内まで立上げ、中深アウトレットボックスにカバープレート取付。
⑫ 照度測定	・内野（５mピッチ）　・外野（１０mピッチ）　⊙指定する所

動力設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 電動機などへの接続	・本工事　・別途工事
3. 監視制御	監視　・警報盤による代表監視　・中央監視盤による監視 操作　・現場盤による手元操作　・中央監視盤による遠方操作 ・押ボタンスイッチによる遠方操作 ・操作電源　・受変電設備の操作電源による。 ・その他
4. 引留金物等	・フックボルト（ＤＶ１４°相当以下）　・アンカーボルト（ＤＶ２２°相当以上）

受変電設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 電気方式	高圧　三相３線式　６kv　６０Hz 低圧　・三相３線式２００V　・単相３線式１００／２００V ・単相２線式　・１００V　・２００V
3. 盤内取付装置	・盤内ヒーター　・換気扇　・ダイヤル式温度計（油入トランス用）
4. 屋外変電基礎	・本工事　・別途工事
5. 高圧交流負荷開閉器	・開放形　・密閉（・中耐塩形　・重耐塩形）　・地絡継電器付
6. 高圧ケーブルの端末処理	・屋外　・一般型　・耐塩型（・プレハブ　・ガイシ）
7. 高圧電力ケーブルの端末部	・高圧電力ケーブルの端末部両端にシースの収縮対策（熱収縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。
8. 予備品等	・電力ヒューズ現用定格値のものを現用数　・フック棒 ・トランスの防振ゴムは耐震ストッパー付きとする。

発電設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 電気方式	三相３線式　・６kv　・２００V　・６０Hz
3. 仕様明細	別仕様書による。
4. チェンブロック天井走行装置など	・U字ボルト（・本工事　・別途工事）　・Iビーム（・本工事　・別途工事） ・チェーンブロック（・本工事・別途工事）・天井走行装置（・本工事・別途工事）
5. 防油堤	・コンクリート製　・鋼板製（・本工事　・別途工事）
6. 予備品等	消火器（粉末ＡＢＣ、蓄圧式）（・１０形　・２０形　個）
7. 工具	工具　・製造者の標準一式

太陽光発電設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・架台　・ＰＶ支持架台　・撤去
2. 太陽電池アレイ	・出力　kW　・設備面積　㎡
3. ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ	・出力　kW　・電気方式　相　３線式
4. 系統連携	・１φ　・３φ
5. 系統連携保護	・ＯＶＧＲ　・ＲＰＲ
6. 逆潮流	・有　・無
7. 表示装置	・有　・無
8. 計測装置	・温度計（直射日光の当たる場所に設置は禁忌）　・日射計

雷保護設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・受雷部取付　・接地極埋設　・撤去
2. 受雷部	・突針　・水平導体又はメッシュ導体　・構造体利用
3. 引下げ導線	・引き下げ導線　・建築構造体利用　・試験用接続端子箱
4. 接地システム	・建築構造体利用（建築基礎等完了時構造体の接地抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。） ・Ａ型接地極　・Ｂ型接地極
5. 内部雷保護	・ＳＰＤ　・ＳＰＤ分離機　・等電位ボンディング

構内情報通信網設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付（キャビネット類）　・撤去
2. ネットワーク	・100BASE-TX/FX　・1000BASE-T/SX/LX　・10GBASE-SR/LR/ER/LX4/T ・その他（　　）
3. 使用機器	・EM-UTPｹｰﾌﾞﾙ　・光ﾌｧｲﾊﾞｰ　・情報ｺﾝｾﾝﾄ　・ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB ・ﾙｰﾀｰ　・TA　・無線LAN　・ﾒﾃﾞｨｱｺﾝﾊﾞｰﾀｰ ・その他（　　）

構内交換設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・呼び線挿入　・撤去
2. ローテンションアウトレット	・一般電話用　個　・ボタン電話用　個　・取付　・納入 ・ユニット形　・防水形
3. 保安器用接地	・本工事　・別途工事
4. 引留金物等	・フックボルト　・アンカーボルト
5. 形式	・デジタルＰＢＸ　・ＩＰ－ＰＢＸ
6. 回線数	・内線　／　回線　・局線　／　回線
7. 局線表示盤	・　面
8. 電話設備	・多機能電話機　・一般電話機　・玄関子機　・ＩＰ電話器　・ＰＨＳ ・ＰＨＳ用アンテナ
9. 電話機への配線	・内線電話１台につき次のものを見込む。 ・ＴＩＥＦ0.65-2C（・２０m　・　m）　・２号ワイヤプロテクタ１．５m ・BTIEE 0.4-4P（・２０m　・　m）　・２号ワイヤプロテクタ１．５m

映像音響設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 映像機器	・プレーヤ（・ＤＶＤ　・ブルーレイ）　・モニタ　・プロジェクタ　・カメラ
3. 音響機器	・マイクロホン　・ＣＤプレーヤ　・アンテナ　・ダブルカセットデッキ ・その他（　　）

拡声設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 増幅器	・ ※ 図面参照
3. マイクロホン	・
4. ワイヤレス受信機	・
5. スピーカー	・
6. 音量調節器	・
7. アンテナ	・
8. ＣＤプレーヤー	・

情報表示設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. マルチサイン装置	・壁掛形　・自立形
3. 出退表示装置	・縦書　・横書 ・発信器　・埋込形　・卓上形
4. 時計表示装置	・親時計　・ラック形　・壁掛形 ・子時計　・壁掛形　・埋込形　・天吊形 ・アナログ　・デジタル
5. 予備品	・電球、ヒューズ　・現用数の２倍　・１０個

テレビ共同受信設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 同軸ケーブル	・高周波同軸ケーブル（ＥＭ－ｎＣ－２Ｅ）　・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ同軸ｹｰﾌﾞﾙ（ＥＭ－Ｓ－ｎＣ－ＦＢ）
3. アンテナ	・ＡＵ１形　・ＡＵ２形　・ＢＳ　・110°ＣＳ　・ＦＭ　・ＡＭ
4. アンテナ支持ポールの取付	・壁面（　点支持）　・自立　・Ａ部の長さ　m
5. 増幅器	・形式（　　）
6. 電界強度の測定	・要　・不要

インターホン設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 電源	・ＡＣ１００V
3. 機種	・電話形親機　・スピーカー形親機　・電話形子機　・スピーカー形子機
4. 通話網方式	・親子式　・相互式
5. 通話方式	・同時式　・交互式

火災報知設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・配線　・機器等取付　・撤去
2. 自動火災報知設備	・受信機　Ｐ型　級　回線　・ＧＲ型　アドレス ・副受信機　級　回線 ・自立型　・壁掛型
3. 非常警報装置	・発信器、ベル、表示灯等の形式　・一体型　・複合装置　・単独型
4. 自動閉鎖設備	・防火戸　・防火シャッター　・防煙ダンパー
5. ガス漏れ警報設備（ＬＰＧ）	・検知器　・移動接点付 ・受信機　回線 ・認定品　・非認定品
6. 漏電火災警報設備	・１級認定品
7. 予備品	電球、ヒューズ、プロテクターは　・製造者の標準一式 工具は　・製造者の標準一式

警備配管設備

項目	特記事項
1. 工事範囲	・配管　・呼び線挿入　・撤去
2. 施工方法	・ ※ 図面参照
3. 電源	・
4. 警戒方式	・

構内配電線路

項目	特記事項
① 施工方法	⊙地中線保護方式　・厚鋼電線管　・ポリエチレン被覆鋼管（外面一層型） ・コンクリートトラフ　・ＨＩＶＥ　⊙波付硬質合成樹脂管 ・架空線電柱　・遠心力鉄筋コンクリート柱　・木柱（注入柱） ・パンザーマスト　・亜鉛めっき鋼管ポール 電柱名札　・要　・不要 支線　・亜鉛めっき鋼より線 ⊙埋設深さ　⊙ＧＬ－６００　・ＧＬ－３００　・路盤下－３００以上（道路を除く）
2. 地中箱	・蓋の記号表示　・鋳型流込み（　　）

① 機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

区分	名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800
電力共通	引込開閉器	床上～中心	2,100
電力共通			
電灯	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
電灯	スイッチ	床上～中心	1,300
電灯	コンセント（一般）	床上～中心	300
電灯	コンセント（和室）	床上～中心	150
電灯	コンセント（台上）	台上～中心	150
電灯	コンセント（土間）	床上～中心	800
電灯	ブラケット（土間）	床上～中心	2,100
電灯	ブラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500
電灯	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150
電灯	身障者便所操作盤	床上～中心	1,100
電灯	身障者便所スイッチ	床上～中心	600～1,100
電灯			
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1500(上端1900以下)
動力	手元開閉器	床上～中心	1,500
動力	操作スイッチ	床上～中心	1,300
動力			
動力			
電話	端子盤（ＥＰＳ）	床上～中心	1500(上端1900以下)
電話	端子盤（室内）	床上～下端	300
電話	保安器箱	天井下～上端	200
電話	取付位置ボックス	床上～中心	300
電話	取付位置ﾎﾞｯｸｽ(和室)	床上～中心	150
電話	壁付電話機	床上～中心	1500
電話			
受変電	接地端子箱	地上、床上～中心	500
受変電			

区分	名称	測点	取付高（mm）
火災報知設備	受信機・副受信機	床上～中心	800～1,500
火災報知設備	専用総合盤	床上～中心	800～1,500
火災報知設備	発信器	床上～上端	800～1,500
火災報知設備	ベル	床上～中心	2,300
火災報知設備	発信器標識灯	床上～中心	2,100
火災報知設備	ｶﾞｽ漏れ警報機(LPG)	床上～器具上部	300以下
拡声	壁掛形スピーカー	床上～中心	2,300
拡声	壁付音量調節器	床上～中心	1,300
拡声			
情報表示	表示器	床上～中心	2,300
情報表示	壁付発信器	床上～中心	1,300
情報表示	ブザー	床上～中心	2,300
情報表示	壁付押ボタン(一般)	床上～中心	1,300
情報表示	〃（身障者玄関）	床上～中心	900
情報表示	〃（多目的便所）	床上～中心	900/400
情報表示	電源箱	床上～中心	1,500
情報表示	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
情報表示	子時計	床上～中心	2,300
情報表示			
インターホン設備	壁付ｲﾝﾀｰﾎﾝ（一般）	床上～中心	1,500
インターホン設備	壁付ｲﾝﾀｰﾎﾝ(身障者)	床上～中心	1,100
インターホン設備	壁付位置ボックス	床上～中心	300
インターホン設備	壁付位置ﾎﾞｯｸｽ(和室)	床上～中心	150
インターホン設備			
テレビ共同受信	機器収納箱	天井下～上端	200
テレビ共同受信	直列ユニット	床上～中心	300
テレビ共同受信	直列ユニット(和室)	床上～中心	150
テレビ共同受信			
テレビ共同受信			

② 配線記号その他

※ 図中配線で寸法記入のないものは、下記による。又、非環境対策型電線・ケーブルの場合はＶを追記する。(例 V.VF)

イ．電灯設備の場合　電線管は　・薄鋼　・ねじなし　とする。

――― 1.6×2(19)　―///― 1.6×3(19)　―//　//― 1.6×4(25)　―//― 2.0×2(19)

―//// ― 1.6×5(25)　―/// ///― 1.6×6(25)　__H__ HIV2.0×2(19)

__F2__ EEF1.6-2C　__F3__ EEF1.6-3C　__F2E__ EEF1.6-2C IE1.6

__F4__ EEF1.6-2C×2　__F5__ EEF1.6-2C＋EEF1.6-3C　__2F2__ EEF2.0-2C　__2F2E__ EEF2.0-2C IE1.6

__F6__ EEF1.6-3C×2　__F7__ EEF1.6-3C＋EEF1.6-2C×2　__2F3__ EEF2.0-3C

ロ．動力設備の場合　―///― 1.6×3(19)

ハ．電気時計・拡声設備の場合　―//― 1.2×2(19)　―///― 1.2×3(19)　―////― 1.2×5(19)

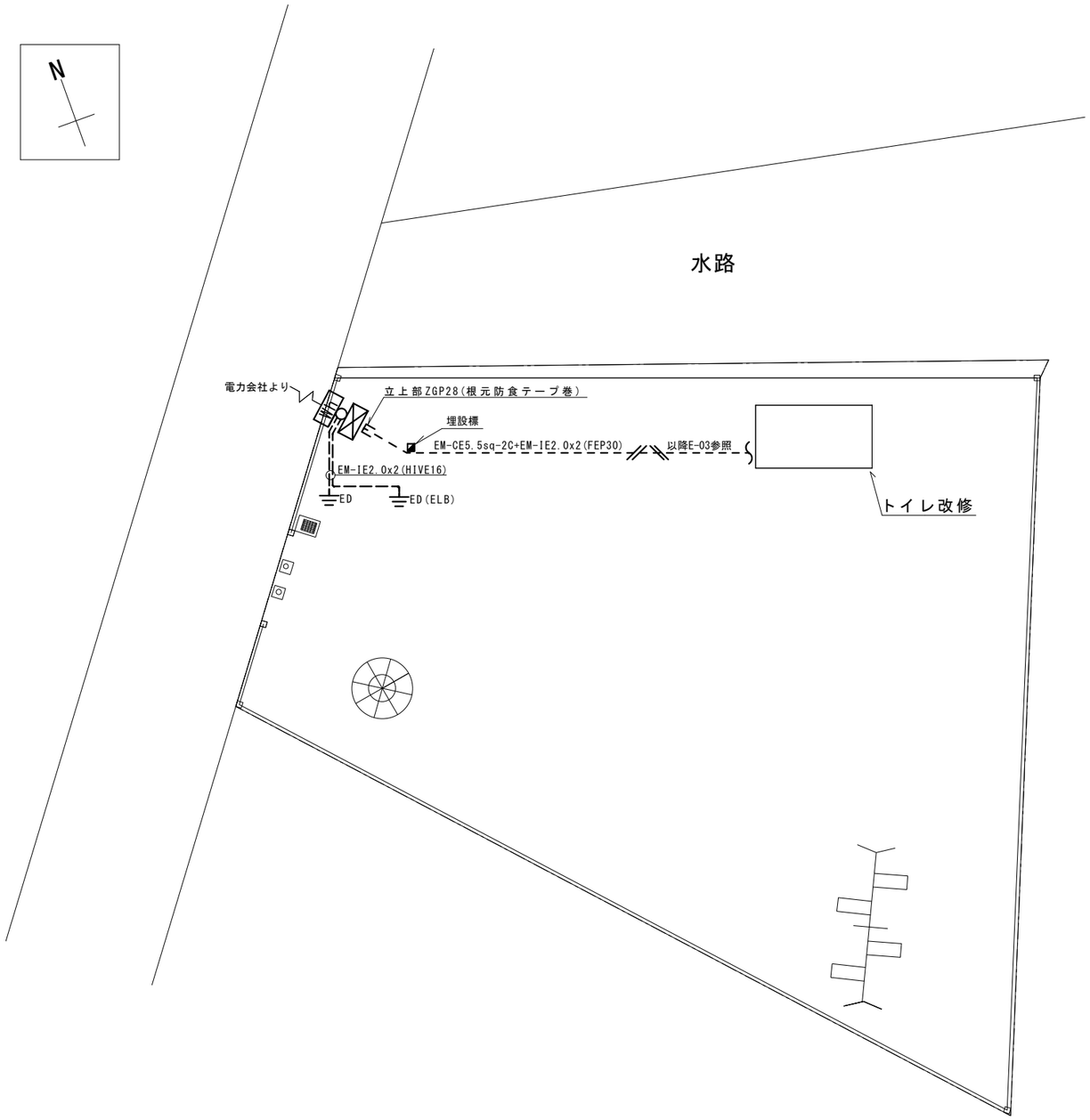
※ 照明器具用設置ボックスの位置

・非常照明用白熱灯組込器具（電源別置）には、一般用及び非常用位置ボックスを設けること。

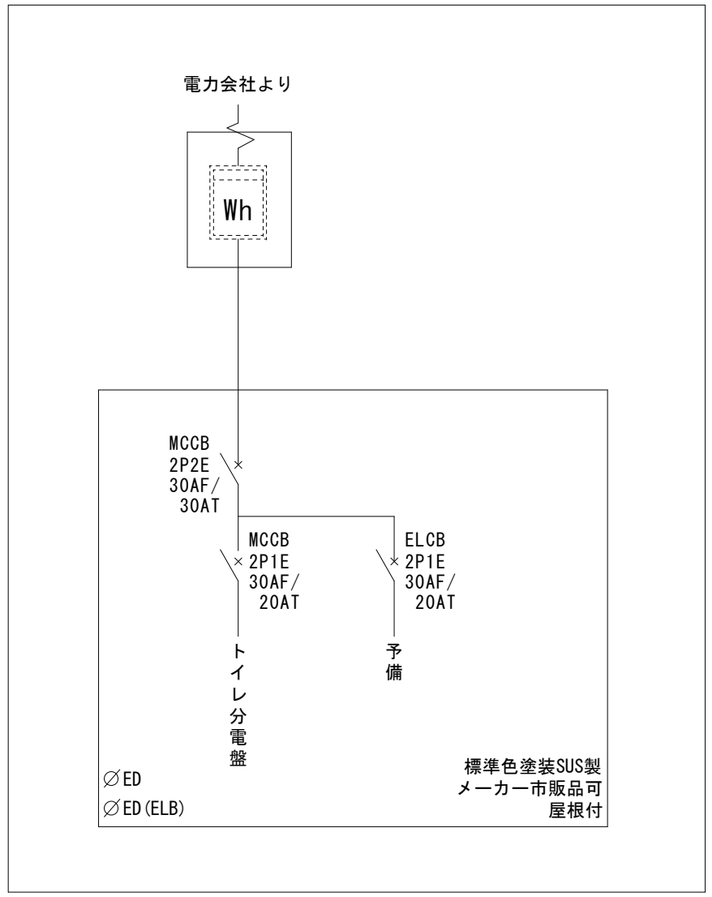
※ 予備電源別置型の非常照明は、器具内の送り端子を使用時は、配線と同様に耐熱階級を満足すること。
上記により難い場合は、分岐ボックスを設置し、端末配線処理を行うこと。

工事名	延友遊園地トイレ改築工事	No.
図面名	岡山市建築設備工事（電気）仕様書　縮尺	E-01
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課	令和　8年　4月	

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



配置図 S=1/200

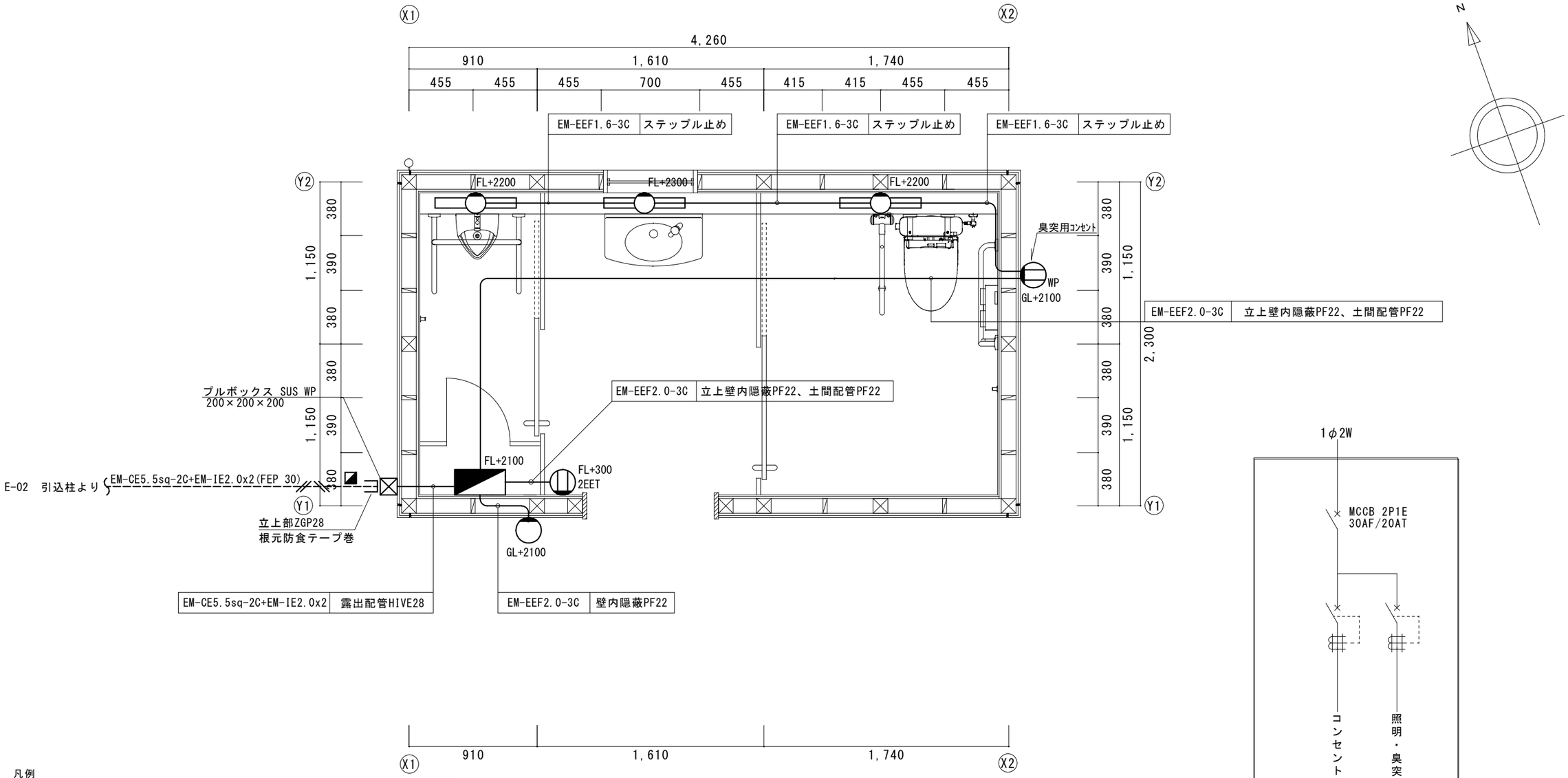


単線結線図

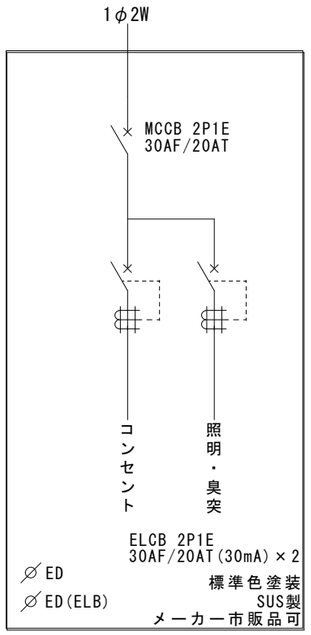
凡例

Wh	電力量計
⊠	引込開閉器盤
○	引込柱　既設鋼管ポール
⏚ED	接地極(D種)　　立ち上げはHIVEにて保護すること
⏚ED(ELB)	接地極(ELB用)　立ち上げはHIVEにて保護すること
◪	埋設標(コンクリート製)

工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ．		
図面名	電気設備　配置図			縮尺 A3 1/200	E-02		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



平面図 S=1/30



トイレ分電盤 参考単線結線図

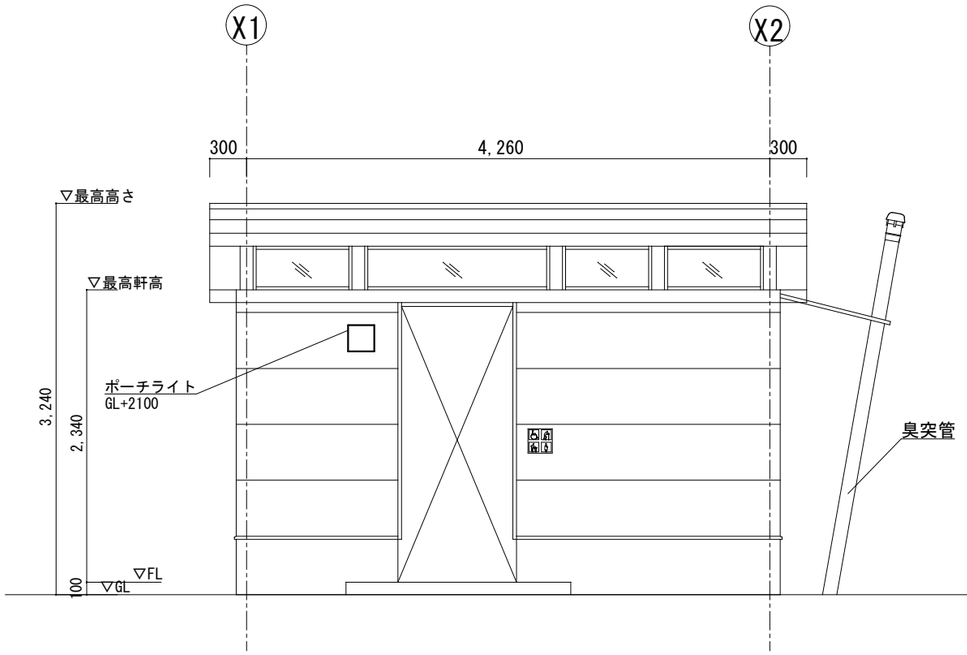
凡例

	照明器具 ウォールライト
	照明器具 ポーチライト
	トイレ分電盤 標準色塗装 参考型番：S012-2525SA 鍵付 SUS製 250×250×120（鉄製基盤）メーカー市販品可
WP	防水コンセント2P15Ax2(ETWP)
2EET	接地極接地端子付きコンセント2P15Ax2 鍵付
	プルボックス 200×200×200 SUS WP
	埋設標(コンクリート製)

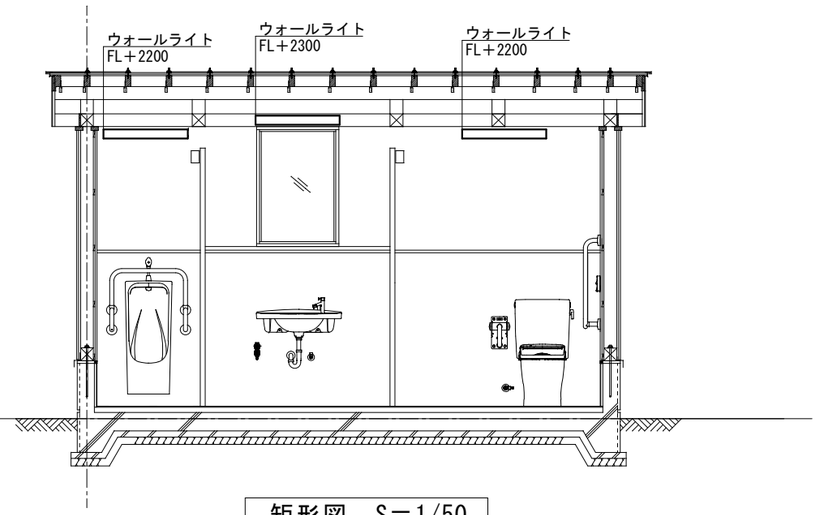
照明器具参考姿図 S-Free

ポーチライト 40形電球1灯器具相当 参考品番 LGWC80320KLE1	Hf16W1灯器具相当 ウォールライト 参考品番 NNFS21811CLE9
5000k 壁直付型、防雨型、明るさセンサ付 器具光束317lm、消費電力7．1W 【設定】「お出迎えモード」とし、お出迎え時間を「明るくなるまで」に設定すること。	5000K 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（ON／OFF型） 壁直付型 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間 器具光束1470lm 【設定】「点灯保持時間」は6分(原則)に設定すること

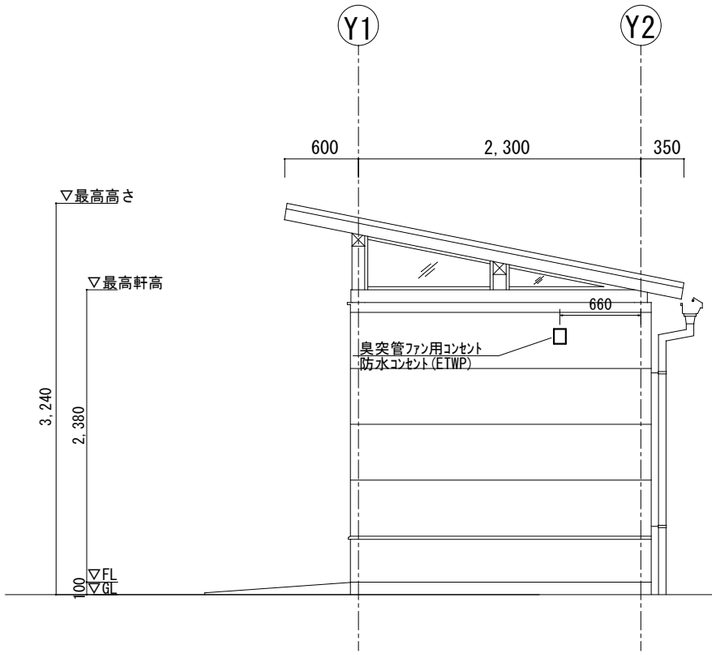
工事名	延友遊園地トイレ改築工事					No.	
図面名	電気設備 平面図			縮尺	A3 1/30	E-03	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



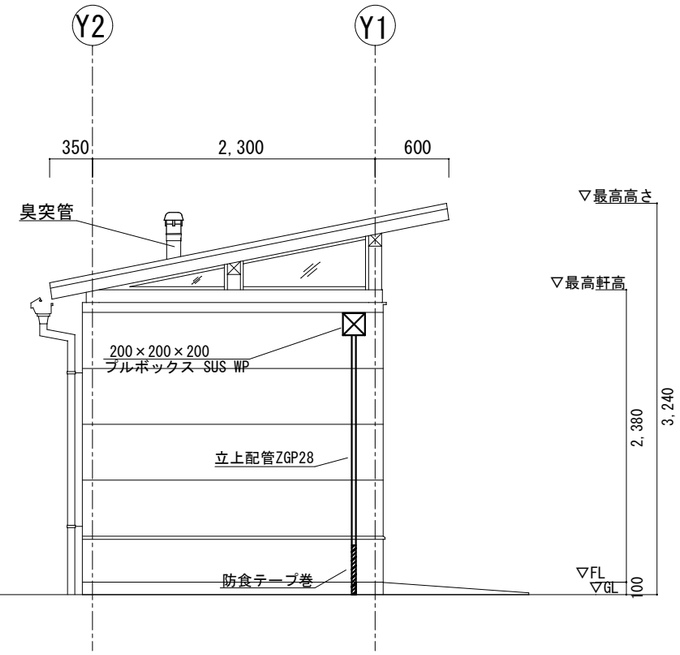
南立面図　S＝1/50



矩形図　S＝1/50



東立面図　S＝1/50



西立面図　S＝1/50

工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ．		
図面名	電気設備　立面図			縮尺 A3 1/50	E-04		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山市建築設備工事（機械）仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 場 所　　岡山市北区延友字前場252番6, 252番8, 252番9

2 建 物 概 要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防法令別表１	備考
便所棟	木造	1 階	9.79		

3 工 事 種 目　（○印のついたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事種別 建物				
㊀ 衛生器具設備	○				
㊁ 給水設備	○				
㊂ 排水設備	○				
・ 給湯設備					
・ ろ過循環設備					
・ 消火設備					
・ ガス設備					
・ 空気調和設備					
・ 冷暖房設備					
・ 換気設備					
・ 自動制御設備					
・ 厨房器具設備					

Ⅱ 工 事 仕 様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版（以下「標準仕様書」という）及び公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）最新版による。

2 特記仕様

1) 適用項目番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし○印のない場合は※印を適用する。

一般共通事項

	適用	項目	特記事項
一般共通事項	①	機材	岡山市公共建築課機器材料等指定名簿に規定するものとし、同等品とする場合は監督員の承諾を受ける。図示する品番・寸法・姿図及び形状は参考であり、製品及び製造所を指定するものではない。また、図示する形状及び配管などの取出し位置により、特定製造業者の製品を指示、限定しない。「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断基準、配慮事項を満たすものとする。
	2	主任技術者等の資格	※ 資格の区分 Ⅰ(1級管工事施工管理技士) Ⅱ(2級管工事施工管理技士) ・ 適用しない
	③	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きの費用はすべて受注者の負担とする。
	4	技能士の適用	・ 配管施工（建築配管作業） ・ 熱絶縁施工 ・ 冷凍空気調和機器施工 ・ 建築板金技能士
	⑤	工事用仮設物	※ 関連工事の関係者が設置する足場、作業構台の類は無償で使用できる。
	⑥	土工事（埋設配管は23による）	イ）埋め戻し土は ㊀ 山砂の類 ㊁ 根切り土の中の良質土 ロ）残土処分は ※ 構外に搬出し適切に処理 ※ As,Coは適法に処理すること ・ 構内敷均し ・ 構内の指示ある場所に堆積
	⑦	発生材の処理	引渡しを要するもの ※ なし ・ あり（ ・ 機器類 ・ 配管材料 ・ ）
	8	説明板	監督員と協議のうえ、設備機器類（ボイラ、冷凍機、各種ポンプ、空気調和機など）及び一連の装置などの取り扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。
	9	電気容量及び機器表示	イ）電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。 ロ）機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。 ・ 給水引込負担金 （ ※ 別途 ・ 本工事） ・ ガス引込負担金 （ ※ 別途 ・ 本工事）
	11	電線・電線管	イ）特記なき電線は６００Ｖ耐燃性ポリエチレン絶縁電線とする。 ロ）特記なき電線管は薄鋼電線管又は監督員の承諾を得た場合は同一外径のねじなし電線管とする。 ハ）可とう電線管は第２種金属可とう電線管とする。
	12	機器付属の制御盤	標準仕様書によるほか下記による。 ・ 運転ブロック図に適合するものとする。 ・ 接点及び端子は、仕様書を（ ※ 適用する。 ・ 適用しない。） ・ ボイラ及び冷温水機等の付属盤の始動スイッチ二次側に、煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ・ インバータ用の制御及び操作盤は、仕様書を（ ※ 適用する。 ・ 適用しない。）
	13	塗装	塗装業者は、 ※ 監督員の承諾する業者 ・ 日本塗装工業会会員 複管の内見えがかり部（戸棚等の内部を含む）は全て塗装を施すこと。（電線管含む） イ）保温の種別、材料、施工順序及び厚さは標準仕様書による。
	⑭	保温	ロ）保温材質は下記による。 ㊀ 給排水、通気、ろ過循環 （ ㊁ ポリスチレンフォーム ㊂ グラスウール） （床下、屋外露出、暗渠内はポリスチレンフォームとする。） ・ 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等 （※ グラスウール） ・ 消火管 （・ グラスウール ・ ポリスチレンフォーム） ・ 蒸気管 （※ ロックウール） ・ 排気筒、煙突、煙道 （※ ロックウール） ・ 空調換気配管、ダクト （※ グラスウール） ・ 排煙ダクト （※ ロックウール） ・ 排気筒 （・ ロックウール ・ グラスウール） ハ）屋内露出（ ・ 機械室 ・ 書庫 ・ 倉庫）の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に読み替える。 ニ）屋外設置機器の外装仕上げは（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ 溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛鋼板）とする。 ホ）屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは（ ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ 溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛鋼板）とする。 ヘ）ピット内配管の外装仕上げは（ ・ 着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ ・ 保温なし）とする。 ト）保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。 備考 1 屋内露出及び機械室、倉庫、書庫の配管にはバンド・菊座を取付けること。 2 水槽類は特記のある場合のみ保温を行う。 3 建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号に該当する防火区画などを貫通する給排水管及び通気管並びに消火管は貫通する部分及び前後1,000mmをロックウール保温材にて保温を施すか、建設省告示第1422号(平成12年)又は国土交通大臣認定の方法を適用すること。 4 流し類下部の排水露出管は保温を施さない。 5 保温を施す屋外露出配管の支持部は全て防温性能を有する合成樹脂製支持台（丸形）によること。また、支持バンドは原則としてラッキングの上より支持を施す。 6 コンクリート埋設の鋼管類にはプラスチックテープ（JIS Z1901 厚さ0.4mm）1/2重ね2回巻きとする。 7 埋設フレキシブル継手にはペトロタタム系防食テープを1/2重ね1回巻きの上、プラスチックテープを1/2重ね1巻きとする。

一般共通事項	15	亜鉛鍍面下地処理	亜鉛鍍面の下地処理はエッチングプライマ塗りとする。
	16	防振継手	・ 鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304） ※ 合成ゴム製 ・ ポリテトラフルオロエチレン製(3山)
	⑰	フレキシブルジョイント	※ 鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304） ・ 合成ゴム製
	⑱	はつり工事	既存のコンクリート床・壁等の貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	⑲	補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にない補修をする。
	20	他工事との取合い	イ）鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強、その他天井のボード切込み及び下地の補強は ・ 本工事 ※ 別途工事 ロ）コンクリート壁、床及び梁等における設備機器、風道、配管等の箱入れ及び貫通スリーブ部は ※ 本工事 ・ 別途工事 ハ）機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線は ※ 本工事 ・ 別途工事 ニ）別途盤類への渡り配線の接続は ・ 本工事 ※ 別途工事 ホ）機器のコンクリート基礎 屋上設置のもの ・ 本工事 ※ 別途工事 屋内設置のもの ・ 本工事 ※ 別途工事 屋外設置のもの ・ 本工事 ※ 別途工事 ヘ）自動制御の電線管は ・ 本工事 ・ 別途工事 ト）自動制御の電線の配線は ・ 本工事 ・ 別途工事 チ）自動制御盤と自動制御機器との配線の接続は ※ 本工事 ・ 別途工事
	㉑	配管表示	配管機器等は監督員の指示する箇所に文字矢印を記入し、弁にはプラスチック札を取付けること。札の文字等は影り込みとし、SUSチェーンにて取付けのこと。
	㉒	土中埋設配管周囲の保護	イ）管周囲の保護 ※ 山砂の類 ・ 根切土の中の良質土
		砂及び埋め戻し土・盛土	ロ）埋戻し土・盛土 ※ 根切土の中の良質土 ・ 山砂の類
	㉓	埋設表示	イ）埋設表示テープ ※ 要（ ※ 給水 ※ 消火 ※ ガス ・ 排水 ・ 圧送管） ・ 不要 ロ）埋設標示柱・埋設標示ピン（ ※ 要 ・ 不要）
	24	支持金物、固定金具等	ポンプのアンカーボルト・ナット及びピット内等水気のある場所、屋外の機器・配管用の支持金物等は、ステンレス鋼（SUS304）とする。土中支持もステンレス鋼（SUS304）とする。
	25	あと施工アンカー	施工後確認試験（ ※ 要 ・ 不要） 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ1本当たりの短期引抜強度の2/3以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ・重要機器
	26	ポンプの電動機の極数	渦巻ポンプの電動機の極数は （ ・ ４Ｐ ・ ２Ｐ）
	27	ポンプの名板	水中ポンプの名板は監督員の指示により見やすい所に取付けのこと。
	28	保守工具	下記の保守点検に必要な工具一式を提出する。 ・ ポンプ ・ 送風機 ・ 吹出口 ・ 桝 ・ その他
	㉙	岡山市標準施工図	参照 ※ する ・ しない
	30	耐震措置	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風道などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 イ）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数と、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設 ・重要機器	・特定の施設 ・一般機器	・一般の施設 ・重要機器	・一般の施設 ・一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振設置機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水槽類	2．0	1．5	1．5	1．0
中間階	機器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振設置機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水槽類	1．5	1．0	1．0	0．6
地下・1階	機器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振設置機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水槽類	1．5	1．0	1．0	0．6

上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。

中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。

水槽類にオイルタンクを含む

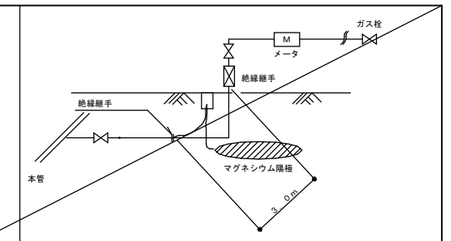
重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また一般機器とは重要機器以外をいう。

・ 給水機器 （ ）
・ 排水機器 （ ）
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
・ 避難経路上に設置する機器

ロ）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。

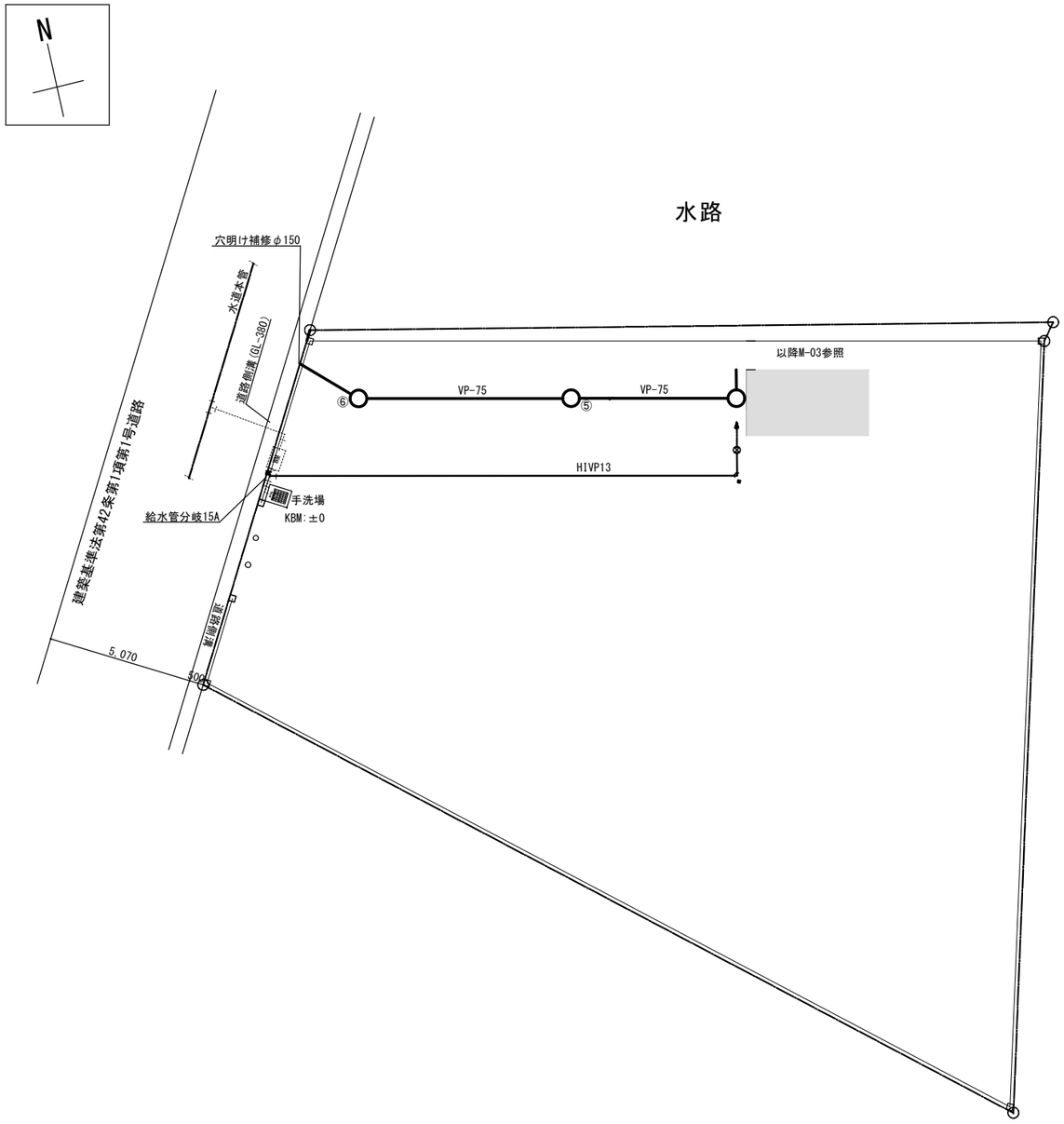
	㉔	スリーブ	※ 亜鉛鉄板 ※ つば付鋼管（水密部） ㊀ 紙 ㊁ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 止水リング（ ・ 無機物材質：水密部 ・ 有機物材質：水密部以外）
	㉕	振れ止め	ダクト、配管等にあっては、標準仕様書の振れ止めの他必要な箇所に施工する。
	33	道路使用	※ 施工等で道路を使用する際は道路使用許可等の手続きを行うこと
衛生器具設備	①	大便器・小便器	陶製又はプラスチック製の注意板の取付けは ※ 設計図による。 ・ 取付ける。
	②	洗浄用タンク	※ 防震形陶器製とする。 ・ 設計図による。
	③	洗浄用タンク固定金物	※ フタ固定金物付とする。 ・ 設計図による。
	4	大便器用洗浄弁	節水機構とする。
	5	温水洗浄便座	温水洗浄便座は、次の機能を有するほか、JIS A 4422(温水洗浄便座)によるものとする。 ・ 温風乾燥機能 ・ 脱臭装置 ・ 操作ボタン
	⑥	陶器の色	監督員の指示による。
給水設備	①	量水器	親メータは水道事業者からの借用、子メータは買取りとする。
	②	量水器桝	※ 水道事業者の指定品とする。 ・ その他
	③	管類	下記のものは本仕様による。 イ）一般配管用 ※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（㊀SGP-VB ㊁SGP-VD ・SGP-VA） ・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 ・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP ・HIVP） ・ 水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 ・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管 ・ その他 ロ）土間配管、コンクリート壁中 ※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VD） ・ 水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 ・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 ・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管 ・ その他 ハ）地中配管用 ※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VD） ㊁水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP ㊁HIVP） ㊁ 水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 ・その他 ニ）ピット配管用 ※ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・SGP-VB ・SGP-VD） ・ 水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・ 水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP ・HIVP） ・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 ・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管 ・ その他
	4	ライニング鋼管接続	100Ａ以上の接続 ※ ねじ込み接合 ・ 標準仕様書による

給水設備	⑤	弁類	イ）公営水道に直結する配管に使用するものはJIS又はJV 10Kとする。 ロ）高置水槽以降の配管に使用するものはJIS又はJV 5Kとする。ただし、揚水ポンプに使用するもの及び特記部分はJIS又はJV 10Kとする。 ハ）65Ａ以上の鋳鉄製仕切弁、鋳鉄製逆止弁は、ライニング弁とする。50Ａ以下の仕切弁、青銅製逆止弁は管端コア付バルブとする。 ニ）埋設箇所は埋設用バルブとする。
	6	定流量弁	取付ける。
	7	水槽周り可とう継手	合成ゴム製（２山以上）
	⑧	埋設深度	岡山市水道給水装置施工基準に適合する他図示による
	⑨	ライニング鋼管管端処理	※ 管端防食継手 ・ 防食コア ・ その他
	10	敷水栓ボックス	・ 蓋はＳＵＳ製鋳付とする。
	⑪	給水管の使用許可	※ 給水管所有者に使用許可等の手続きを行うこと。
	⑫	水質基準	水道法に定める水質基準を満たすことのできる管、弁、継手を使用すること
排水設備	①	屋内汚水管（第１表まで含む）	・ 便槽付属品 ・ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 ・ 耐火二層管 ㊀ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・ その他
	②	屋内雑排水管（第１表まで含む）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 ・ 耐火二層管 ㊀ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他 ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・ その他 ※厨房を使用する場合 汚水合流系統の配管は とする
	3	通気管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ その他
	④	屋外排水管	※ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ＶＵ） ㊀ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ＶＰ） ・ ﾘﾀﾞﾔﾝﾀﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(RS-VU) ・ 耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ﾎﾞﾝﾄﾞ圧送管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ その他
	⑤	排水トラップ	ワン材質 （ ・ 樹脂コーティング ・ 樹脂製 ㊀ 標準品）
	⑥	ます	※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既製コンクリートます ・ その他
	7	グリーストラップ	ＳＵＳ製残菜カゴを ※ 取付ける ・ 取付けない
	⑧	マンホール鎖	ＳＵＳ製鎖とする
	9	共栓鎖	ＳＵＳ製鎖とする
	10	満水試験継	図示の位置に取り付ける。
	⑪	洗面台接続	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップする。
	12	プール排水管	露出部は塗装仕上げとし保温しない
	⑬	排水処理先	・ 公共下水道（ ・ 分流式 ・ 合流式 ） ・ 合併浄化槽（ ・ 新設 ・ 既設 ） ㊀ その他
給湯設備	1	管類	・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（※ 拡管式 ・ 溶接接合 ・ その他） ・ 銅管M形 （ ・ 保温付 ・ 保温なし） ・ 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 ・ ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管 ・ 耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 ・ その他
	2	弁類	JIS又はJV 5Kとする。ただし、特記部分は 10K とする。
	3	膨張水槽の保温	※ 施工する ・ 施工しない
	4	給湯用簡易ボイラ	ガスバーナはガンタイプとする。
	5	ライニング鋼管管端処理	ＳＵＳ製コア内蔵継手（100Ａ以上防蝕コア）
ろ過循環設備	1	ろ過装置	能力 ・ 60m3/h ・ 100m3/h
	2	ポンプ揚り管	可とう継手 ・ 付ける ・ 付けない 圧力計 ・ 付ける ・ 付けない
	3	循環配管	給水設備による。
	4	弁類	給水設備による。
	5	保温	プールサイド下部は ・ 屋外露出仕様 ・ 床下暗渠仕様 プールサイド下部の室内は ・ 屋外露出仕様 ・ 機械室・倉庫仕様 ・ 床下暗渠仕様
消火設備	1	屋内消火栓箱	・１号消火栓 （ ※ 国土交通省仕様 ・ その他 ） ・易操作性１号消火栓 （ ※ 国土交通省仕様 ・ その他 ） ・２号消火栓 （ ・ ドラム式 ・ リール式 ・ その他 ） ※ 広範囲型２号消火栓
	2	消火栓弁の耐圧	最大使用圧力とする。
	3	消火栓弁	減圧機構付消火栓弁を ※ 取付ける ・ 取付けない
	4	保温	イ）配管の保温は ・ 施工する ※ 施工しない （屋外露出の保温種別は e2・(ハ)・(ヘ) による） ロ）呼水槽の保温は ・ 施工する ※ 施工しない ハ）充水槽の保温は ・ 施工する ※ 施工しない
	5	フレキシブルジョイント	※ 鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304）
	6	消火ポンプ	※ ユニット型 制御盤はユニット組込みとする。 ※ 日本消防設備安全センター認定品とする。
	7	管類	イ）一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白管） ロ）土中配管用（土間を含む） ※ 消火用外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VS） ・ 消火用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・ その他
ガス設備	1	供給ガスの種類	・ 都市ガス （ ※ 13A 発熱量 46MJ/m3 ） ・ 液化石油ガス （ 発熱量 100.47MJ/m3 ）
	2	管	イ）一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 （ ・白管 ・黒管 ） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ロ）地中配管（土間を含む） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ 塩化ビニル被覆鋼管
	3	ガスメータ	※ メータはガス供給業者より借用、子メータは買取りとする。 （・マイコンメータ ・その他）
	4	ガスメータの取付	※ 本工事に含む ・ その他
	5	緊急遮断弁の取付	・ 本工事に含む ・ その他
	6	供給方式	・ ボンベ ・ バルクタンク
	7	ボンベ周りの配管	※ 自動切替式
	8	プロパン庫警戒標識	指定の箇所に取付ける
	9	ボンベ転倒防止	※ 岡山市標準施工図による ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）施工73(b)
	10	管の地中埋設深さ	・ 一般 300mm以上 ・ 車両通路 600mm以上 ・ 1,200mm以上
	11	沈下対策措置	※ 伸縮継手 ・ 溶接配管 ・ 機械的接合 ・ 継手の組合せ
	12	電気防蝕	※ なし ・ あり（ ・ 流電陽極法 ・ その他 ）
	13	耐震対策設計	耐震設計にあたり「内管耐震設計マニュアル(一般建築用)平成11年10月」「高層建築物用ガス設備耐震設計・施工指針」の手引き昭和62年11月」いずれも社団法人日本ガス協会発行を参照する。 備考 1 埋設配管の継手部周りの防食処置は、標準仕様書 第６編第2章 都市ガス設備2.2.5よりガス事業者の承認する工法による。 2 配管の吊り及び支持は絶縁処理を施す。 3 塗装仕上げにおいて仕様書以外で必要な箇所は明記する。 4 マグネシウム陽極の設置基準 ① 低圧埋設配管で溶接接合による100Ａ以上の鋼管部分の延長が3m以上ある場合は、絶縁継手を取り付け、さらにマグネシウム陽極（犠牲陽極）を設置する。

ガス設備			 ② 中間圧・中圧埋設配管の場合は埋設延長にかかわらず絶縁継手とマグネシウム陽極を取り付ける ③ その他埋設配管場所が酸性の強い土壌、腐蝕性の強い薬品を扱う工場敷地及びその周辺、湿地帯、海水の影響を受ける場所、鉱さい等による埋立地等、特に腐蝕性が強いと判断される場所の場合は、防食措置を別途検討する。
空気調和・冷暖房・換気設備	1	設計用温湿度条件（温湿度調整目標値）	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築設備設計基準(最新版)
	2	冷水・温水・冷温水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管 ・ 高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE)
	3	ドレン管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ ﾘﾀﾞﾔﾝﾀﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管（RF-VP） ・硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラーVP)
	4	冷却水管	※ 塩化ビニルライニング鋼管 （ ・ SGP-VB ・ SGP-FVB ） ・ ステンレス鋼鋼管 ・ 高性能ポリエチレン管(HPPE)
	5	膨張・空気抜き・補給水管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 高性能ポリエチレン管(HPPE)
	6	油管	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管）
	7	冷媒配管	※ 断熱材被覆銅管（標準仕様書による） ・ 機器の標準品（保温共）
	8	弁類	JIS又はJV 5K とする。ただし、特記部分は 10K とする。
	9	ファンコイルユニット	イ）・ 流量調整弁を取付 ロ）・ 定流量弁（ ・ ダイヤフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形）取付 ハ）遠方操作スイッチの渡り配管 ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ）遠方操作スイッチの渡り配線 ※ 本工事 ・ 別途工事 ホ）遠方操作スイッチのプレートは金属製とする。 ヘ）ドレンパンは ・ ＳＵＳ製 ・ 鋼板製 ・ 合成樹脂製
	10	吹出口・吸込口	原則、ボックスは亜鉛鉄板製とする。 枠及びスリットの材質は ※ アルミニウム製 （ ※ 着色する ・ 着色しない） イ）低速ダクトとする。 ロ）矩形ダクトは、 ・ アングル工法 コーナーボルト工法 ハ）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の厚さ150mmを1.6mm厚鋼板製とする。
	11	ダクト	
	12	防煙・防火ダンパ	防煙ダンパは、 ※ 電気式 ・ 空気式 ダンパ復帰機構は、 ※ 遠隔式 ・ 手元式 電気式防煙ダンパ動作用電圧、電流はDC24V、0.6A以下とする。
	13	風量測定口	取付位置は図示による。材質はアルミニウム製とする。
	14	吹出口チャンバ	イ）シーリングディフューザ形吹出口には、下記のチャンバを設ける。 ネック径が200Φ以下 400×400×250H ネック径が200Φを越えるもの 500×500×500H ロ）外壁に面するガラリにチャンバ等を設ける場合には原則として排水を設ける。
	15	消音内貼り	イ）シーリングディフューザ形吹出口に接続チャンバ及び図示したダクト並びにチャンバ類とする。 ロ）内貼チャンバ類の寸法表示は、外形寸法とする。 ハ）吹出口以外の内貼したチャンバには点検口（450×500）を取付ける。
	16	瞬間流量計	形式はピトー管式（コックけ）とする。取付は図示による。
	17	温度計	標準仕様書及び図示の箇所のほか、下記の箇所に取付ける。 ・ 温水ボイラの温水管入口部 ・ 空気調和機廻りの還気風道、外気風道及び給気風道 ・ 冷温水管寄せ（往）及び冷温水管寄せの各道り管 機器付属以外の温度計は ※ 円形のバイメタル式（100Φ以上） ・ ブルドン管式
	18	冷温水管の空気抜き	イ）空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ・ 自動 ロ）自動空気抜き弁にはストレーナを取り付ける。
	19	防振吊り金物及び防振支持金物	中央機械室の冷却水管・冷温水管等の吊り及び支持は、防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
	20	温度調節器・湿度調節器	取付高さは ※ 1,300mm ・ mm
	21	エアフィルタの予備品	イ）空気調和機又はフィルタチャンバ装着枚数の50%以上を予備品（枠付）として納める。ただし、自動巻取形の場合は100%とする。 ロ）ファンコイルユニットは機種毎に30%以上、また、空冷ヒートポンプ室内用は100%に当たるフィルタを予備品（枠付）として納める。 最低１枚とする。
	22	グリスフィルタの予備品	※ 100%に当たる予備品を納める。 ・ 納めない。
	23	防振基礎	イ）送風機の防振基礎（防振ゴム使用の場合）の絶縁効率は %とする。 ロ）ポンプの防振基礎（防振ゴム使用の場合）の絶縁効率は %とする。
	24	冷媒配管の保温カバー	イ）屋内露出部の保温化粧カバーは（ ・ 樹脂製 ・ ｶﾗｰ亜鉛鉄板 ・ その他）とする。 ロ）屋外露出部は（ ・ ステンレス鋼板 ・ 樹脂製化粧カバー ・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ・ その他）
	25	保温	イ）全熱交換機の（ ・ 給気ダクト ・ 排気ダクト ）は保温する。 ロ）還りダクトは保温 ・ する。 ・ しない。 ハ）ポンプは保温 ・ する。 ・ しない。 ニ）ポンプ回りの防振継手、フレキシブル継手は保温 ・ する。 ・ しない。 ホ）換気ダクト（ ・ 給気ダクト ・ 排気ダクト）は保温する。
	26	スリーブ	エアコン本体は将来工事の為、スリーブ(樹脂製キャップ付き)のみ今回工事とする。
	27	冷媒等の処理	※ 業務用機器「第一種特定製品」のフロン類はフロン排出抑制法に従って処理すること。 ・ 家庭用機器（ ・ 室外機にフロン回収後、取外し指定場所保管 ・ 本工事対象外） ・ 吸収式冷温水機（ ・ 産業廃棄物広域認定制度 ・ 産業廃棄物） ・ 吸収式冷凍機の吸収液（ ・ 産業廃棄物広域認定制度 ・ 産業廃棄物）

工事名	延友遊園地トイレ改修工事					No. M-01		
図面名	岡山市建築設備工事（機械）仕様書			縮尺				
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課		令和 8年 4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	

R8.04



配置図 S=1/200

▨: 埋設標示柱(再生ﾌﾟﾗ)を示す。

衛生・排水器具リスト

設置場所	品　名	参考品番･仕様	数量
公園便所	簡易水栓洋風大便器	ATW-50,他付属品一式	1
	簡易水栓小便器	ATU-309,他付属品一式	1
	壁掛洗面器	L270CM,TL19AR,TL126AR,TL220D,TL4CFU,TLDP2105JA,他付属品一式	1
	L型手摺	T112CL10,他付属品一式	1
	小便器用手摺	T112CU22,他付属品一式	1
	跳ね上げ手すり	T112HK7R,他付属品一式	1
	フック	YKH20R,他付属品一式	2
	ｷｰ式横水栓	T28AKUH13	1
	床上掃除口	COA50	2
	床排水金物	50DK	2

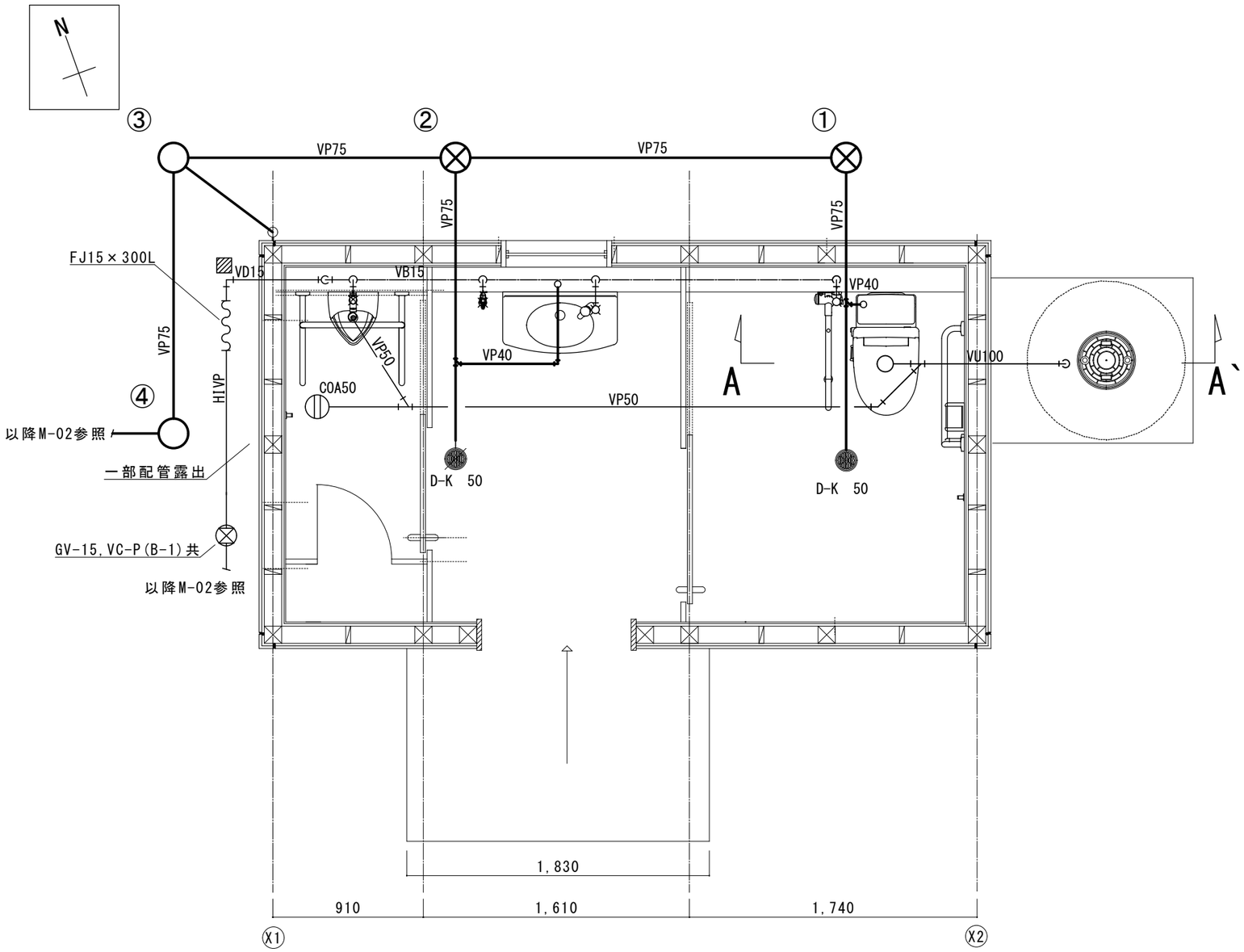
桝リスト

	種　類	寸　法	参考管底高	備　考	
①	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ﾄﾗｯﾌﾟ桝	φ300	GL-150	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
②	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ﾄﾗｯﾌﾟ桝	φ300	GL-173	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
③	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-190	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
④	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-206	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
⑤	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-264	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
⑥	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-339	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設

便槽

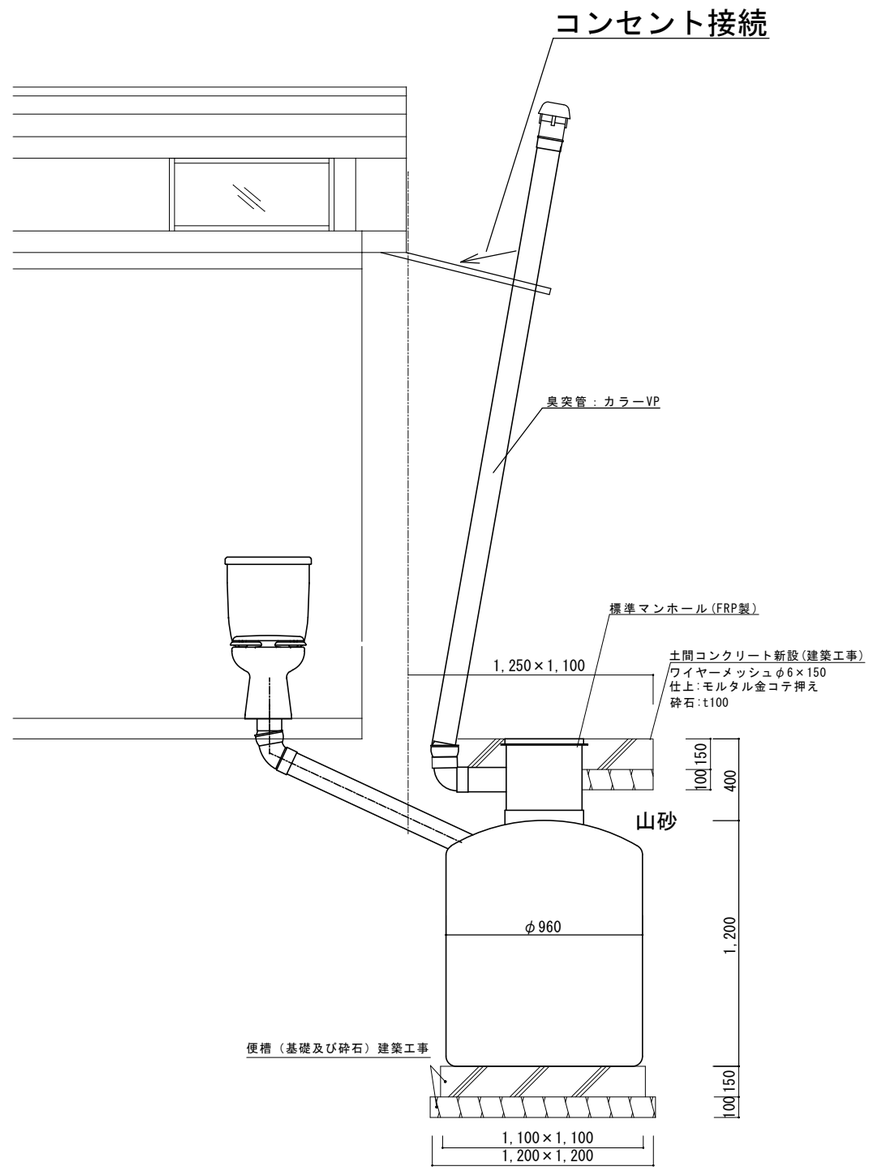
設置場所	品　名	参考品番･仕様	備考
公園便所	簡易水洗用便槽	FRP　縦形　800L　960φ×1,200H(+600)　NKU4-8T（参考型番　ﾈﾎﾟﾝ） 補強タイプ、接続口 100A、小便排水分岐継手 100×50 便器接続自在ｴﾙﾎﾞ 100A、標準マンホール（FRP製　ロック式・T-1） 臭突管セット　100A（ﾌｧﾝ付）SYD-100E（参考型番　ﾈﾎﾟﾝ） 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄﾍﾞｰｽ及び上部ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞは建築工事	新設

工事名	延友遊園地トイレ改築工事				Ｎｏ.		
図面名	機械設備　配置図			縮尺 A3 1/200	M-02		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



機械設備平面図 S=1/30

▨：埋設標示柱(再生ﾌﾟﾗ)を示す。



A−A`断面図 S=1/30

桝 リ ス ト

	種　類	寸　法	参考管底高	備　考	
①	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ﾄﾗｯﾌﾟ桝	φ300	GL-150	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
②	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ﾄﾗｯﾌﾟ桝	φ300	GL-173	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
③	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-190	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設
④	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ製ため桝	φ300	GL-206	密閉式ﾚｼﾞｺﾝ蓋　(泥溜め≧150mm)	新設

工事名	延友遊園地トイレ改築工事					Ｎｏ．	
図面名	機械設備　平面図・断面図			縮尺	A3 1/30	M-03	
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課				令和8年4月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図